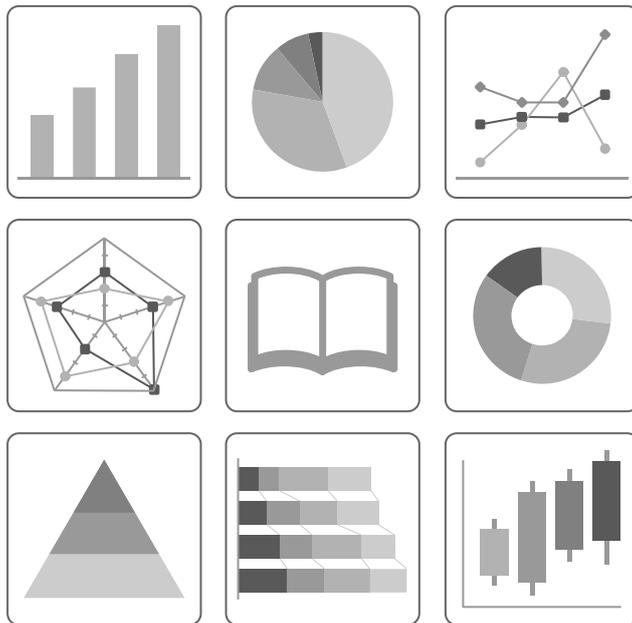


江南市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 調査結果報告書



令和6年5月

江 南 市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	設問の内容について.....	2
II	調査結果.....	3
	(1) お住まいの地域について.....	3
	(2) ご家族の状況について.....	4
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	11
	(4) 保護者の就労状況について.....	16
	(5) 平日の定期的な教育・保育事業（施設）の利用状況について.....	39
	(6) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業（施設）の利用希望について.....	55
	(7) 病気の際の対応について.....	65
	(8) 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	94
	(9) 小学校就学後の放課後等の過ごし方について.....	101
	(10) 育児休業等の職場の両立支援制度について.....	134
	(11) 仕事と家庭（子育て）の両立支援制度について.....	144
	(12) 子育て全般について.....	145

I 調査の概要

1 調査の目的

令和7年度から11年度までの5年間を計画期間とした「第3期江南市子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

江南市在住の就学前児童（0～5歳）の保護者、就学児童（6～11歳）の保護者を無作為抽出

3 調査期間

令和6年2月21日から令和6年3月11日

4 調査方法

郵送による案内・WEBによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前保護者	1,800通	950通	52.8%
就学保護者	1,800通	957通	53.2%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7 設問の内容について

設問の分野	就学前児童	就学児童
1. お住まいの地域について	○	○
2. ご家族の状況について	○	○
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	○	○
4. 保護者の就労状況について	○	○
5. 平日の定期的な教育・保育事業（施設）の利用状況について	○	
6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業（施設）の利用希望について	○	
7. 病気の際の対応について	○	○
8. 地域の子育て支援事業の利用状況について	○	○
9. 小学校就学後の放課後等の過ごし方について	○ (5歳以上の 子どものみ)	○
10. 育児休業等の職場の両立支援制度について	○	
11. 仕事と家庭（子育て）の両立支援制度について		○
12. 子育て全般について	○	○

II 調査結果

(1) お住まいの地域について

問 お住まいの小学校区はどこですか。【就学前：問1】【就学：問1】

就学前保護者では、「布袋小学校区」の割合が17.2%と最も高く、次いで「古知野東小学校区」の割合が16.5%、「古知野南小学校区」の割合が16.3%となっています。

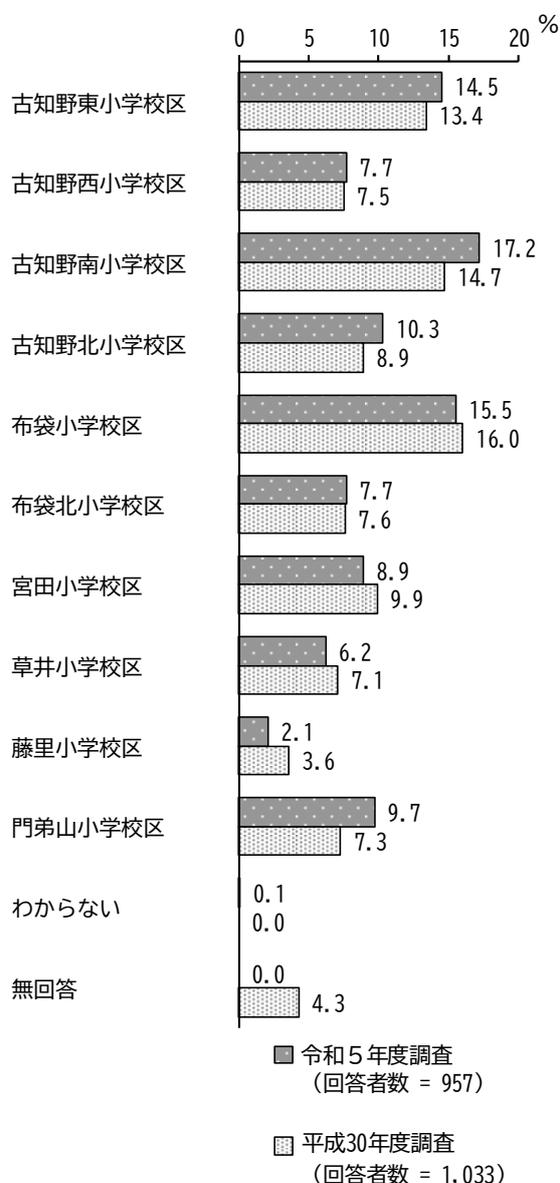
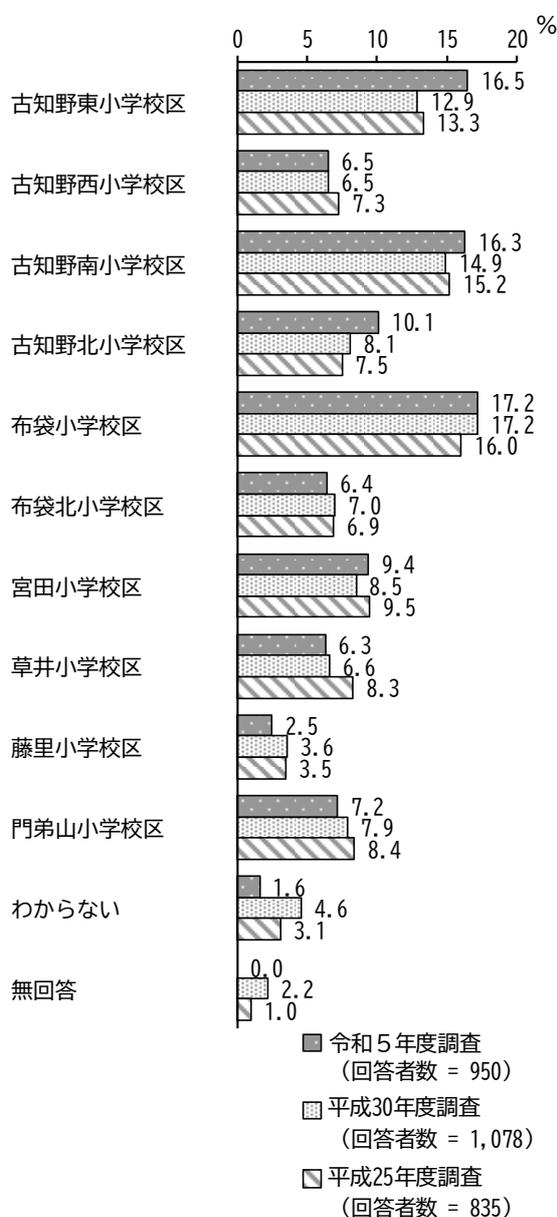
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「古知野南小学校区」の割合が17.2%と最も高く、次いで「布袋小学校区」の割合が15.5%、「古知野東小学校区」の割合が14.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前】

【就学】



(2) ご家族の状況について

問 あて名のお子さんの生年月を入力してください。【就学前：問2】【就学：問2】

就学前保護者では、「4歳」の割合が15.5%と最も高く、次いで「2歳」の割合が14.7%、「5歳」の割合が14.4%となっています。

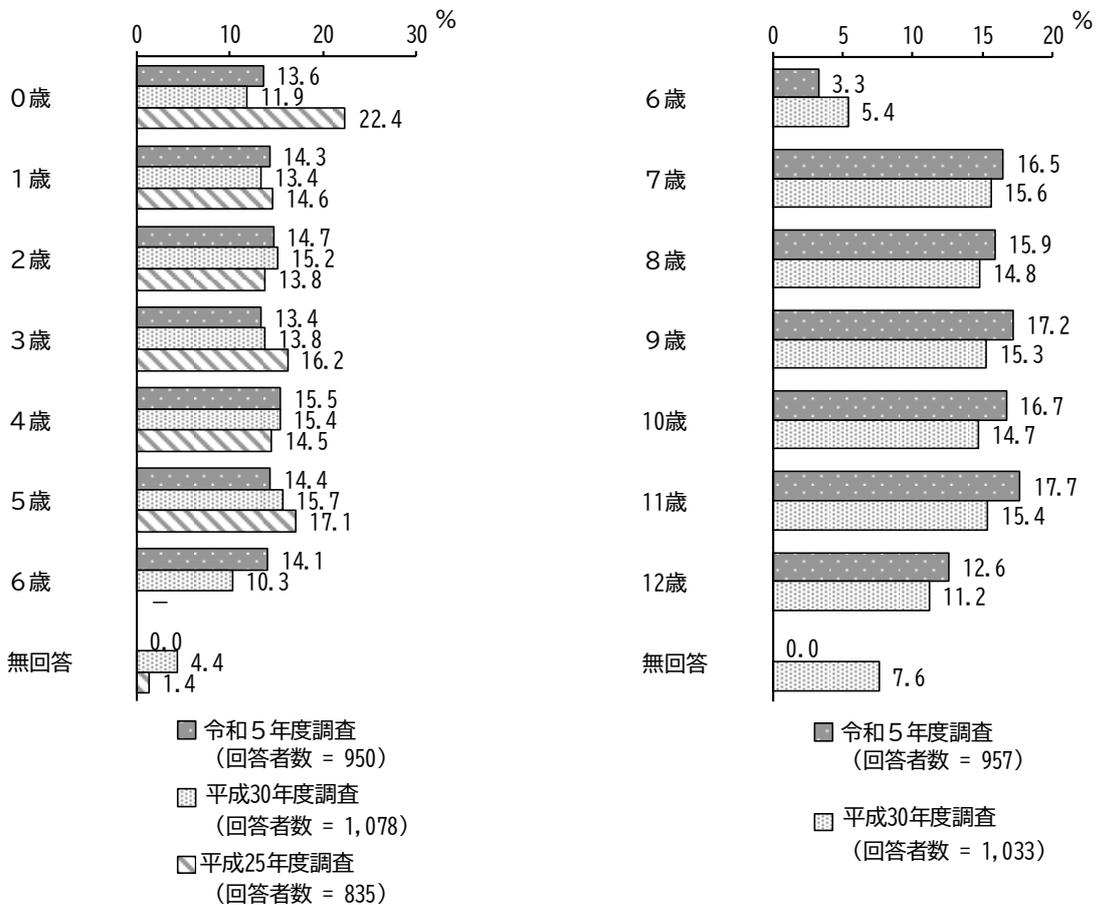
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「11歳」の割合が17.7%と最も高く、次いで「9歳」の割合が17.2%、「10歳」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前】

【就学】



※前々回調査では、「6歳」の選択肢はありませんでした。

問 あて名のお子さんのきょうだいの数（あて名のお子さんを含む。）を入力してください。【就学前：問3】【就学：問3】

就学前保護者では、「2人」の割合が47.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が37.6%、「3人」の割合が13.2%となっています。

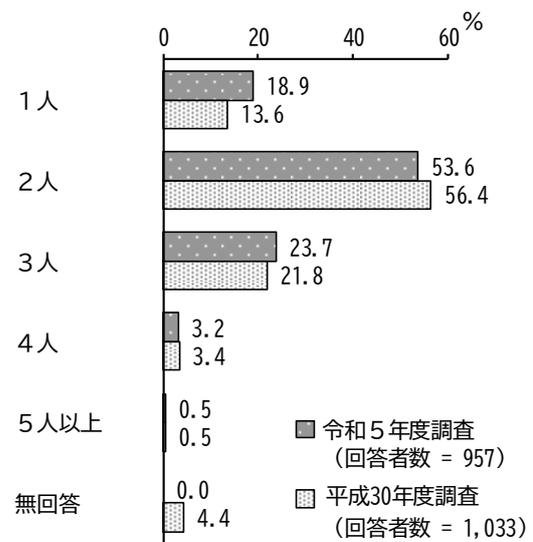
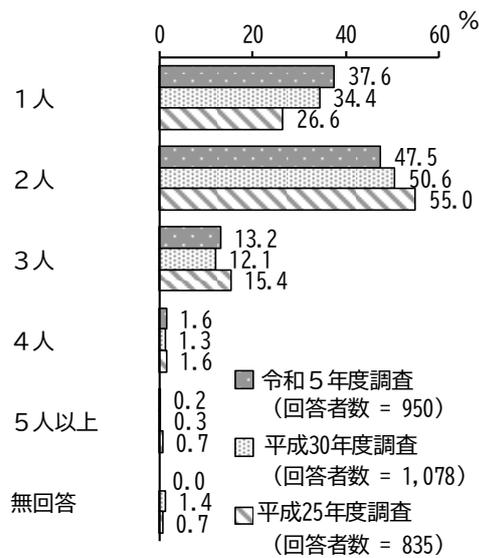
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「2人」の割合が53.6%と最も高く、次いで「3人」の割合が23.7%、「1人」の割合が18.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。

【就学前】

【就学】



問 あて名のお子さんにきょうだいがいる場合、末子の生年月月を入力してください。あて名のお子さんが末子の場合は入力不要です。【就学前：問4】【就学：問4】

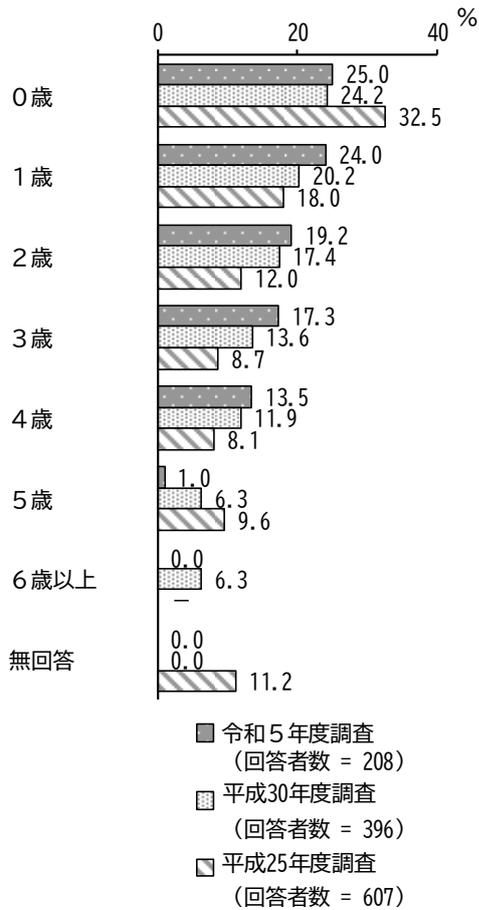
就学前保護者では、「0歳」の割合が25.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が24.0%、「2歳」の割合が19.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5歳」「6歳以上」の割合が減少しています。

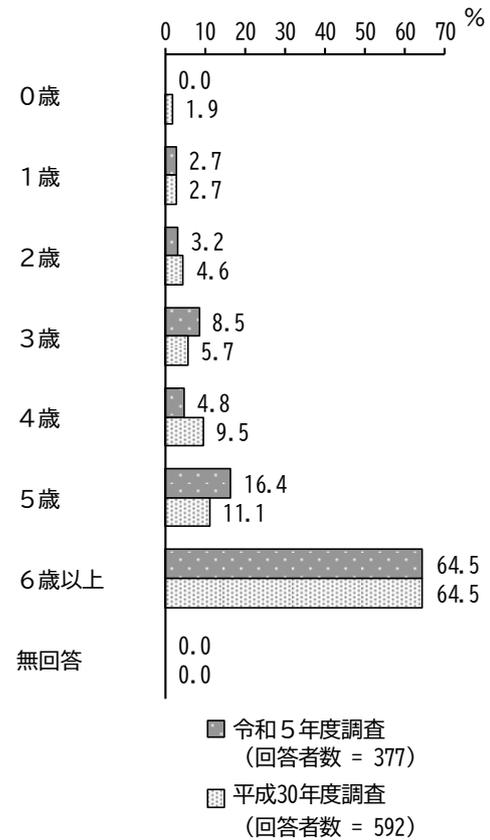
就学保護者では、「6歳以上」の割合が64.5%と最も高く、次いで「5歳」の割合が16.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5歳」の割合が増加しています。

【就学前】



【就学】



※前々回調査では、「6歳以上」の選択肢はありませんでした。

問 あて名のお子さんと同居している方について、あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問5】【就学：問5】

就学前保護者では、「母親」の割合が99.1%と最も高く、次いで「父親」の割合が95.2%、「きょうだい」の割合が62.5%となっています。

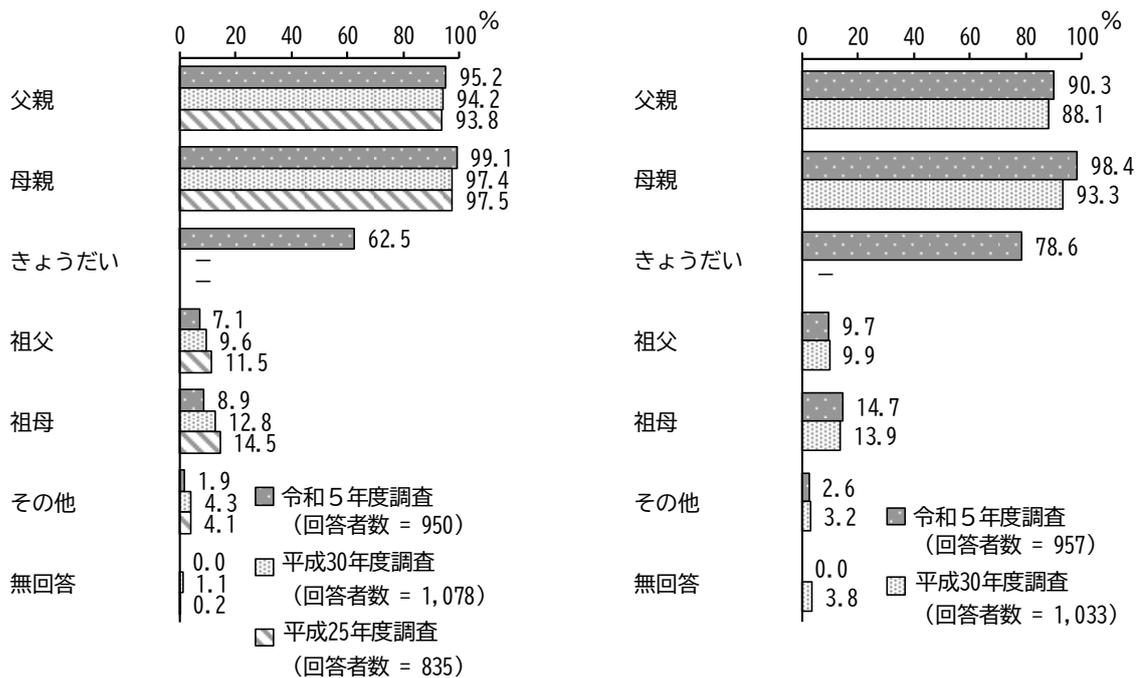
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「母親」の割合が98.4%と最も高く、次いで「父親」の割合が90.3%、「きょうだい」の割合が78.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「母親」の割合が増加しています。

【就学前】

【就学】



※前回調査、前々回調査では、「きょうだい」の選択肢はありませんでした。

【就学前：その他の意見】

- ・おば
- ・おじ
- ・曾祖母
- ・曾祖父
- ・いとこ

【就学：その他の意見】

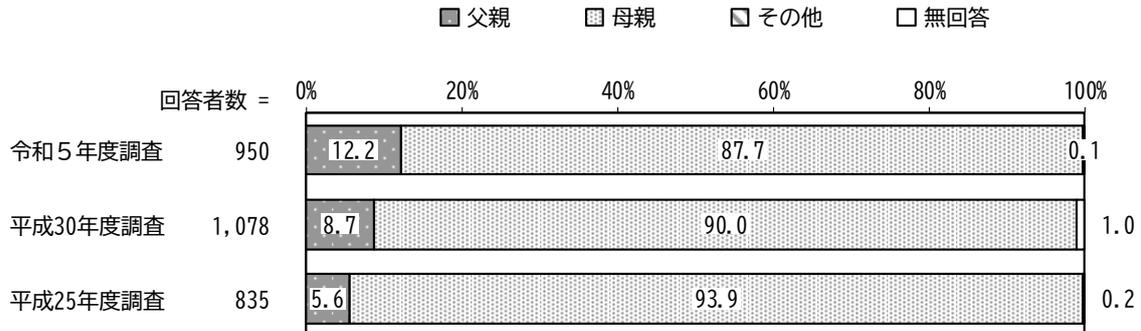
- ・おば、おじ
- ・曾祖母、曾祖父
- ・義理の祖父
- ・シェアメイト
- ・いとこ
- ・母の彼氏

問 この調査票にご回答いただく方はあて名のお子さんからみてどなたですか。
【就学前：問6】【就学：問6】

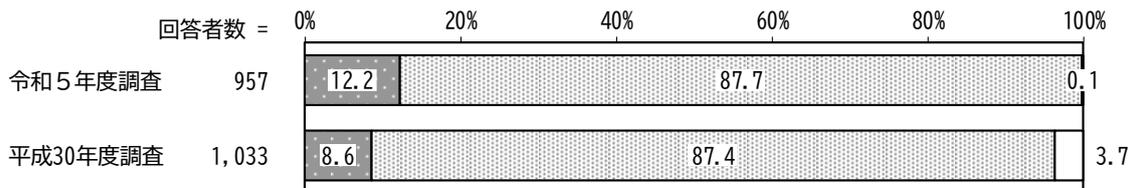
就学前保護者では、「父親」の割合が12.2%、「母親」の割合が87.7%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「父親」の割合が12.2%、「母親」の割合が87.7%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前】



【就学】



※前回調査、前々回調査では、「祖父母」の選択肢がありました。

【就学前：その他の意見】

- ・ 祖母

問 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいますか。

【就学前：問7】【就学：問7】

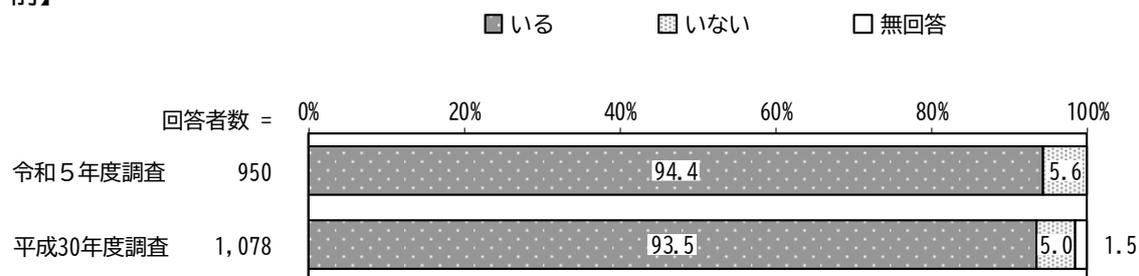
就学前保護者では、「いる」の割合が94.4%、「いない」の割合が5.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

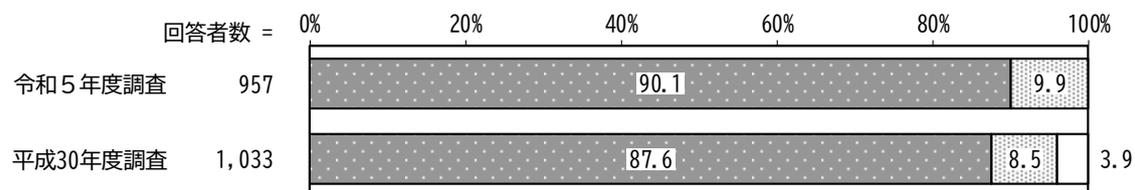
就学保護者では、「いる」の割合が90.1%、「いない」の割合が9.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前】



【就学】



問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはお子さんから見てどなたですか。【就学前：問8】【就学：問8】

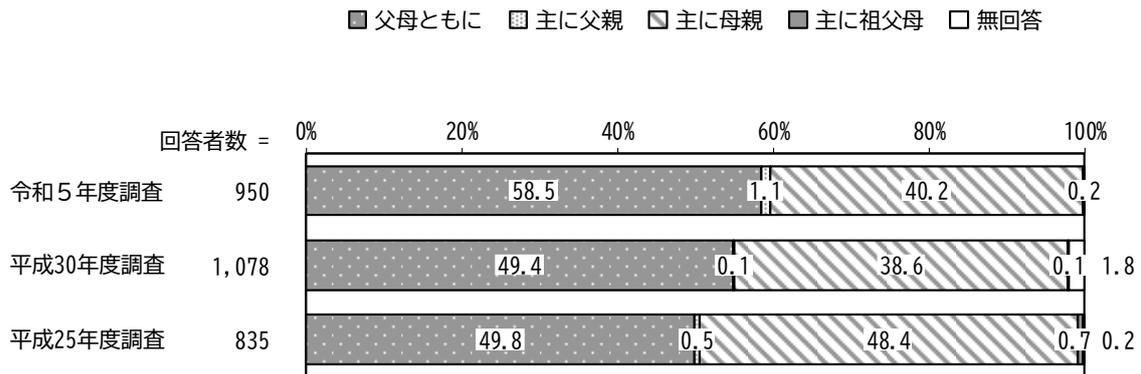
就学前保護者では、「父母ともに」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 40.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。

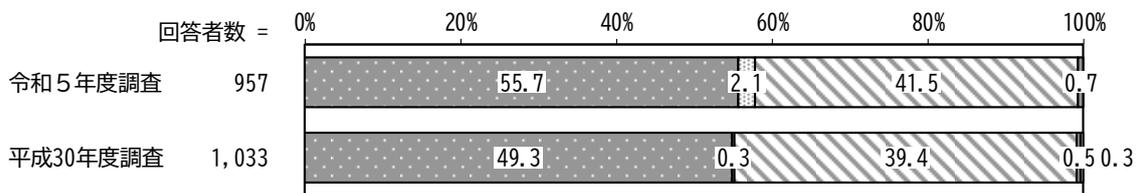
就学保護者では、「父母ともに」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 41.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。

【就学前】



【就学】



※前回調査では、「主に母親と祖父母」「主に父親と祖父母」「父母と祖父母」「その他」の選択肢がありました。

(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまるものをすべて選んでください。
【就学前：問9】【就学：問9】

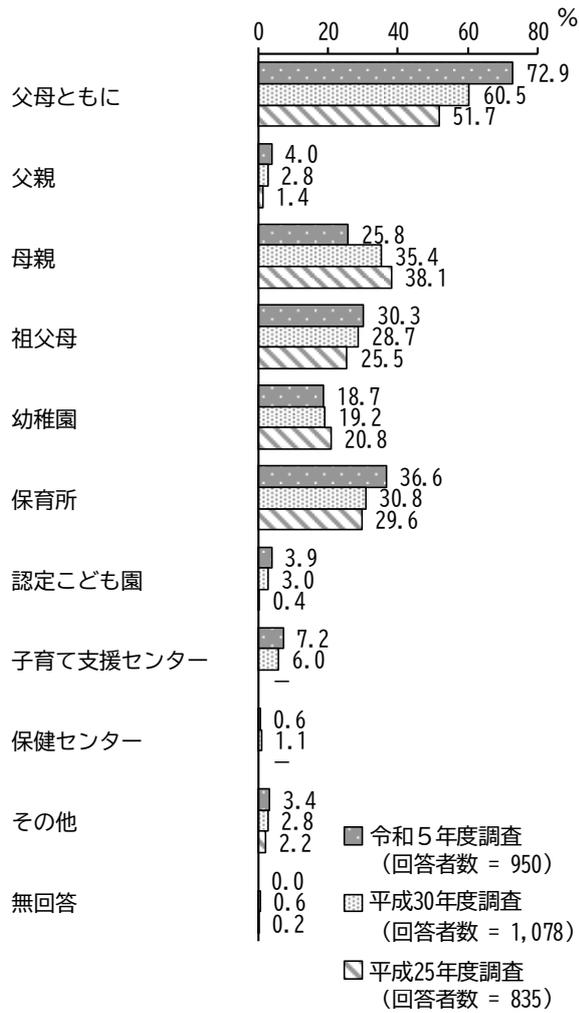
就学前保護者では、「父母ともに」の割合が72.9%と最も高く、次いで「保育所」の割合が36.6%、「祖父母」の割合が30.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」「保育所」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。

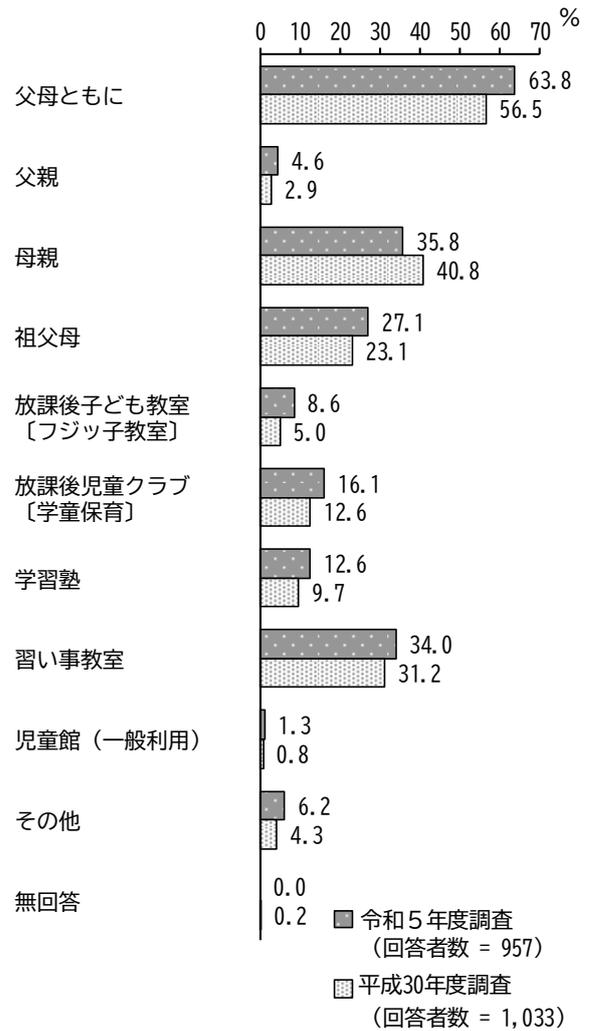
就学保護者では、「父母ともに」の割合が63.8%と最も高く、次いで「母親」の割合が35.8%、「習い事教室」の割合が34.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。

【就学前】



【就学】



※前々回調査では、「子育て支援センター」「保健センター」の選択肢はありませんでした。

【就学前：その他の主な意見】

- ・ 言語療育センター
- ・ 認定外保育園
- ・ 母の兄妹
- ・ 伯父、伯母
- ・ 児童発達支援施設

【就学：その他の主な意見】

- ・ 卓球教室
- ・ 療育施設
- ・ 姉兄
- ・ 放課後デイサービス
- ・ 近所の子

問 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問10】【就学：問10】

就学前保護者では、「緊急時・用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が63.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が29.3%、「いずれもない」の割合が11.4%となっています。

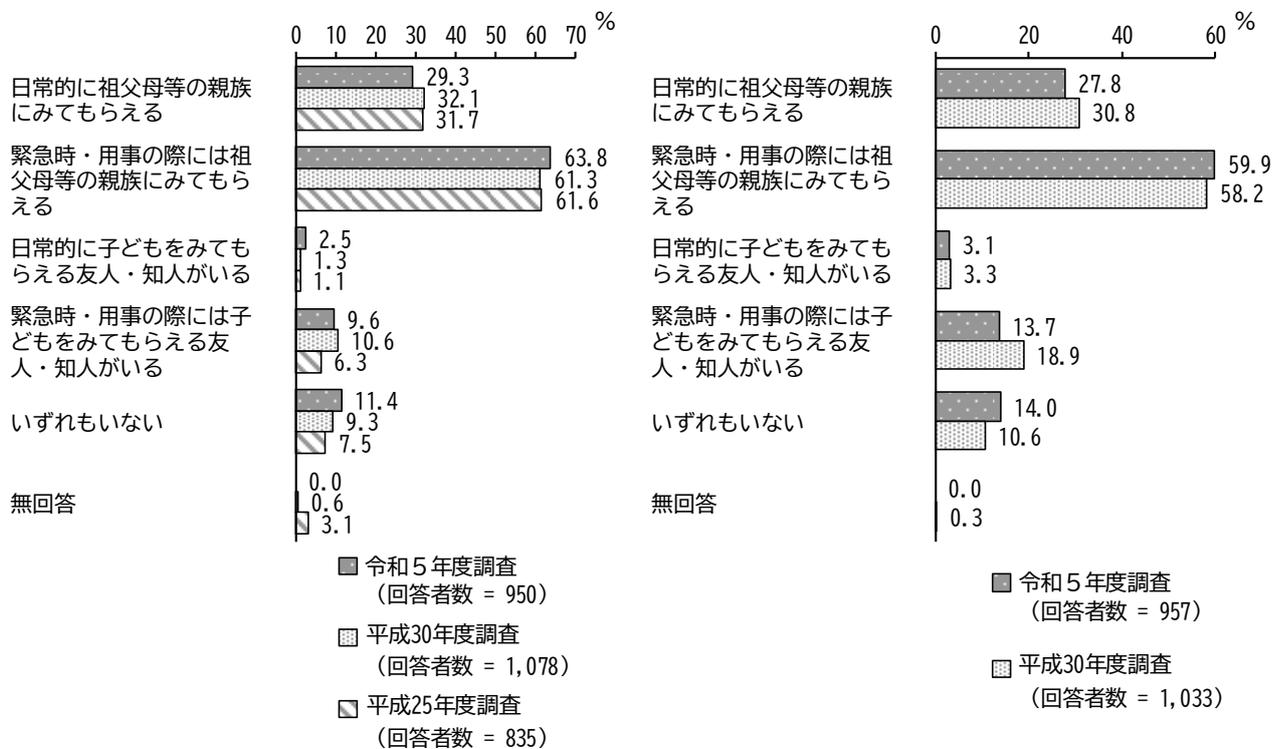
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「緊急時・用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が59.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が27.8%、「いずれもない」の割合が14.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「緊急時・用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できるのはどなた（どこ）ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

【就学前：問11】【就学：問11】

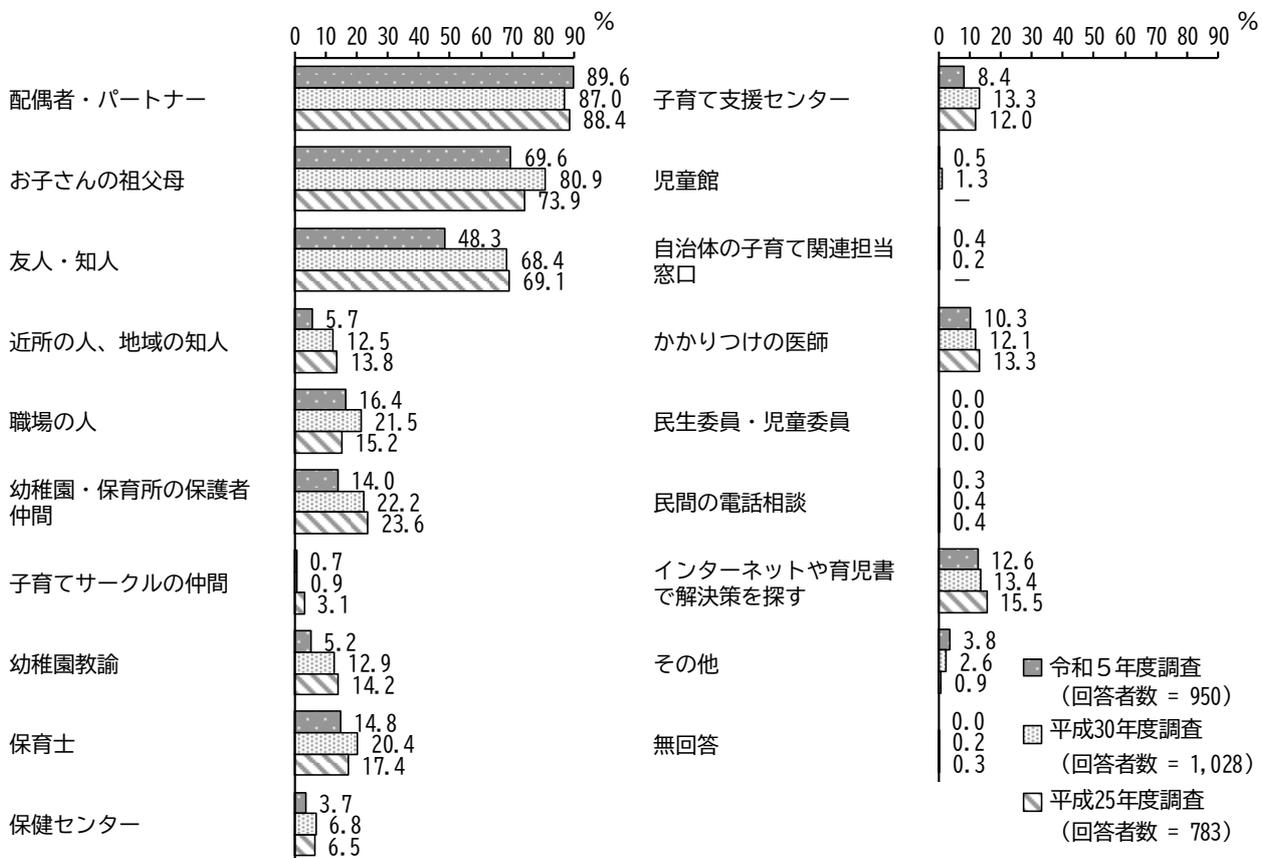
就学前保護者では、「配偶者・パートナー」の割合が89.6%と最も高く、次いで「お子さんの祖父母」の割合が69.6%、「友人・知人」の割合が48.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「お子さんの祖父母」「友人・知人」「近所の人、地域の知人」「職場の人」「幼稚園・保育所の保護者仲間」「幼稚園教諭」「保育士」の割合が減少しています。

就学保護者では、「配偶者・パートナー」の割合が81.0%と最も高く、次いで「お子さんの祖父母」の割合が58.9%、「友人・知人」の割合が48.9%となっています。

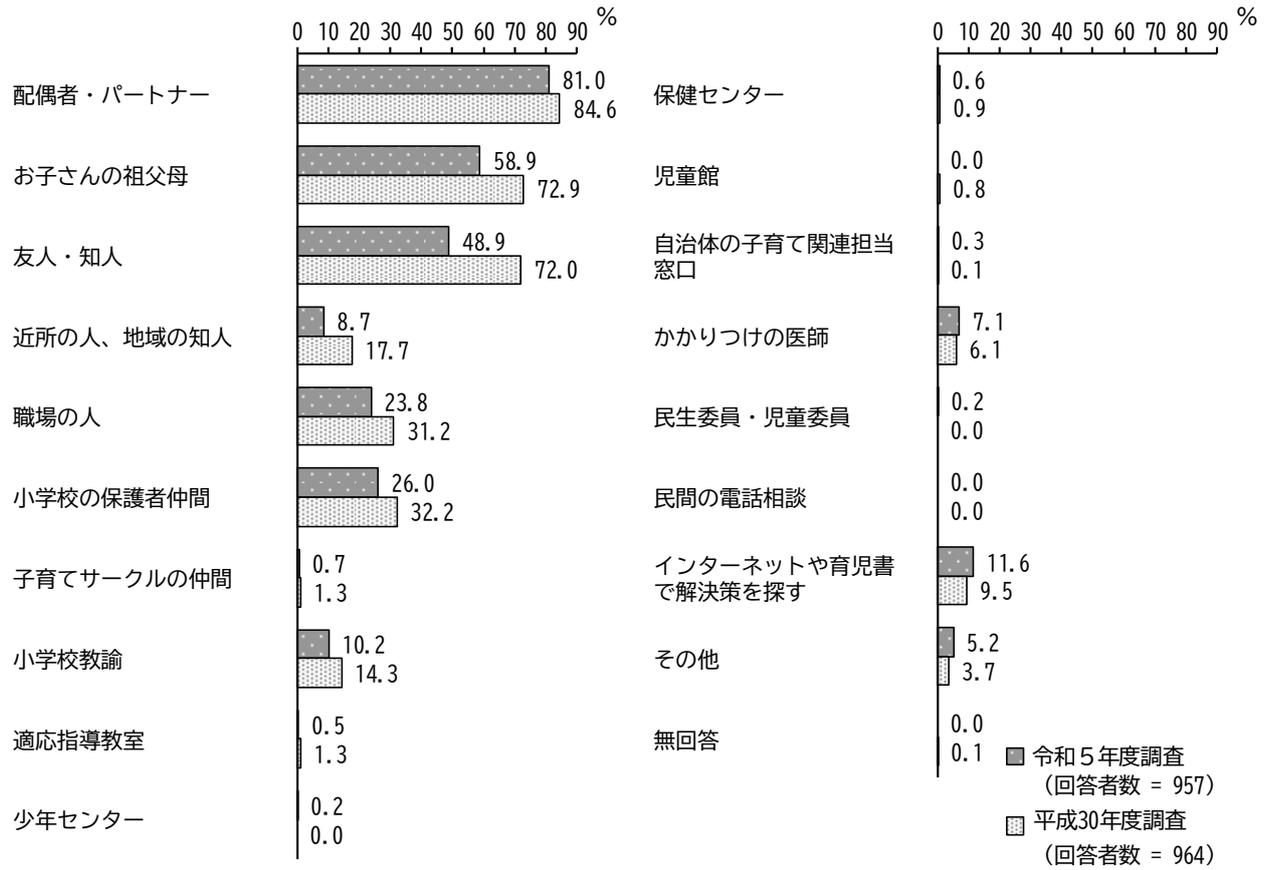
平成30年度調査と比較すると、「お子さんの祖父母」「友人・知人」「近所の人、地域の知人」「職場の人」「小学校の保護者仲間」の割合が減少しています。

【就学前】



※前々回調査では、「児童館」「自治体の子育て関連担当窓口」の選択肢はありませんでした。

【就学】



【就学前：その他の主な意見】

- ・ 習い事の先生
- ・ 母親の姉妹
- ・ 母乳相談サロン
- ・ 自分の姉
- ・ 自分のきょうだい

【就学：その他の主な意見】

- ・ 母親の姉妹
- ・ 兄弟、姉妹
- ・ 放課後デイサービス等
- ・ 母親の兄弟
- ・ 母の姉

(4) 保護者の就労状況について

問 【母親】あて名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、あてはまるものを選んでください。【就学前：問 12、就学児：問 12】

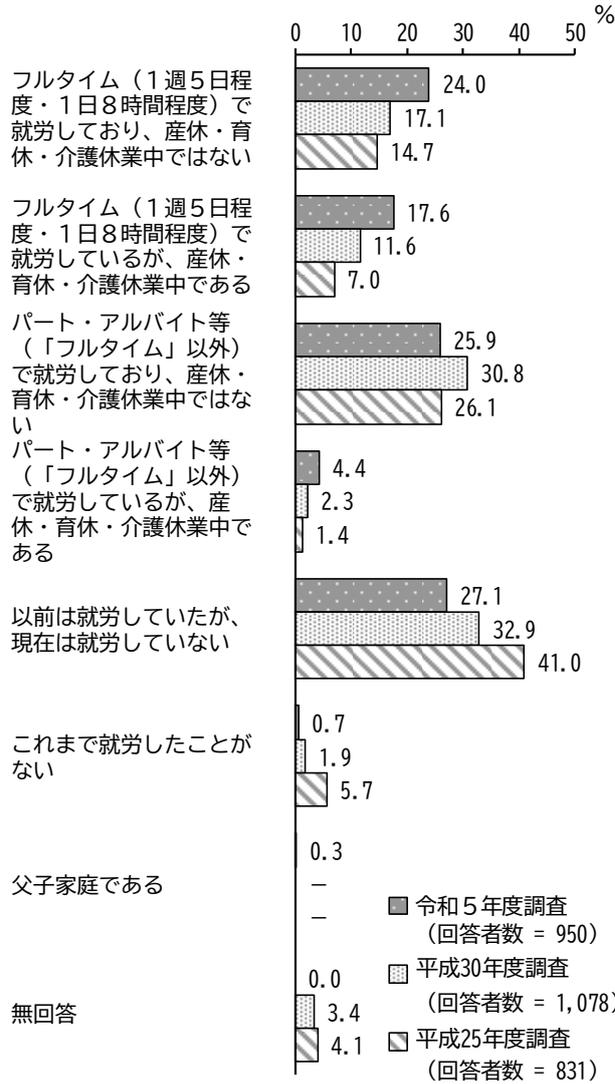
就学前保護者では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 27.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 25.9%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 24.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

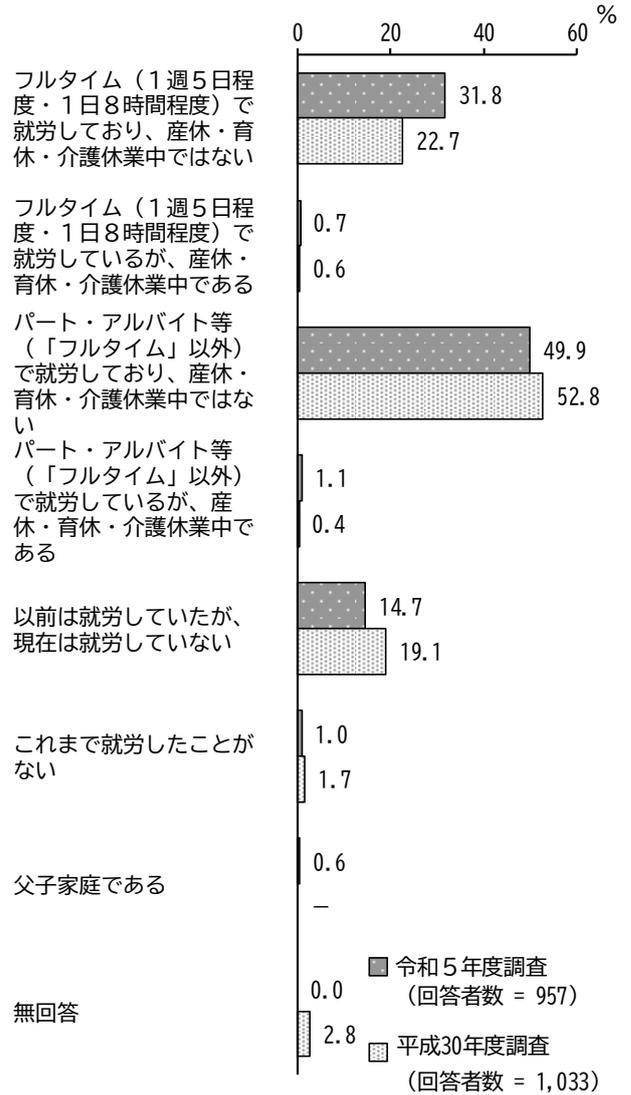
就学保護者では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 31.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 14.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。

【就学前】



【就学】



※前回調査、前々回調査では、「父子家庭である」の選択肢はありませんでした。

問 【就労している母親】 週当たりの「就労日数」・1日当たりの「就労時間」を入力してください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
【就学前：問 13】【就学：問 13】

就労日数（1週当たり）

就学前保護者では、「5日」の割合が73.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が12.7%となっています。

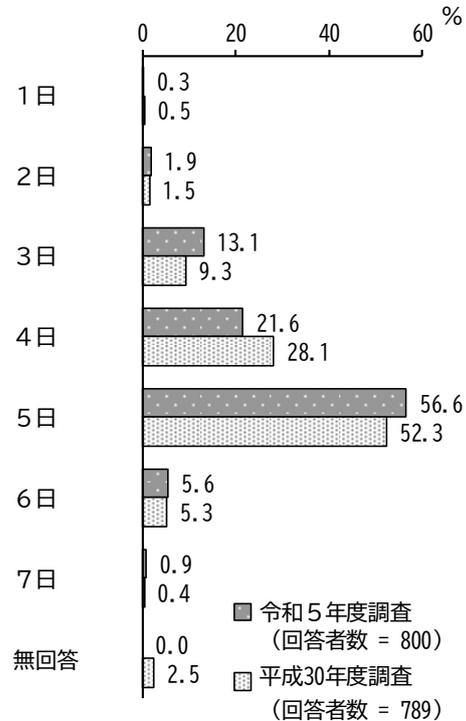
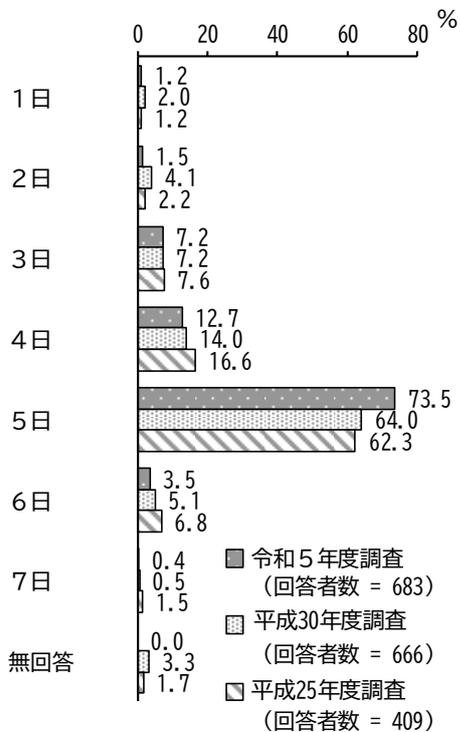
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。

就学保護者では、「5日」の割合が56.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が21.6%、「3日」の割合が13.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



就労時間（1日当たり）

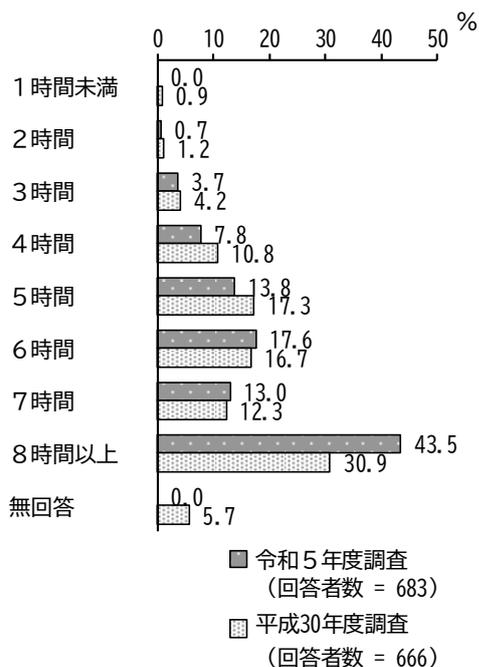
就学前保護者では、「8時間以上」の割合が43.5%と最も高く、次いで「6時間」の割合が17.6%、「5時間」の割合が13.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間以上」の割合が増加しています。

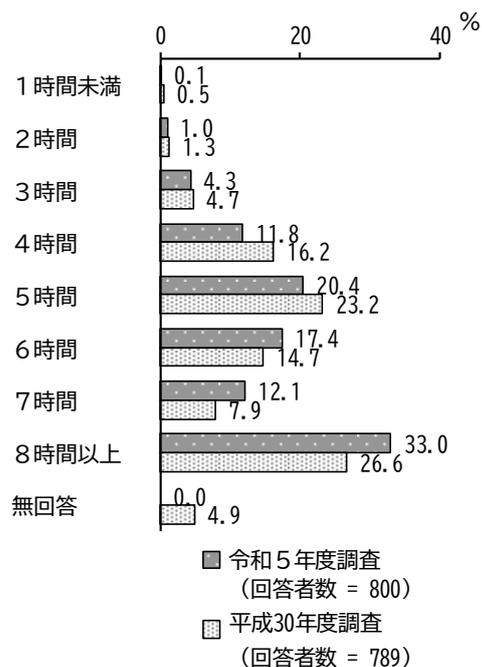
就学保護者では、「8時間以上」の割合が33.0%と最も高く、次いで「5時間」の割合が20.4%、「6時間」の割合が17.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間以上」の割合が増加しています。

【就学前】



【就学】



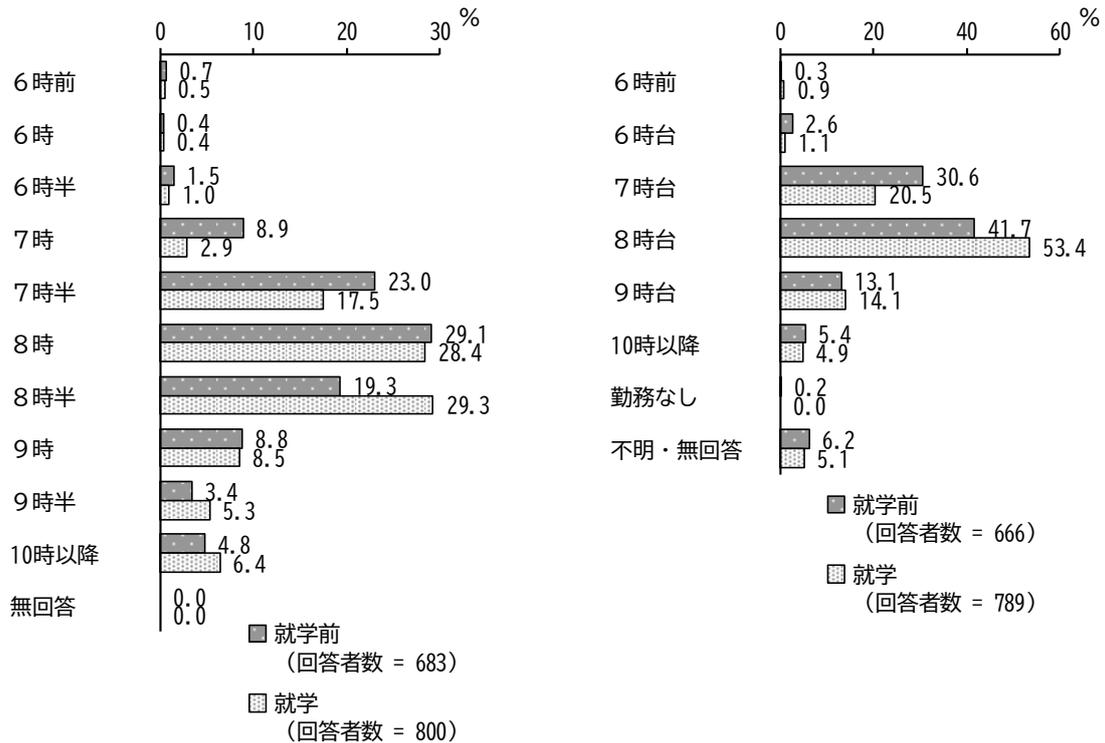
問 【就労している母親】「家を出る時刻」・「帰宅時刻」を入力してください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【就学前：問 14】【就学：問 14】

家を出る時刻

就学前保護者では、「8時」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「7時半」の割合が 23.0%、「8時半」の割合が 19.3%となっています。

就学保護者では、「8時半」の割合が 29.3%と最も高く、次いで「8時」の割合が 28.4%、「7時半」の割合が 17.5%となっています。

【平成 30 年度調査 参考】

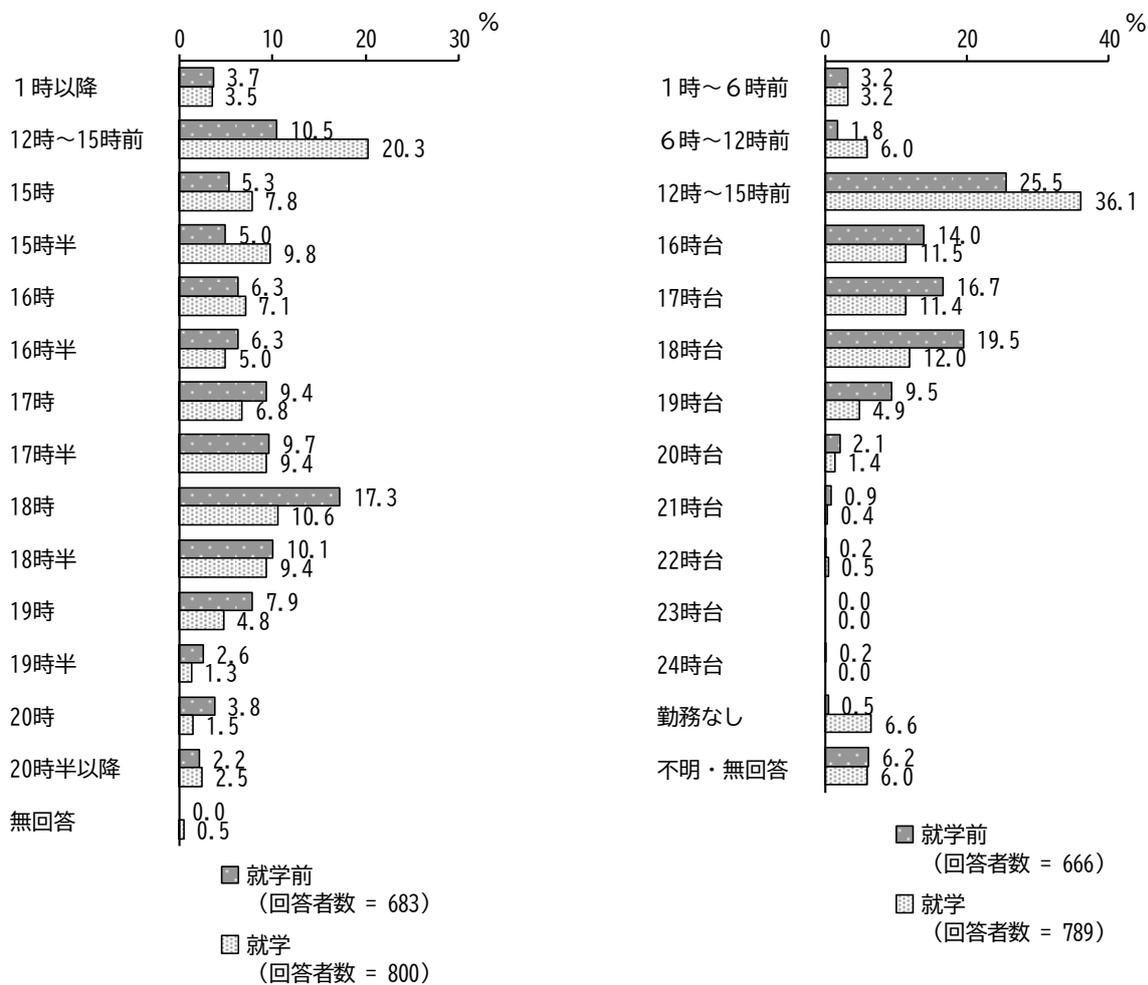


帰宅時刻

就学前保護者では、「18時」の割合が17.3%と最も高く、次いで「12時～15時前」の割合が10.5%、「18時半」の割合が10.1%となっています。

就学保護者では、「12時～15時前」の割合が20.3%と最も高く、次いで「18時」の割合が10.6%となっています。

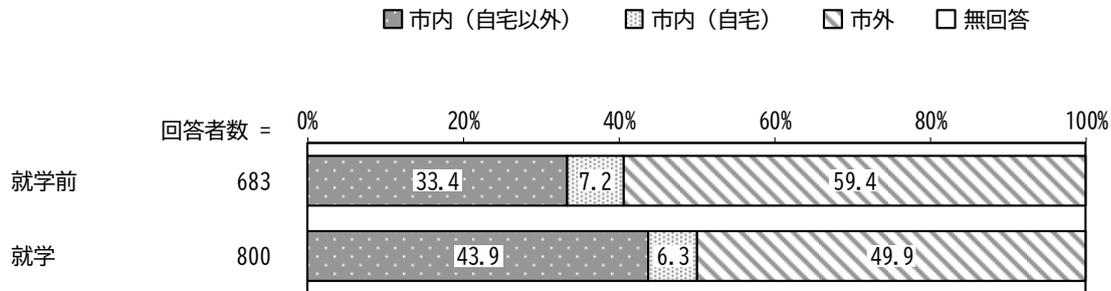
【平成30年度調査 参考】



問 【就労している母親】現在の勤務地はどこですか。【就学前：問 15】【就学：問 15】

就学前保護者では、「市外」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「市内（自宅以外）」の割合が 33.4%となっています。

就学保護者では、「市外」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「市内（自宅以外）」の割合が 43.9%となっています。



問 【「パート・アルバイト等で就労している」母親】フルタイムへの転換希望はありますか。【就学前：問16】【就学：問16】

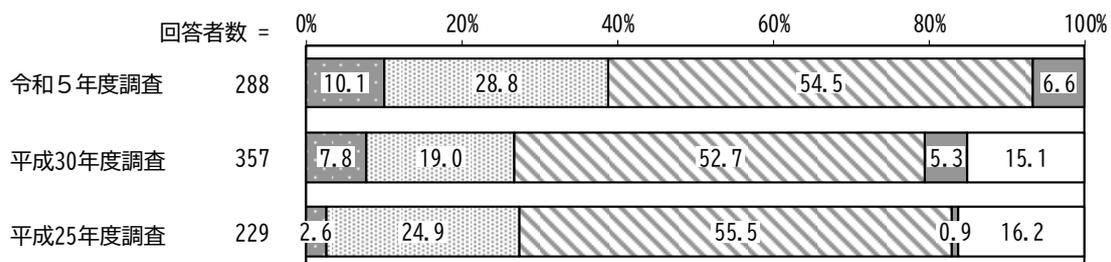
就学前保護者では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が54.5%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない」の割合が28.8%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。

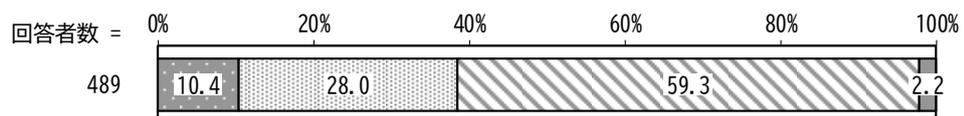
就学保護者では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が59.3%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない」の割合が28.0%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.4%となっています。

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

【就学前】



【就学】



問 【「以前は就労していたが、現在は就労していない」・「これまで就労したことがない」母親】就労したいという希望はありますか。あてはまるものを選んでください。【就学前：問 17】【就学：問 17】

就学前保護者では、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が50.4%と最も高く、次いで「すぐにでも、または1年以内に就労したい」の割合が30.7%、「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」の割合が18.9%となっています。

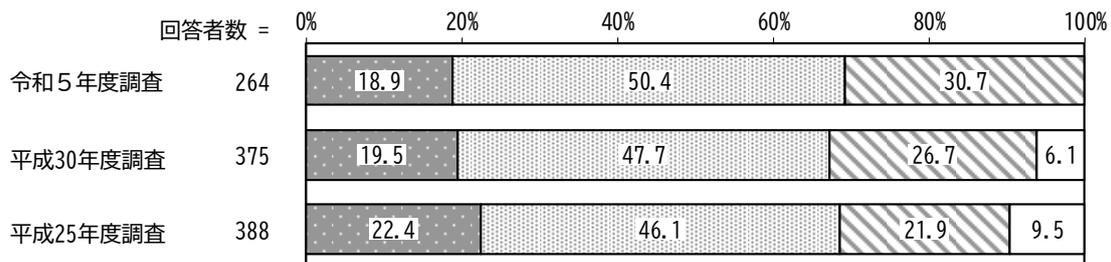
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」の割合が39.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、または1年以内に就労したい」の割合が33.1%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が27.2%となっています。

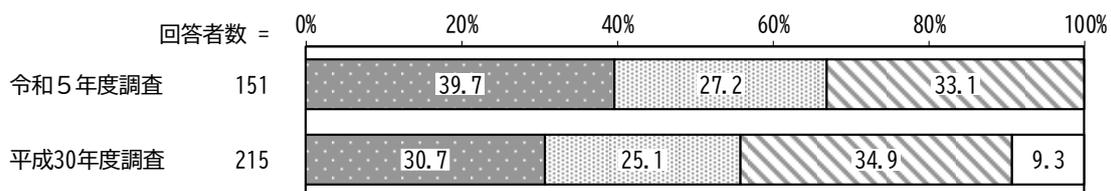
平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」の割合が増加しています。

- 子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい
- ▩ すぐにでも、または1年以内に就労したい
- 無回答

【就学前】



【就学】



何歳になったら就労したいと考えていますか。

就学前保護者では、「3歳」の割合が41.4%と最も高く、次いで「4歳」、「7歳以上」の割合が17.3%となっています。

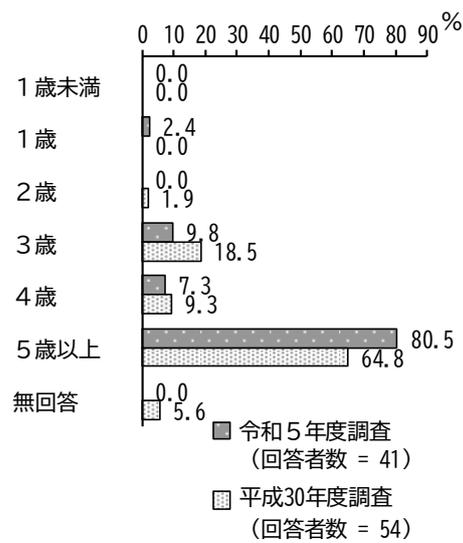
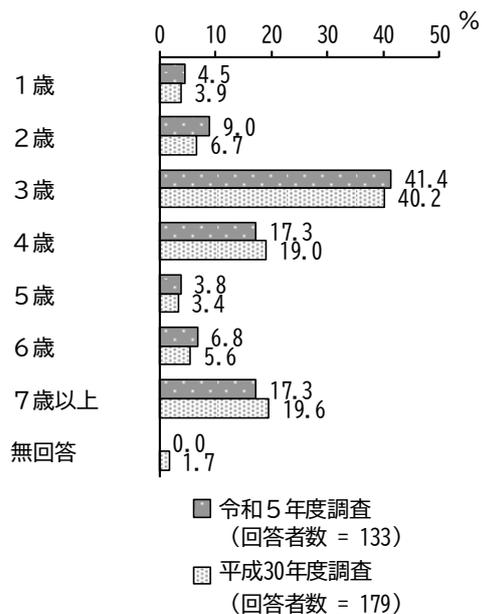
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「5歳以上」の割合が80.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「5歳以上」の割合が増加しています。一方、「3歳」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



問 【「すぐにでも、または1年以内に就労したい」母親】希望する就労形態を選んでください。【就学前：問18】【就学：問18】

就学前保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」の割合が14.8%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が85.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」の割合が6.0%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が94.0%となっています。

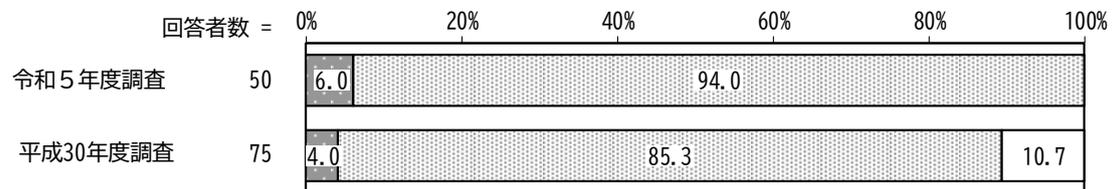
平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）」の割合が増加しています。

■ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）
 ■ パート・アルバイト等（フルタイム以外）
 □ 無回答

【就学前】



【就学】



問 【「パート・アルバイト等（フルタイム以外）」で就労したい】母親】希望する週当たりの「就労日数」・1日当たりの「就労時間」を入力してください。
【就学前：問19】【就学：問19】

就労日数（1週当たり）

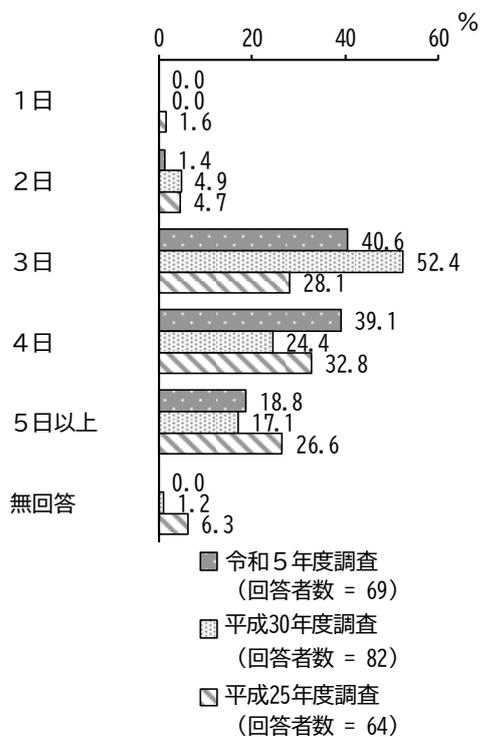
就学前保護者では、「3日」の割合が40.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が39.1%、「5日以上」の割合が18.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。

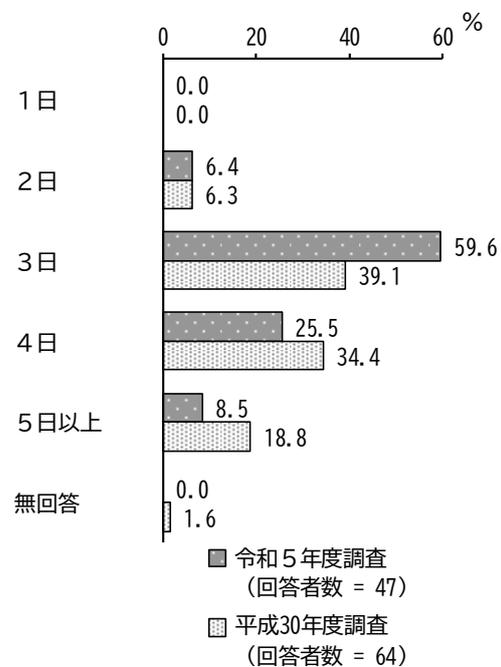
就学保護者では、「3日」の割合が59.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が25.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」「5日以上」の割合が減少しています。

【就学前】



【就学】



就労時間（1日当たり）

就学前保護者では、「5時間」の割合が66.7%と最も高く、次いで「4時間」の割合が23.2%となっています。

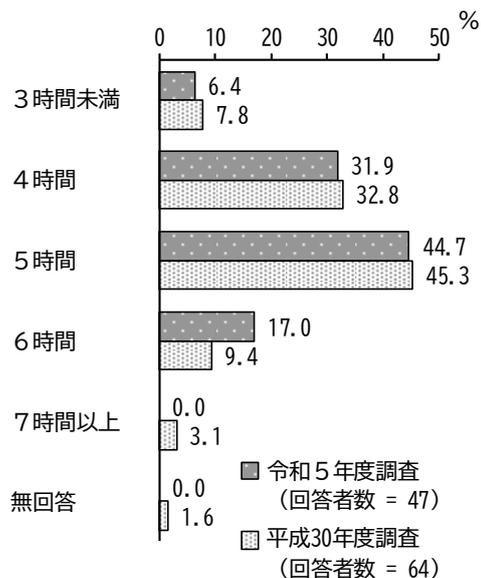
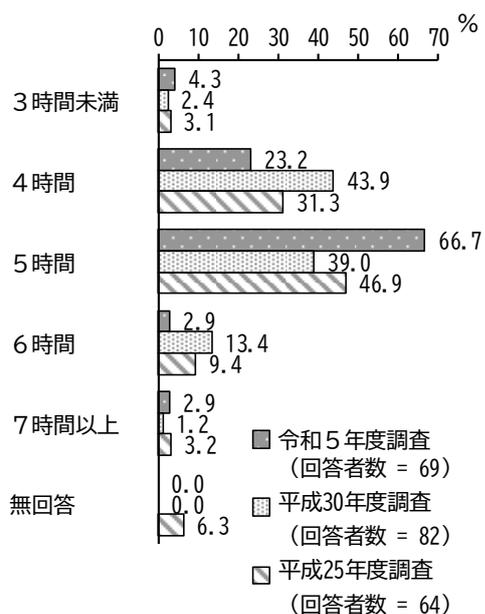
平成30年度調査と比較すると、「5時間」の割合が増加しています。一方、「4時間」「6時間」の割合が減少しています。

就学保護者では、「5時間」の割合が44.7%と最も高く、次いで「4時間」の割合が31.9%、「6時間」の割合が17.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6時間」の割合が増加しています。

【就学前】

【就学】



問 【父親】あて名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、あてはまるものを選んでください。【就学前：問 20】【就学：問 20】

就学前保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が94.1%と最も高くなっています。

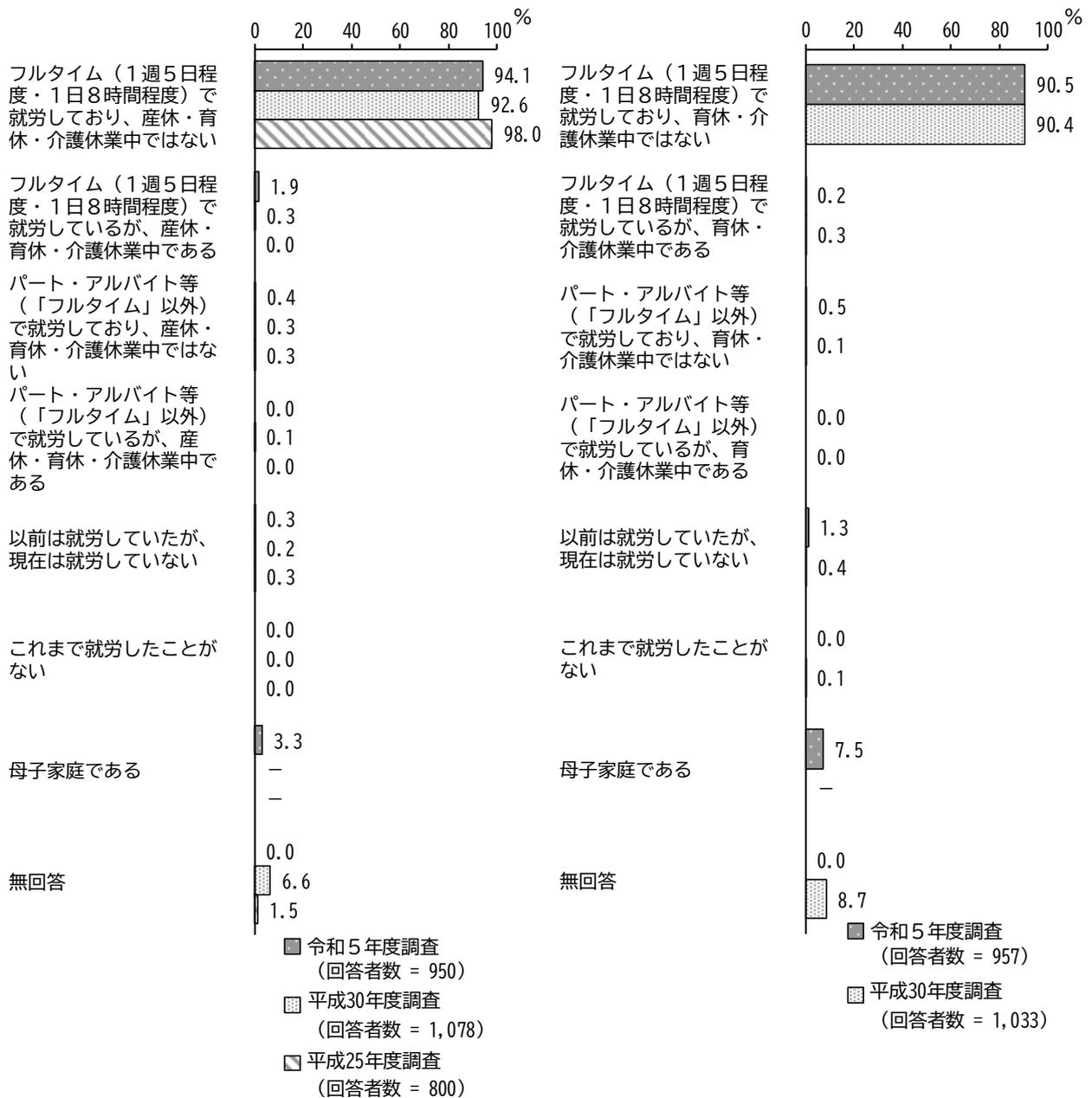
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が90.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前】

【就学】



※前回調査、前々回調査では、「母子家庭である」の選択肢はありませんでした。

問 【就労している父親】 週当たりの「就労日数」・1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を入力してください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 【就学前：問 21】【就学：問 21】

就労日数（1週当たり）

就学前保護者では、「5日」の割合が77.8%と最も高く、次いで「6日」の割合が17.9%となっています。

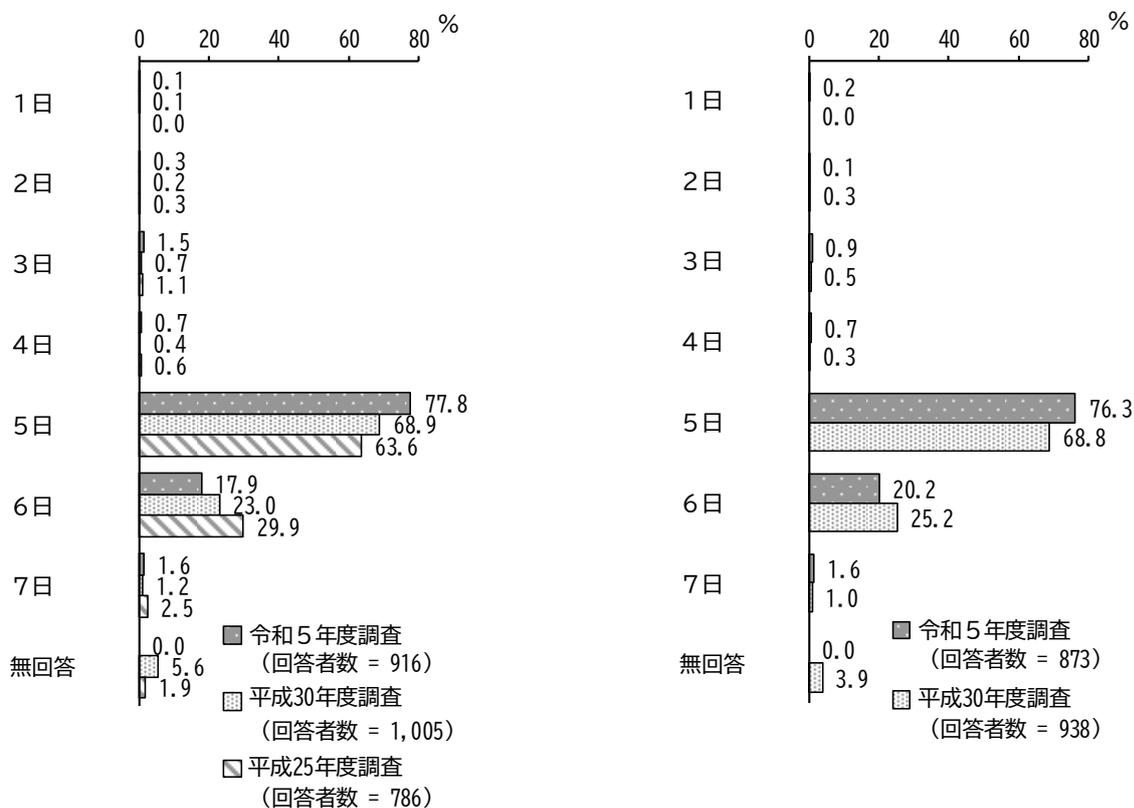
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。

就学保護者では、「5日」の割合が76.3%と最も高く、次いで「6日」の割合が20.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。

【就学前】

【就学】



就労時間（1日当たり）

就学前保護者では、「8～9時間未満」の割合が38.0%と最も高く、次いで「10～11時間未満」の割合が23.5%、「9～10時間未満」の割合が17.0%となっています。

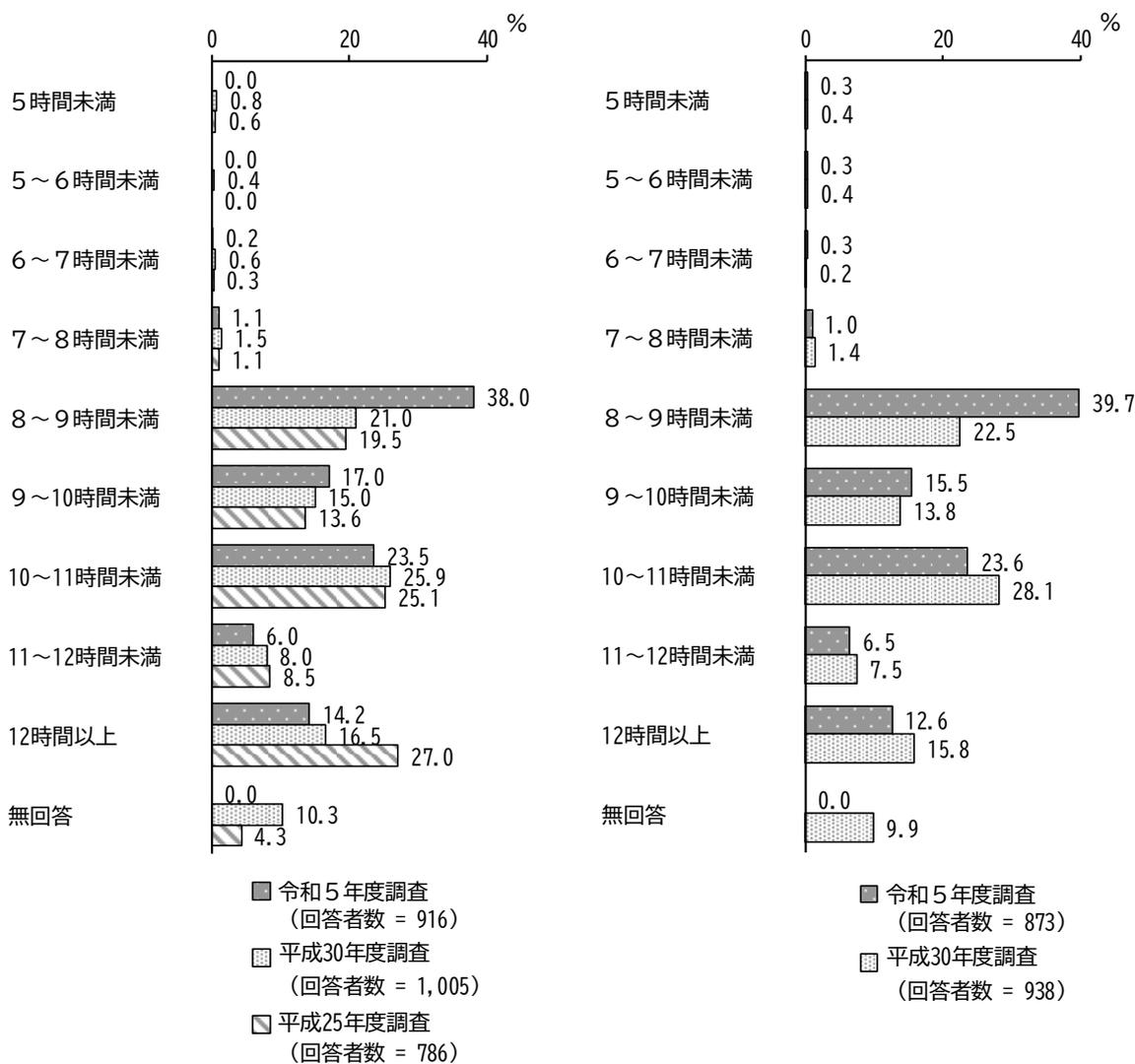
平成30年度調査と比較すると、「8～9時間未満」の割合が増加しています。

就学保護者では、「8～9時間未満」の割合が39.7%と最も高く、次いで「10～11時間未満」の割合が23.6%、「9～10時間未満」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8～9時間未満」の割合が増加しています。

【就学前】

【就学】



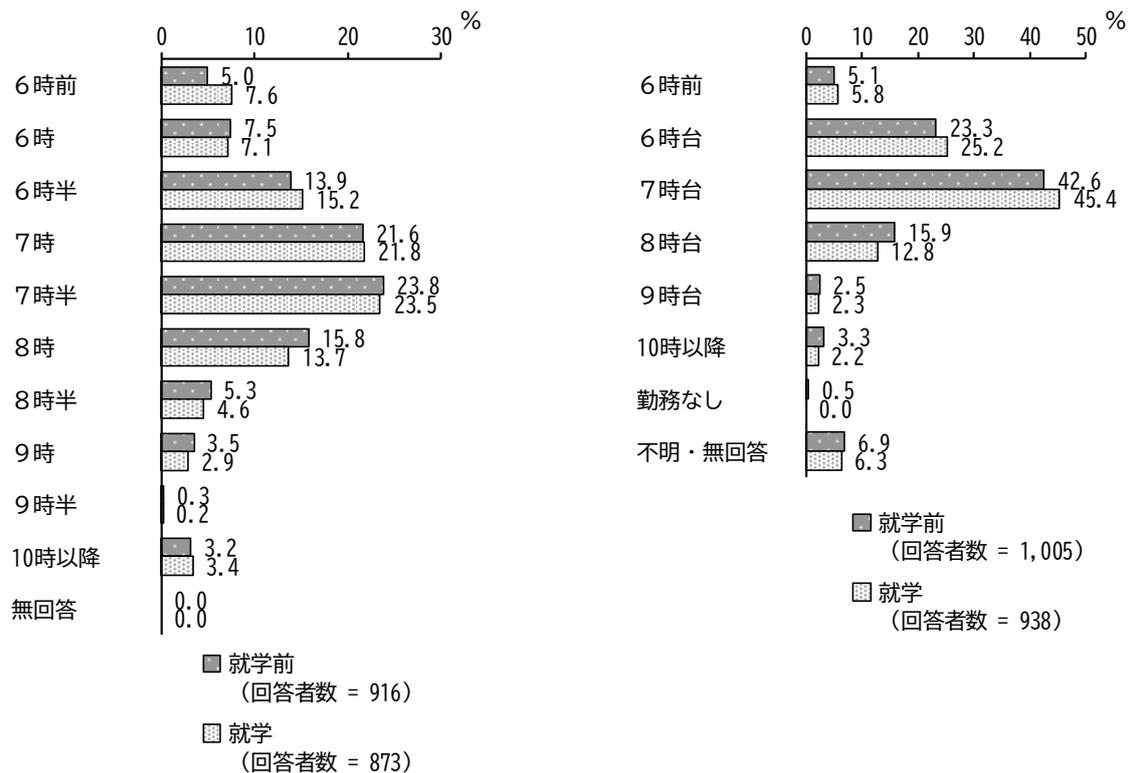
問 【就労している父親】「家を出る時刻」・「帰宅時刻」を入力してください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。【就学前：問 22】【就学：問 22】

家を出る時刻

就学前保護者では、「7時半」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「7時」の割合が 21.6%、「8時」の割合が 15.8%となっています。

就学保護者では、「7時半」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「7時」の割合が 21.8%、「6時半」の割合が 15.2%となっています。

【平成 30 年度調査 参考】

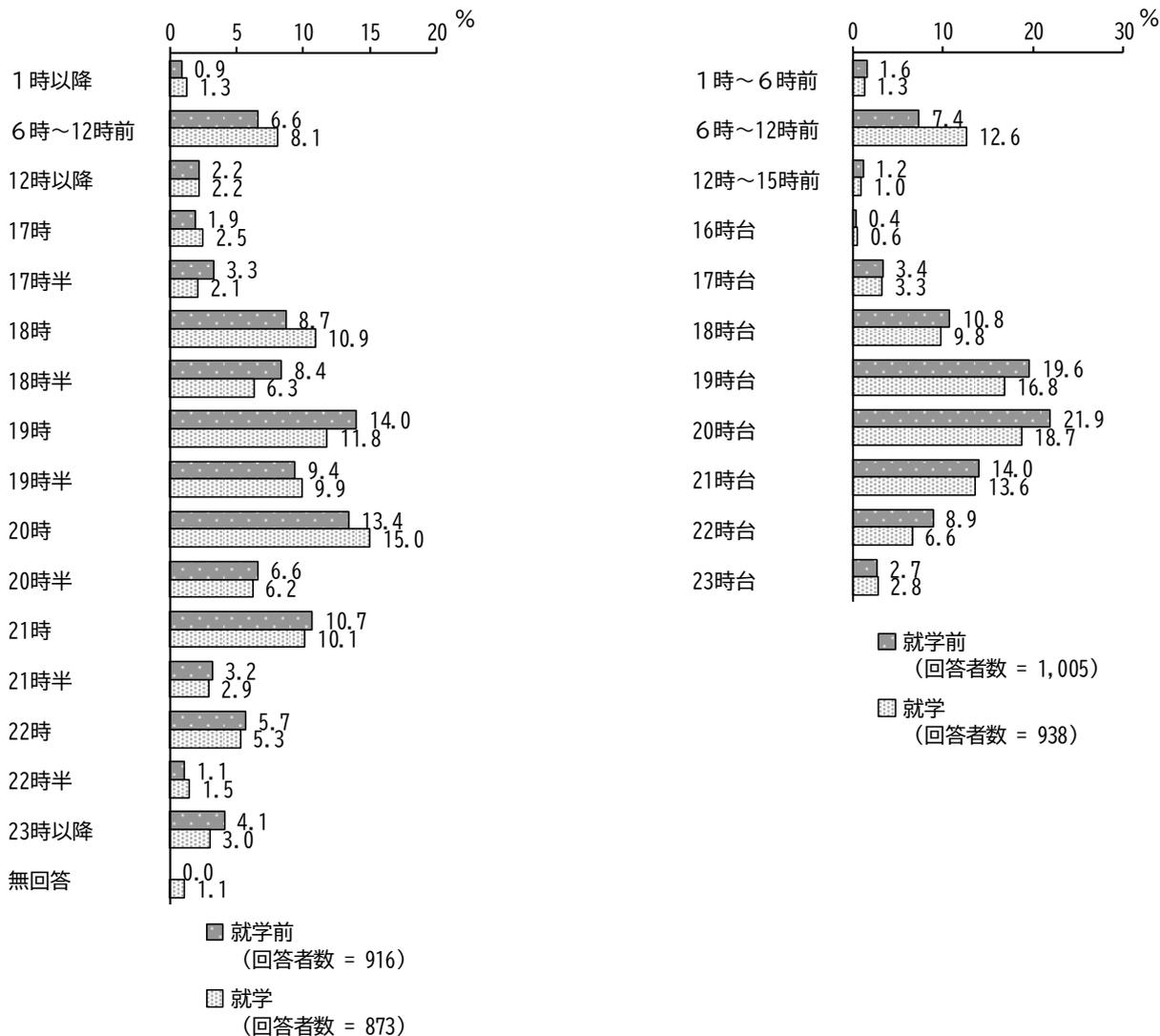


帰宅時刻

就学前保護者では、「19時」の割合が14.0%と最も高く、次いで「20時」の割合が13.4%、「21時」の割合が10.7%となっています。

就学保護者では、「20時」の割合が15.0%と最も高く、次いで「19時」の割合が11.8%、「18時半」の割合が10.9%となっています。

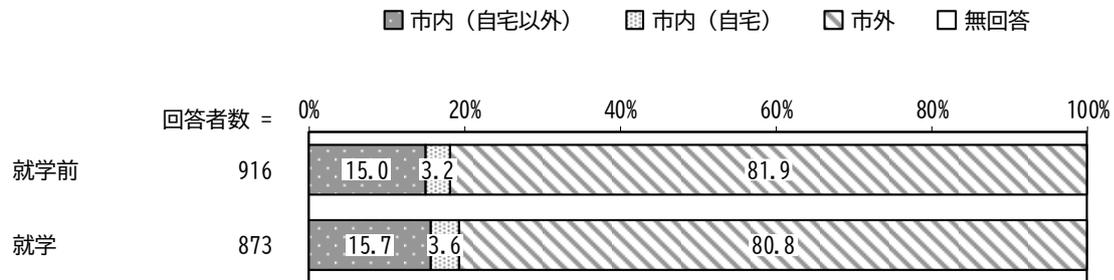
【平成30年度調査 参考】



問 【就労している父親】現在の勤務地はどこですか。【就学前：問 23】【就学：問 23】

就学前保護者では、「市外」の割合が 81.9%と最も高く、次いで「市内（自宅以外）」の割合が 15.0%となっています。

就学保護者では、「市外」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「市内（自宅以外）」の割合が 15.7%となっています。



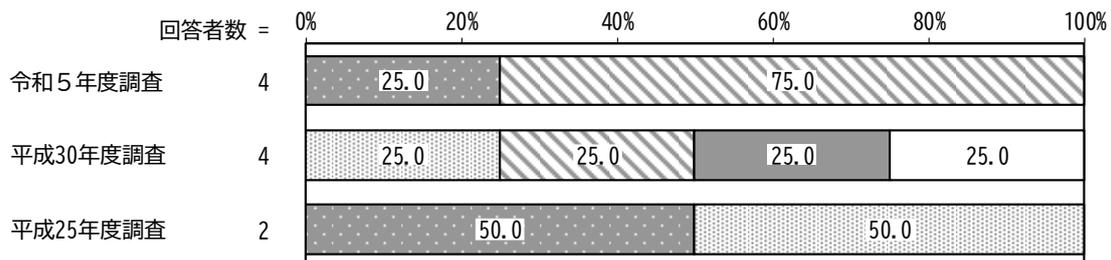
問 【「パート・アルバイト等で就労している」父親】フルタイムへの転換希望はありますか。【就学前：問 24】【就学：問 24】

就学前保護者では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が3件となっています。「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が1件となっています。

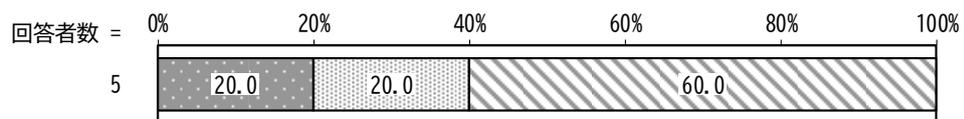
就学保護者では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が3件となっています。「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない」が1件となっています。

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みはない
- ▩ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

【就学前】



【就学】



問 【「以前は就労していたが、現在は就労していない」・「これまで就労したことがない」父親】就労したいという希望はありますか。あてはまるものを選んでください。【就学前：問 25】【就学：問 25】

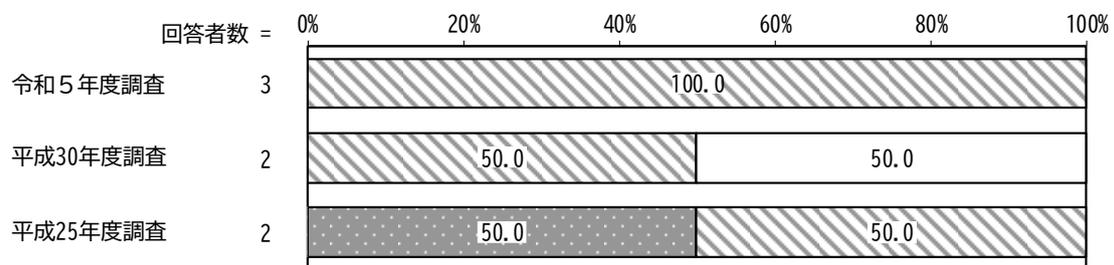
就学前保護者では、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が3件となっています。

就学保護者では、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」の割合が66.7%と最も高く、次いで「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」の割合が33.3%となっています。

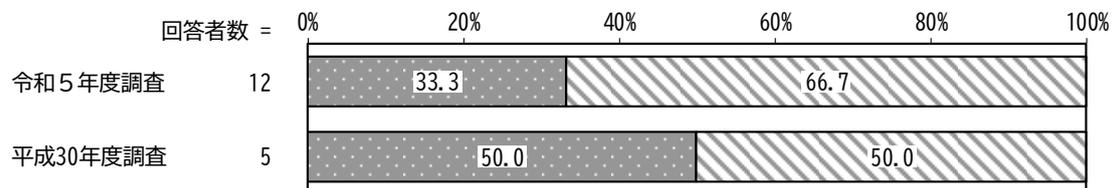
平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」の割合が減少しています。

- 子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが何歳になったら就労したい
- ▩ さらに、または1年以内に就労したい
- 無回答

【就学前】



【就学】



何歳になったら就労したいと考えていますか。

就学前保護者では、有効回答がありませんでした。

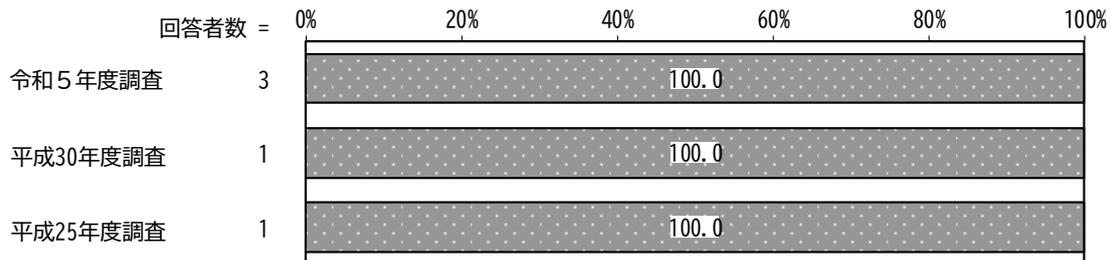
就学保護者では、有効回答がありませんでした。

問 【「すぐにでも、または1年以内に就労したい」父親】希望する就労形態を選んでください。【就学前：問26】【就学：問26】

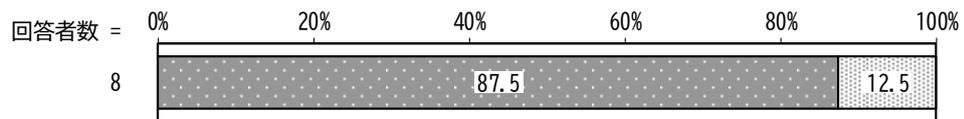
就学前保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」が3件となっています。
 就学保護者では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」が7件、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）」が1件となっています。

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）
- ▨ パート・アルバイト等（フルタイム以外）
- 無回答

【就学前】



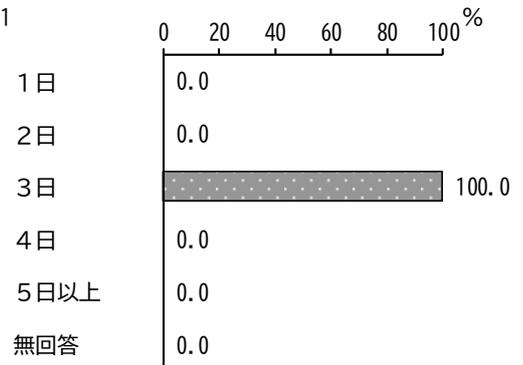
【就学】



問 【「パート・アルバイト等（フルタイム以外）」で就労したい父親】希望する週当たりの「就労日数」・1日当たりの「就労時間」を入力してください。【就学前：問27】【就学：問27】

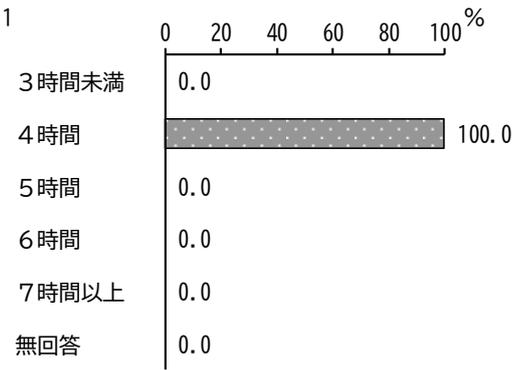
就労日数（1週当たり）

就学前保護者では、有効回答がありませんでした。回答者数 = 1
 就学保護者では、「3日」が1件となっています。



就労時間（1日当たり）

就学前保護者では、有効回答がありませんのでし 回答者数 = 1
た。
就学保護者では、「4時間」が1件となっています。

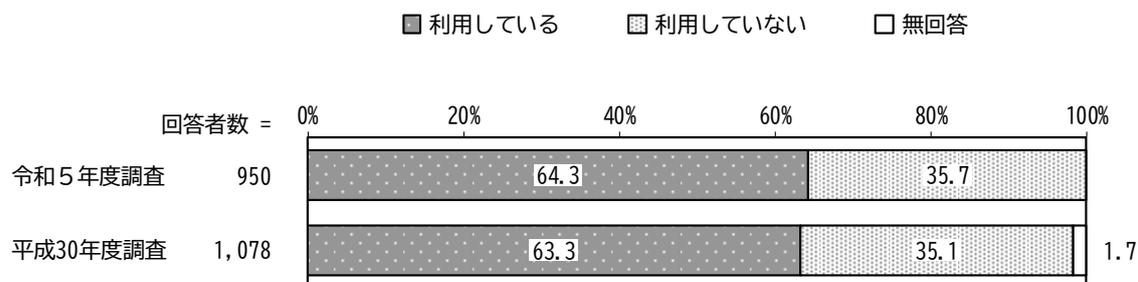


(5) 平日の定期的な教育・保育事業（施設）の利用状況について

問 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所等、月単位で「定期的な教育・保育の事業（施設）」を利用していますか。【就学前：問 28】

就学前保護者では、「利用している」の割合が 64.3%、「利用していない」の割合が 35.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、3歳で「利用していない」の割合が高くなっています。

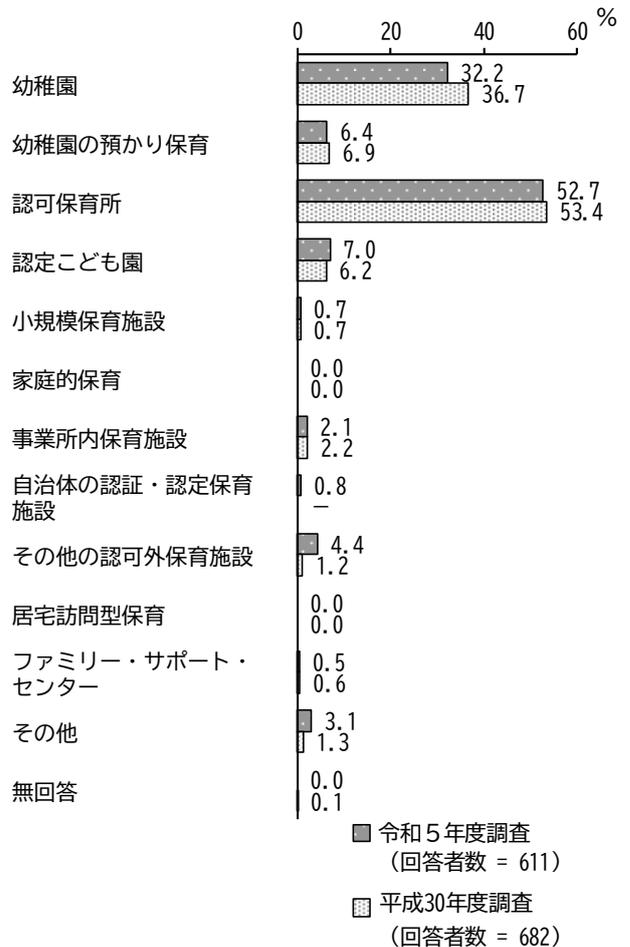
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回答
全 体	950	64.3	35.7	—
0 歳	129	69.8	30.2	—
1 歳	136	67.6	32.4	—
2 歳	140	72.9	27.1	—
3 歳	127	54.3	45.7	—
4 歳	147	66.7	33.3	—
5 歳	137	59.1	40.9	—
6 歳	134	59.0	41.0	—

問 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業（施設）を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業（施設）について、あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 29】

就学前保護者では、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）〔例〕江南市立保育園、布袋ぽっぽ園〕」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 32.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「自治体の認証・認定保育施設」の選択肢はありませんでした。

【就学前：その他の主な意見】

- ・ 職場の託児所
- ・ 療育施設
- ・ 発達事業所
- ・ 市内保育園
- ・ 児童発達支援施設

【年齢別】

年齢別にみると、3歳で「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）〔例〕江南市立保育園、布袋ぼっぼ園」の割合が高くなっています。

単位：％

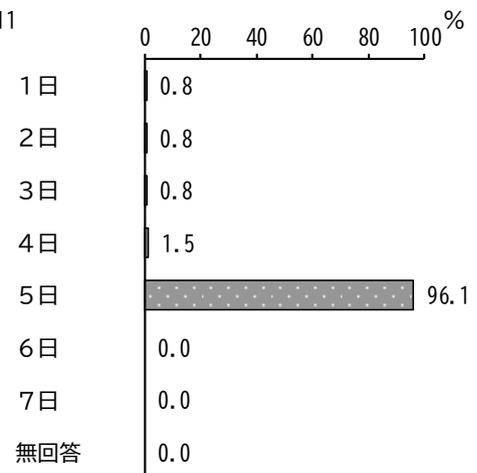
区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）〔例〕江南市立保育園、布袋ぼっぼ園	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの ※江南市内にはありません。）	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
全体	611	32.2	6.4	52.7	7.0	0.7	—
0歳	90	34.4	7.8	51.1	6.7	—	—
1歳	92	29.3	7.6	53.3	12.0	1.1	—
2歳	102	30.4	4.9	58.8	6.9	—	—
3歳	69	29.0	8.7	59.4	4.3	1.4	—
4歳	98	35.7	4.1	46.9	6.1	—	—
5歳	81	32.1	7.4	50.6	4.9	1.2	—
6歳	79	34.2	5.1	49.4	7.6	1.3	—

区分	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設 ※江南市内にはありません。）	その他の認可外保育施設〔例〕江南ぼっぼ園、わいわいわい、のいちこども園等〕	居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
全体	2.1	0.8	4.4	—	0.5	3.1	—
0歳	3.3	—	4.4	—	1.1	1.1	—
1歳	—	3.3	3.3	—	—	5.4	—
2歳	—	—	2.9	—	—	2.9	—
3歳	4.3	—	2.9	—	1.4	5.8	—
4歳	4.1	1.0	6.1	—	1.0	2.0	—
5歳	2.5	—	8.6	—	—	1.2	—
6歳	1.3	1.3	2.5	—	—	3.8	—

問 問 29 で選択した事業（施設）のうち、最も利用しているものについて、1週当たりの「実際の利用日数」・「利用開始時刻」・「利用終了時刻」を入力してください。
【就学前：問 30】

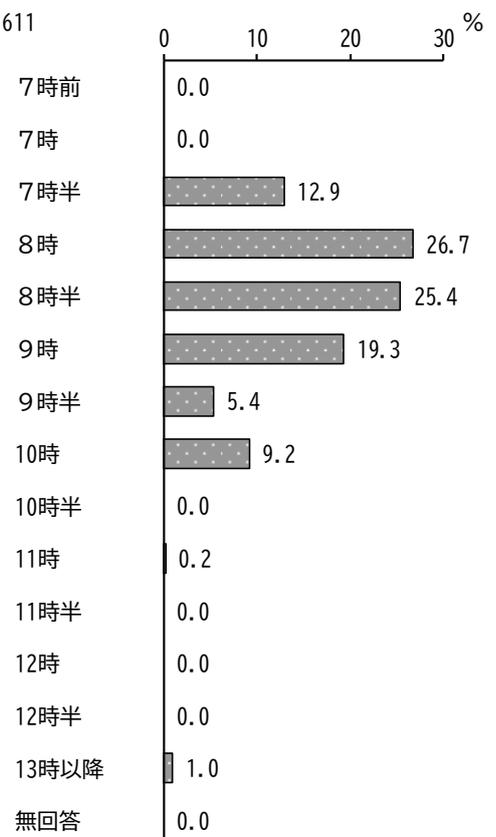
利用日数（1週当たり）

就学前保護者では、「5日」の割合が 96.1%と 回答者数 = 611
最も高くなっています。



開始時刻

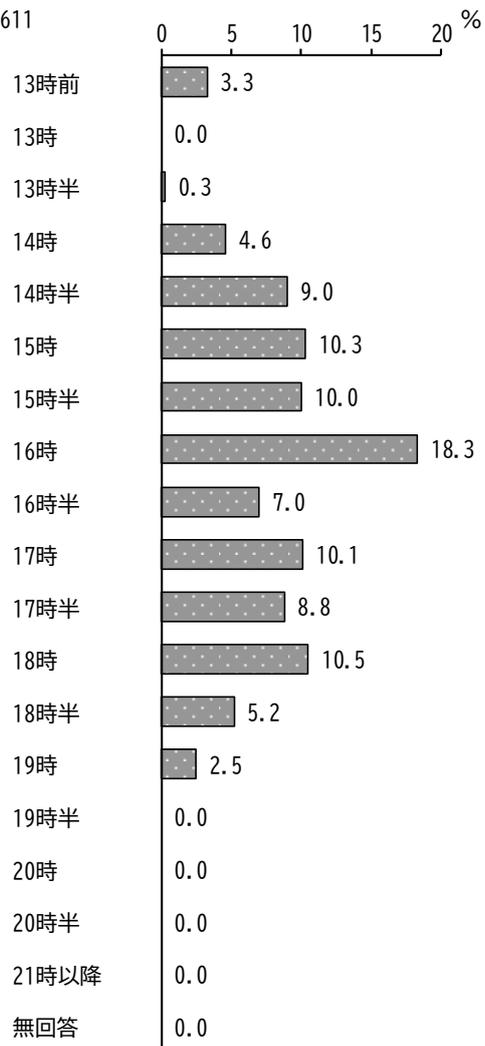
就学前保護者では、「8時」の割合が 26.7%と 回答者数 = 611
最も高く、次いで「8時半」の割合が 25.4%、「9時」の割合が 19.3%となっています。



終了時刻

就学前保護者では、「16時」の割合が18.3%と最も高く、次いで「18時」の割合が10.5%、「15時」の割合が10.3%となっています。

回答者数 = 611



問 問 29 の事業（施設）について、希望どおりの日数、時間の利用ができていますか。
 希望どおりでない場合、「希望日数」・「希望時刻」を入力してください。
 【就学前：問 31】

就学前保護者では、「希望どおりの日数・時間
 利用できている」の割合が 96.6%と最も高くなっ
 ています。

回答者数 = 611

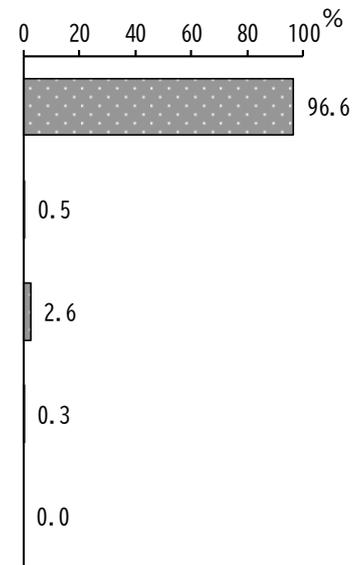
希望どおりの日数・時間
 利用できている

希望どおりの時間利用で
 きているが、希望どおり
 の日数利用できていない

希望どおりの日数利用で
 きているが、希望どおり
 の時間帯に利用できてい
 ない

日数・時間帯ともに希望
 どおりでない

無回答



希望日数（1週当たり）

就学前保護者では、「3日」、「5日」が2件とな
 っています。「4日」が1件となっています。

回答者数 = 5

1日

2日

3日

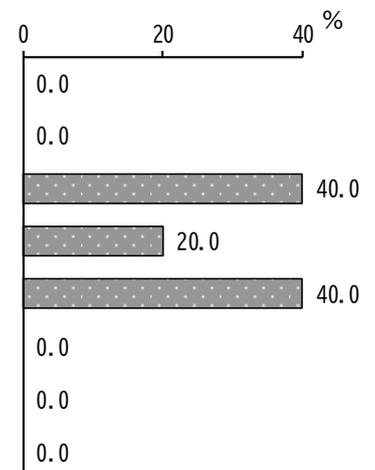
4日

5日

6日

7日

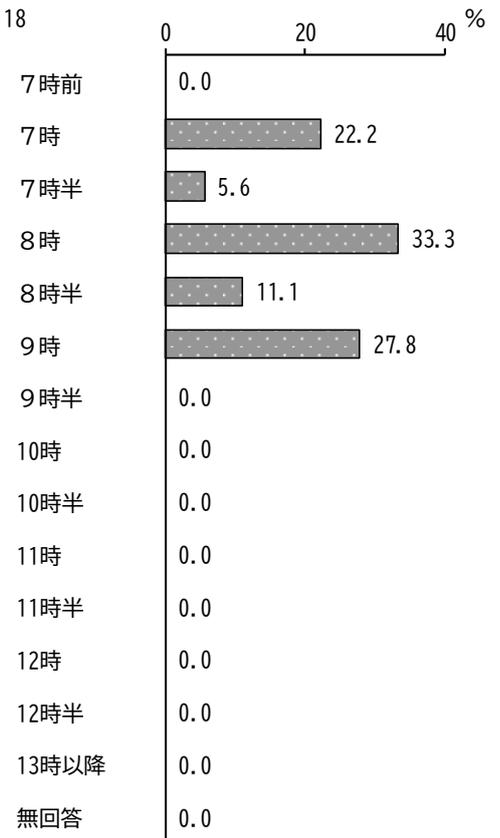
無回答



希望開始時刻

就学前保護者では、「8時」の割合が33.3%と最も高く、次いで「9時」の割合が27.8%、「7時」の割合が22.2%となっています。

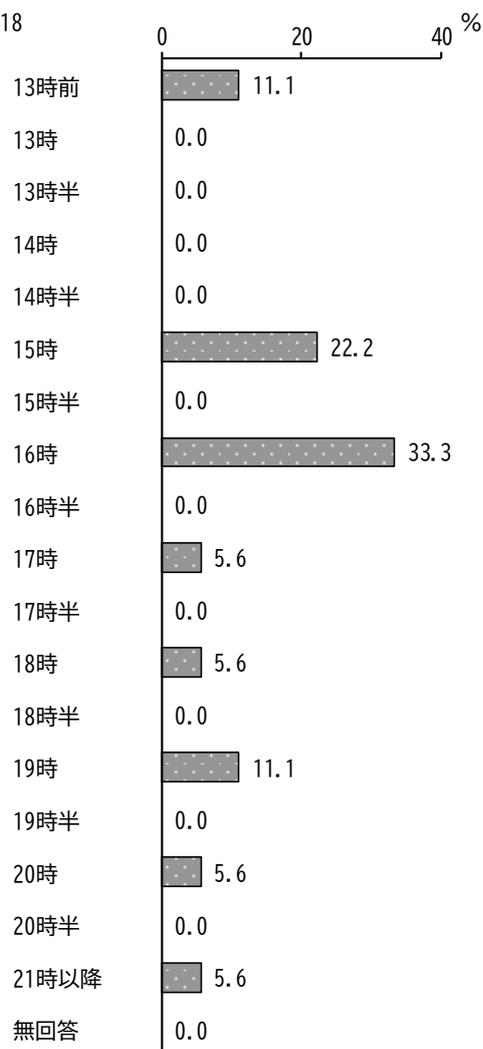
回答者数 = 18



希望終了時刻

就学前保護者では、「16時」の割合が33.3%と最も高く、次いで「15時」の割合が22.2%、「13時前」、「19時」の割合が11.1%となっています。

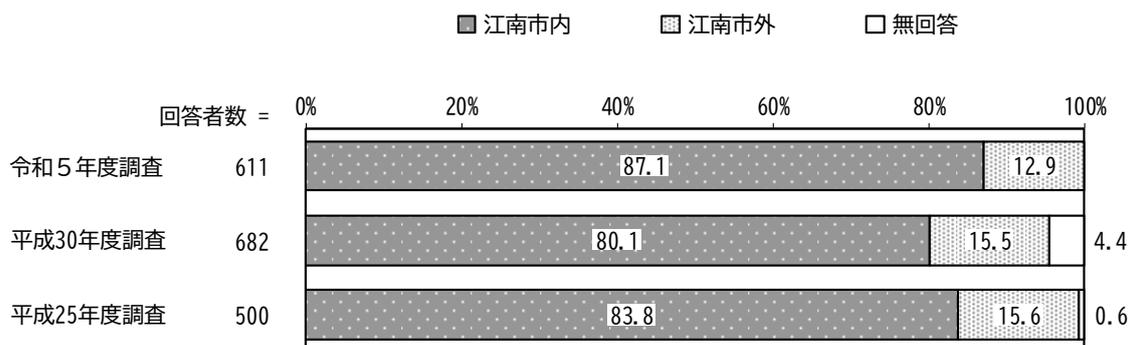
回答者数 = 18



問 現在、利用している教育・保育事業（施設）の場所はどこですか。
【就学前：問 32】

就学前保護者では、「江南市内」の割合が87.1%、「江南市外」の割合が12.9%となっています。

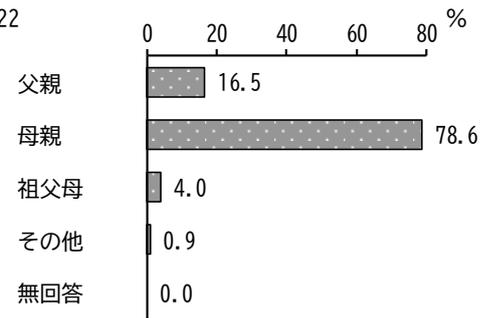
平成30年度調査と比較すると、「江南市内」の割合が増加しています。



問 【保育所を利用している方】あて名のお子さんを保育所まで送り届けるのは主にどなたですか。【就学前：問 33】

就学前保護者では、「母親」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が 16.5%となっています。

回答者数 = 322

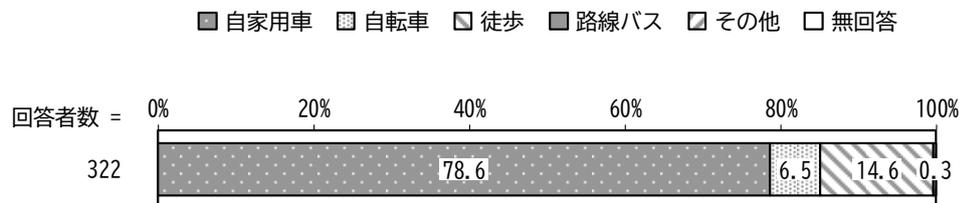


【就学前：その他の意見】

- ・ファミリーサポートセンターの援助会員

問 【保育所を利用している方】保育所まで送り届ける際の交通手段について、あてはまるものを選んでください。【就学前：問 34】

就学前保護者では、「自家用車」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 14.6%となっています。

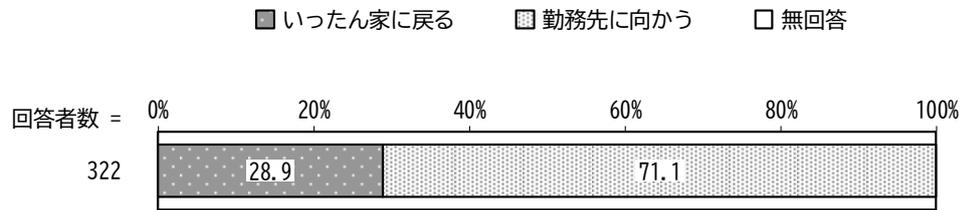


【就学前：その他の意見】

- ・電車

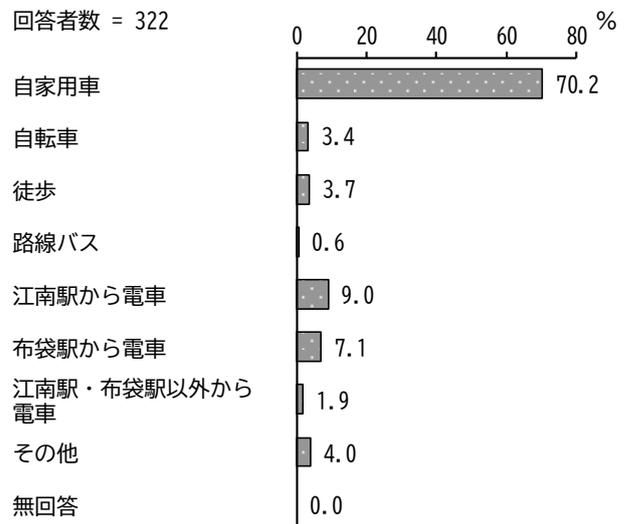
問 【保育所を利用している方】お子さんを保育所へ送り届けたあとの行動について、あてはまるものを選んでください。【就学前：問 35】

就学前保護者では、「いったん家に戻る」の割合が 28.9%、「勤務先に向かう」の割合が 71.1% となっています。



問 【保育所を利用している方】勤務先への交通手段について、あてはまるものを選んでください。【就学前：問 36】

就学前保護者では、「自家用車」の割合が 70.2% と最も高くなっています。



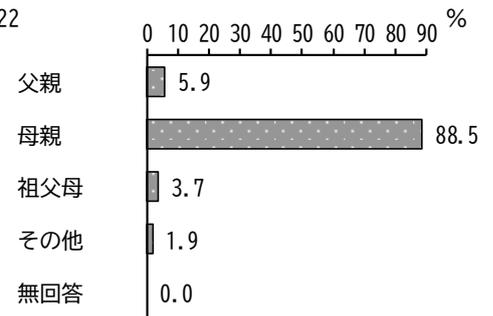
【就学前：その他の主な意見】

- ・ 自宅兼事務所のため
- ・ 現在、私的契約
- ・ 内職なので家で作業
- ・ 在宅ワークなため
- ・ 自宅が職場

問 【保育所を利用している方】あて名のお子さんを保育所まで迎えに行くのは主にどなたですか。【就学前：問 37】

就学前保護者では、「母親」の割合が 88.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 322



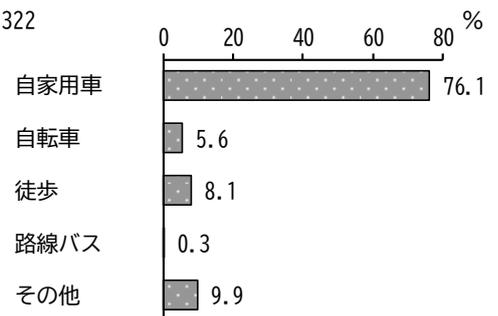
【就学前：その他の意見】

- ・児童発達支援施設の方

問 【保育所を利用している方】保育所までの交通手段について、あてはまるものを選んでください。【就学前：問 38】

就学前保護者では、「自家用車」の割合が 76.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 322



問 【保育所を利用している方】保育所の立地について、もっとも便利だと思うものを選んでください。【就学前：問 39】

就学前保護者では、「自宅から徒歩圏内（勤務先との位置関係は問わない）」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「自宅と勤務先の間」の割合が 40.7%となっています。

回答者数 = 322

自宅と勤務先の間

自宅と駅の間

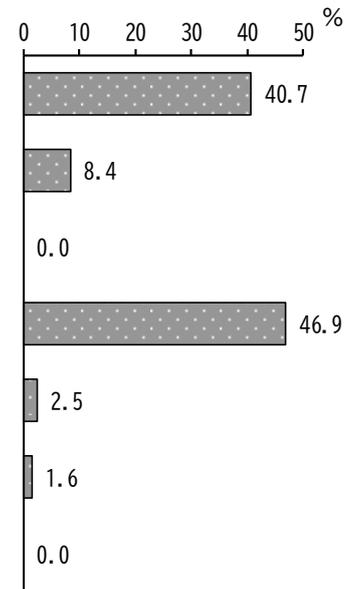
自宅とバス停の間

自宅から徒歩圏内（勤務先との位置関係は問わない）

勤務先の事業所内

その他

無回答



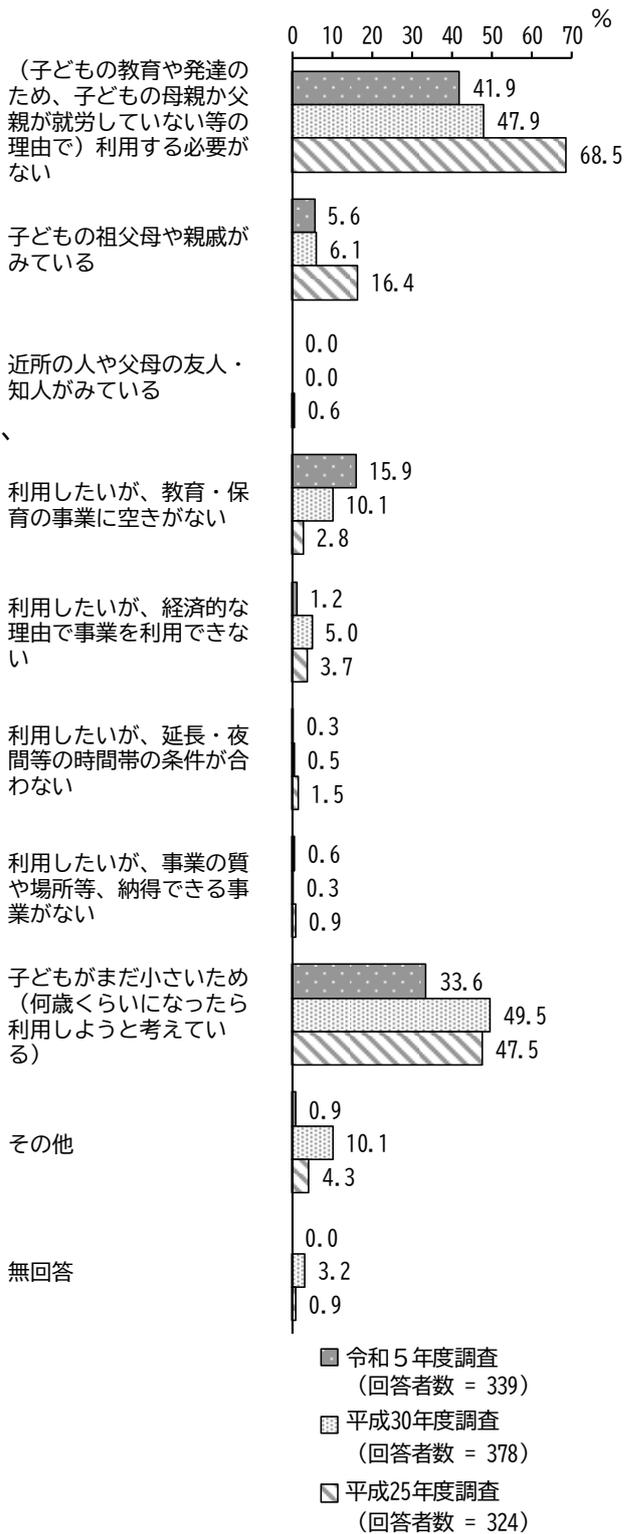
【就学前：その他の意見】

- ・会社まで便利

問 【教育・保育事業（施設）を利用していない方】利用していない理由について、もっともあてはまるものを選んでください。【就学前：問 40】

就学前保護者では、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していない等の理由で)利用する必要がない」の割合が41.9%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が33.6%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」の割合が増加しています。一方、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していない等の理由で)利用する必要がない」「子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が減少しています。



【就学前：その他の主な意見】

- ・ 育休退園させられた

【年齢別】

年齢別にみると、6歳で「子どもがまだ小さいため（何歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が高くなっています。

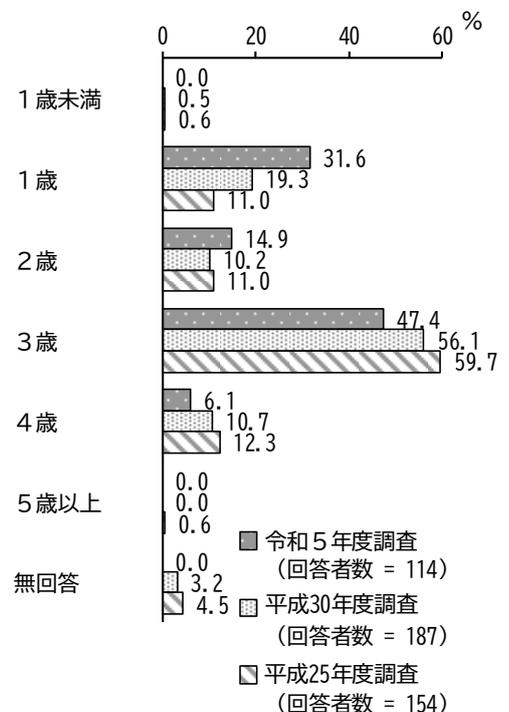
単位：％

区分	回答者数(件)	(子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている))	子どもの祖父母や親戚がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、教育・保育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所等、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)	その他	無回答
全体	339	39.8	5.6	—	15.3	1.2	0.3	0.6	33.6	3.5	—
0歳	39	51.3	5.1	—	15.4	—	—	—	28.2	—	—
1歳	44	38.6	4.5	—	18.2	—	—	—	38.6	—	—
2歳	38	36.8	5.3	—	21.1	—	—	—	31.6	5.3	—
3歳	58	39.7	5.2	—	19.0	1.7	—	1.7	25.9	6.9	—
4歳	49	44.9	8.2	—	8.2	4.1	2.0	—	28.6	4.1	—
5歳	56	33.9	5.4	—	16.1	1.8	—	1.8	35.7	5.4	—
6歳	55	36.4	5.5	—	10.9	—	—	—	45.5	1.8	—

何歳くらいになったら利用しようと考えていますか。

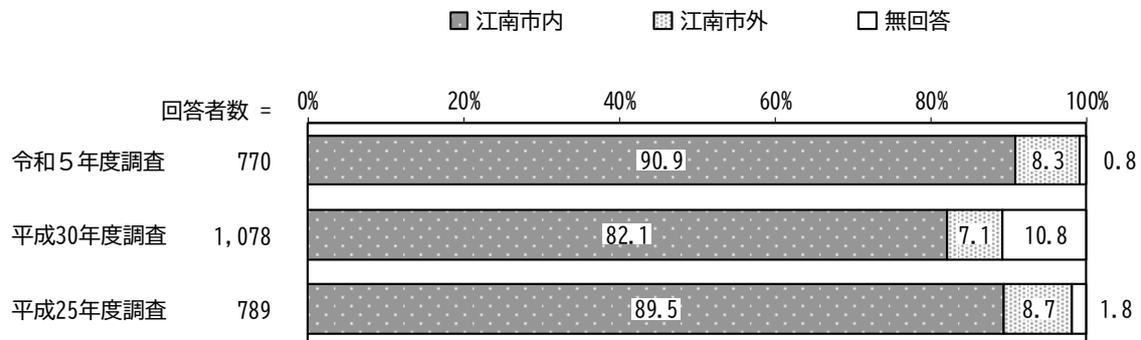
就学前保護者では、「3歳」の割合が47.4%と最も高く、次いで「1歳」の割合が31.6%、「2歳」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」の割合が減少しています。



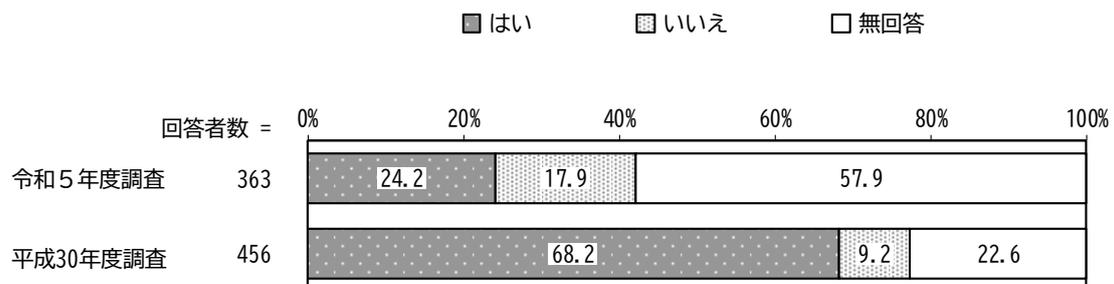
問 問 41 で選んだ教育・保育事業（施設）を利用したい場所は主にどこですか。
【就学前：問 42】

就学前保護者では、「江南市内」の割合が 90.9%、「江南市外」の割合が 8.3%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「江南市内」の割合が増加しています。



問 【幼稚園を選んだ方】問 41 で選んだ事業のうちで、幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を「特に強く」希望しますか。
【就学前：問 43】

就学前保護者では、「はい」の割合が 24.2%、「いいえ」の割合が 17.9%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。

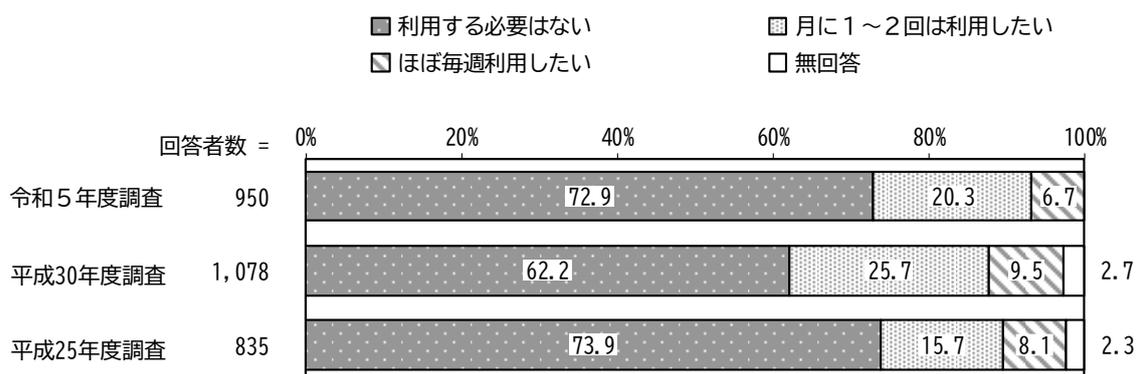


(6) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業（施設）の利用希望について

問 あて名のお子さんについて、土曜日に、幼稚園や保育所等の定期的な教育・保育の事業（施設）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。
【就学前：問 44】

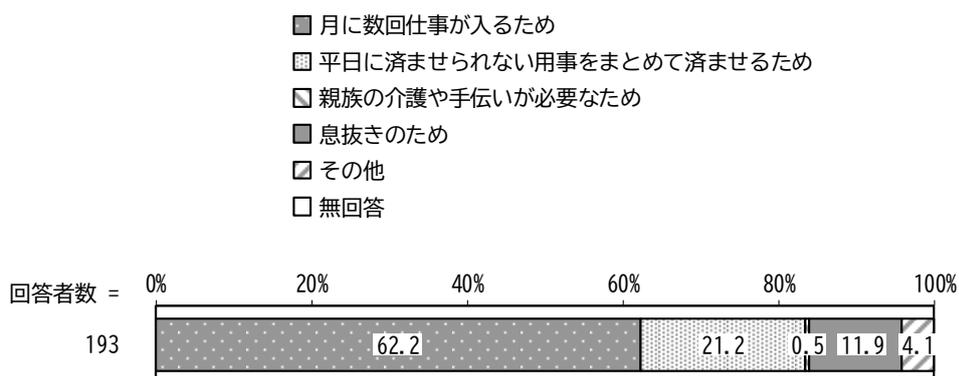
就学前保護者では、「利用する必要はない」の割合が 72.9%と最も高く、次いで「月に 1 ～2回は利用したい」の割合が 20.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「月に 1 ～2回は利用したい」の割合が減少しています。



問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【就学前：問 45】

就学前保護者では、「月に数回仕事が入るため」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 21.2%、「息抜きのため」の割合が 11.9%となっています。



【就学前：その他の主な意見】

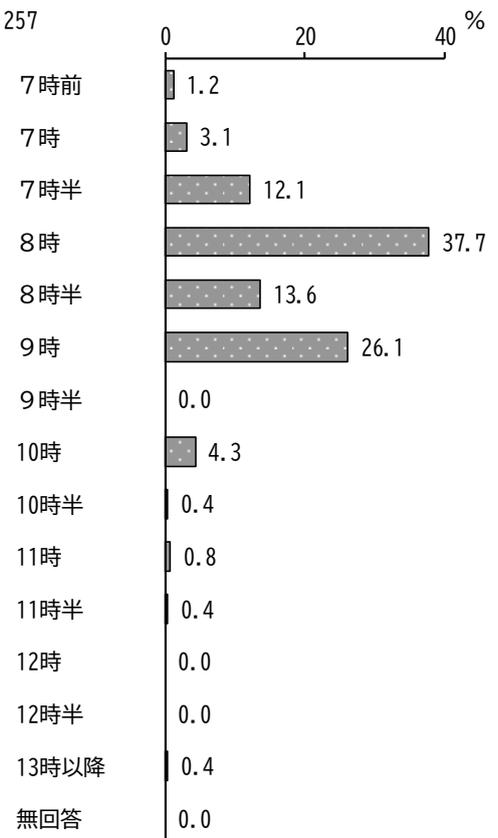
- ・ 持ち帰りの仕事をするため
- ・ まだ仕事してないので
- ・ 兄弟の行事や習い事
- ・ 様子を見たいから
- ・ 資格取得の勉強

問 利用したい時間帯を入力してください。【就学前：問 46】

開始時刻

就学前保護者では、「8時」の割合が37.7%と最も高く、次いで「9時」の割合が26.1%、「8時半」の割合が13.6%となっています。

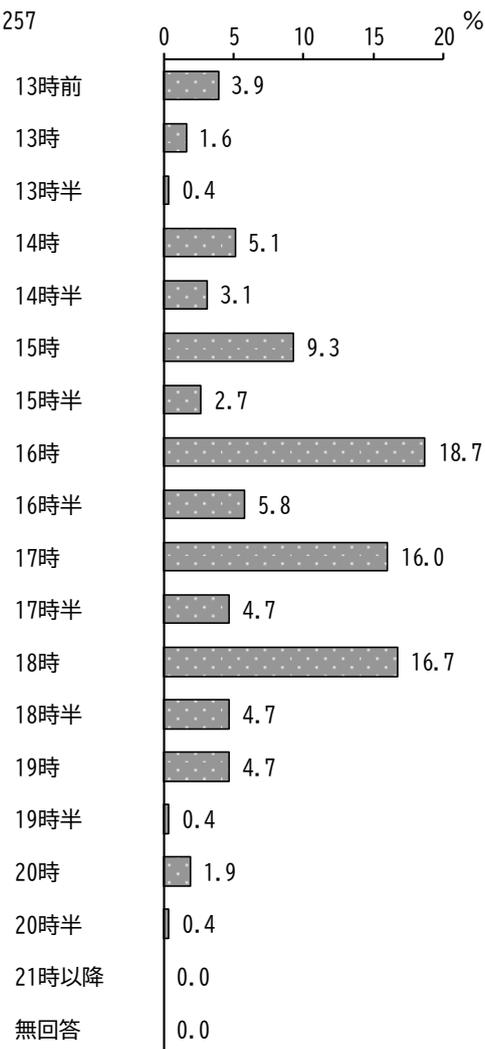
回答者数 = 257



終了時刻

就学前保護者では、「16時」の割合が18.7%と最も高く、次いで「18時」の割合が16.7%、「17時」の割合が16.0%となっています。

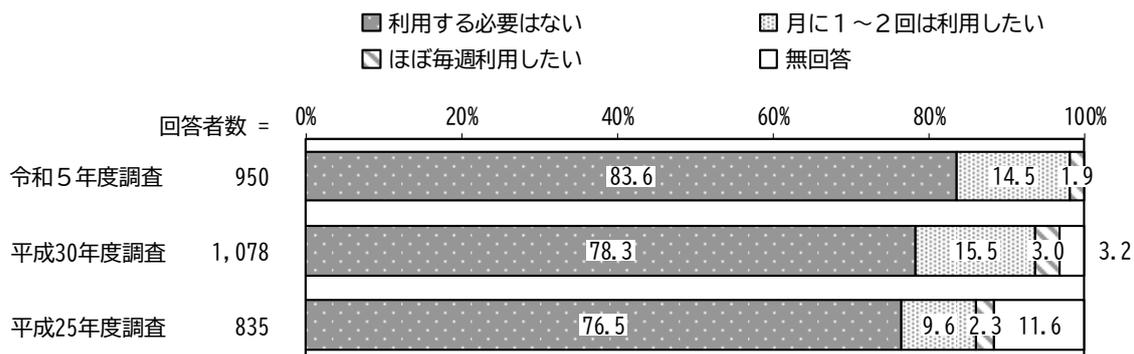
回答者数 = 257



問 あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所等の定期的な教育・保育の事業（施設）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。
【就学前：問 47】

就学前保護者では、「利用する必要はない」の割合が83.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が14.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【就学前：問 48】

就学前保護者では、「月に数回仕事が入るため」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 15.2%となっています。

回答者数 = 138

月に数回仕事が入るため

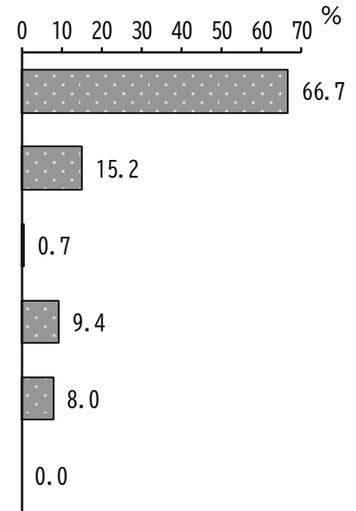
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

親族の介護や手伝いが必要なため

息抜きのため

その他

無回答



【就学前：その他の主な意見】

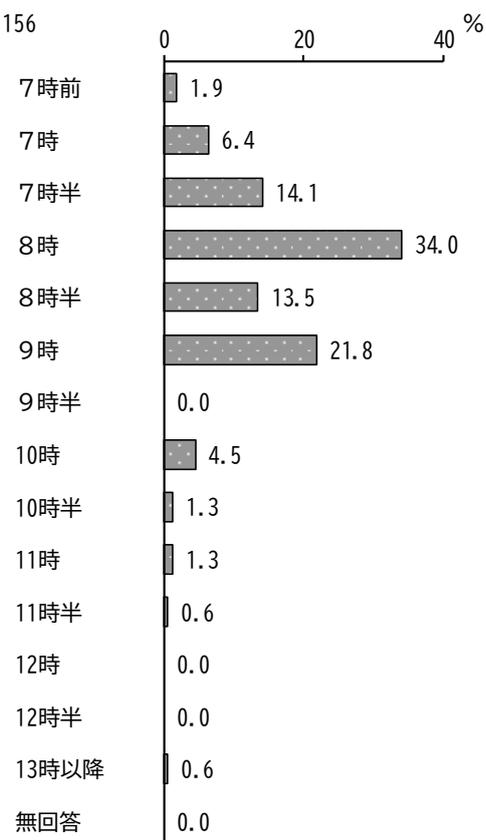
- ・ 父親が平日休みだが毎日帰りが遅いため
- ・ 夫が祝日は仕事があるから
- ・ 上の子の用事、行事
- ・ 勤め先は祝日も通常勤務日のため
- ・ 兄弟の行事や習い事のため

問 利用したい時間帯を入力してください。【就学前：問 49】

開始時刻

就学前保護者では、「8時」の割合が34.0%と最も高く、次いで「9時」の割合が21.8%、「7時半」の割合が14.1%となっています。

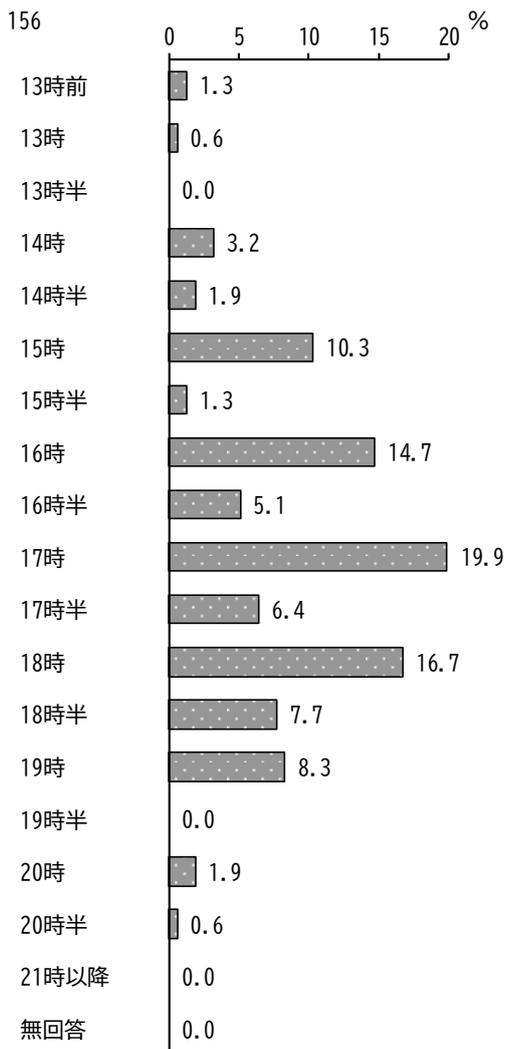
回答者数 = 156



終了時刻

就学前保護者では、「17時」の割合が19.9%と最も高く、次いで「18時」の割合が16.7%、「16時」の割合が14.7%となっています。

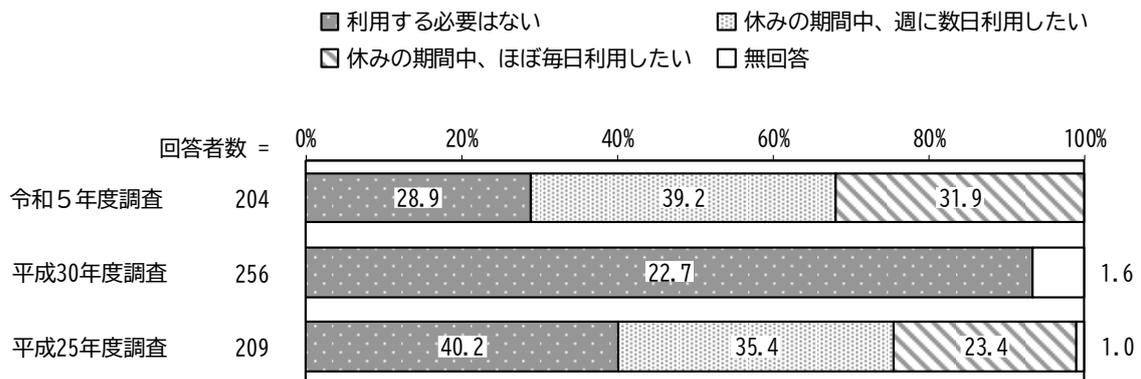
回答者数 = 156



問 【幼稚園を利用している方】あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の幼稚園の利用を希望しますか。【就学前：問 50】

就学前保護者では、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 31.9%、「利用する必要はない」の割合が 28.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

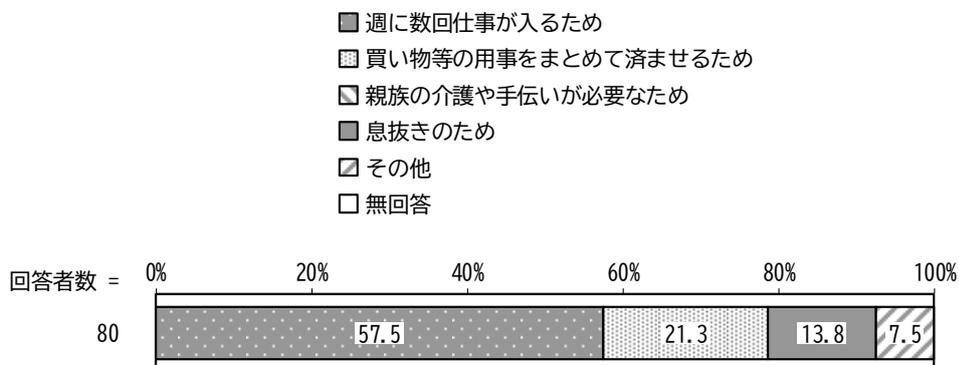


※前回調査では、「休みの期間中、週に数日利用したい」「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」の選択肢がありました。

問 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【就学前：問 51】

就学前保護者では、「週に数回仕事が入るため」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 21.3%、「息抜きのため」の割合が 13.8%となっています。



【就学前：その他の主な意見】

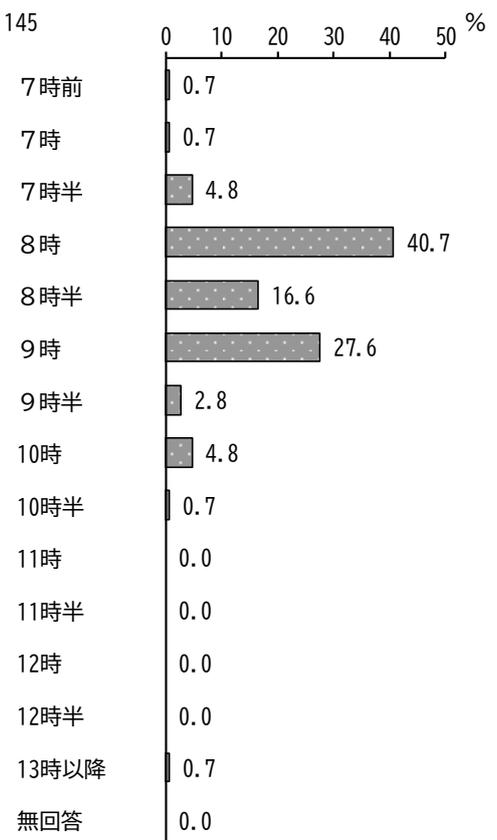
- ・自分が闘病中のため通院しているから
- ・幼稚園でお友達と関わる遊びができるため
- ・年内にパートを始めたいため
- ・今後仕事をしたいため
- ・仕事を始めやすいため

問 利用したい時間帯を入力してください。【就学前：問 52】

開始時刻

就学前保護者では、「8時」の割合が40.7%と最も高く、次いで「9時」の割合が27.6%、「8時半」の割合が16.6%となっています。

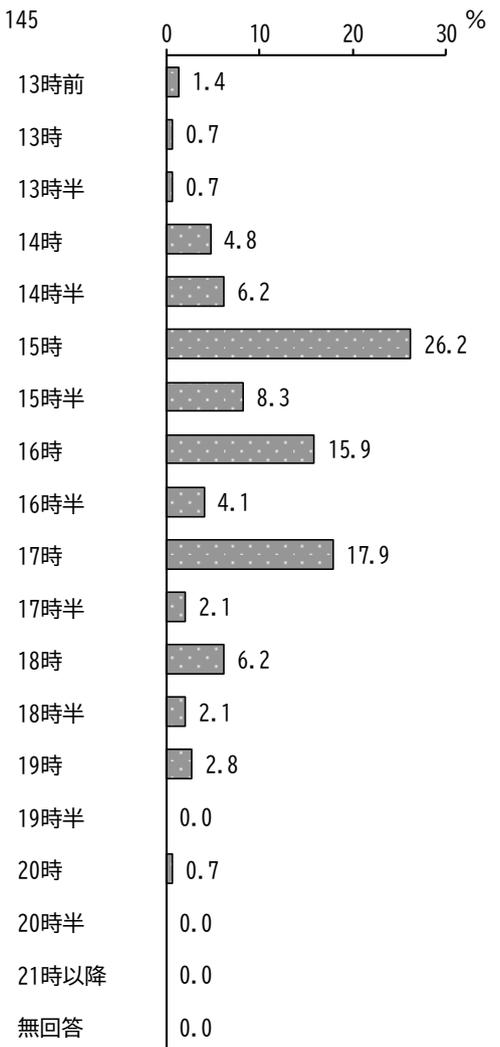
回答者数 = 145



終了時刻

就学前保護者では、「15時」の割合が26.2%と最も高く、次いで「17時」の割合が17.9%、「16時」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 145



(7) 病気の際の対応について

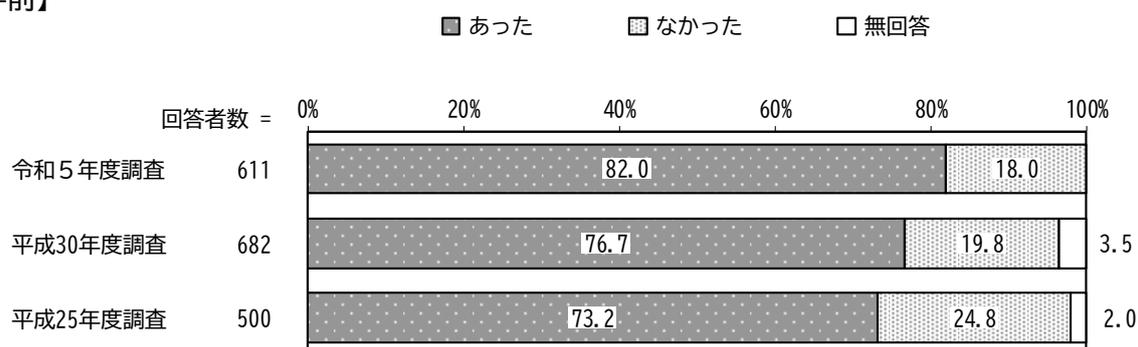
問 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園や保育園等の教育・保育の事業（施設）が利用できなかった（学校を休んだ）ことはありましたか。【就学前：問 53】【就学：問 28】

就学前保護者では、「あった」の割合が 82.0%、「なかった」の割合が 18.0%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。

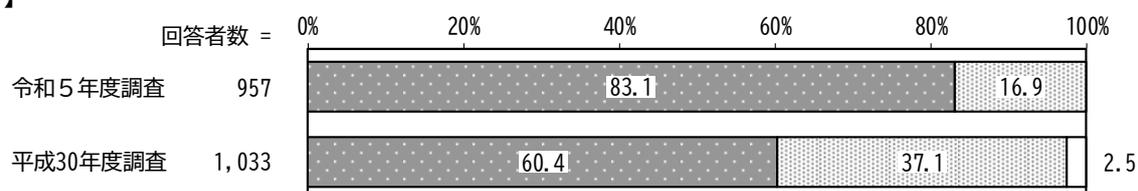
就学保護者では、「あった」の割合が 83.1%、「なかった」の割合が 16.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。

【就学前】



【就学】



問 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園や保育所等の事業（施設）が利用できなかった（学校を休んだ）場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものをすべて選び、それぞれの日数を入力してください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。【就学前：問54】【就学：問29】

就学前保護者では、「母親が休んだ」の割合が79.6%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が38.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が29.3%となっています。

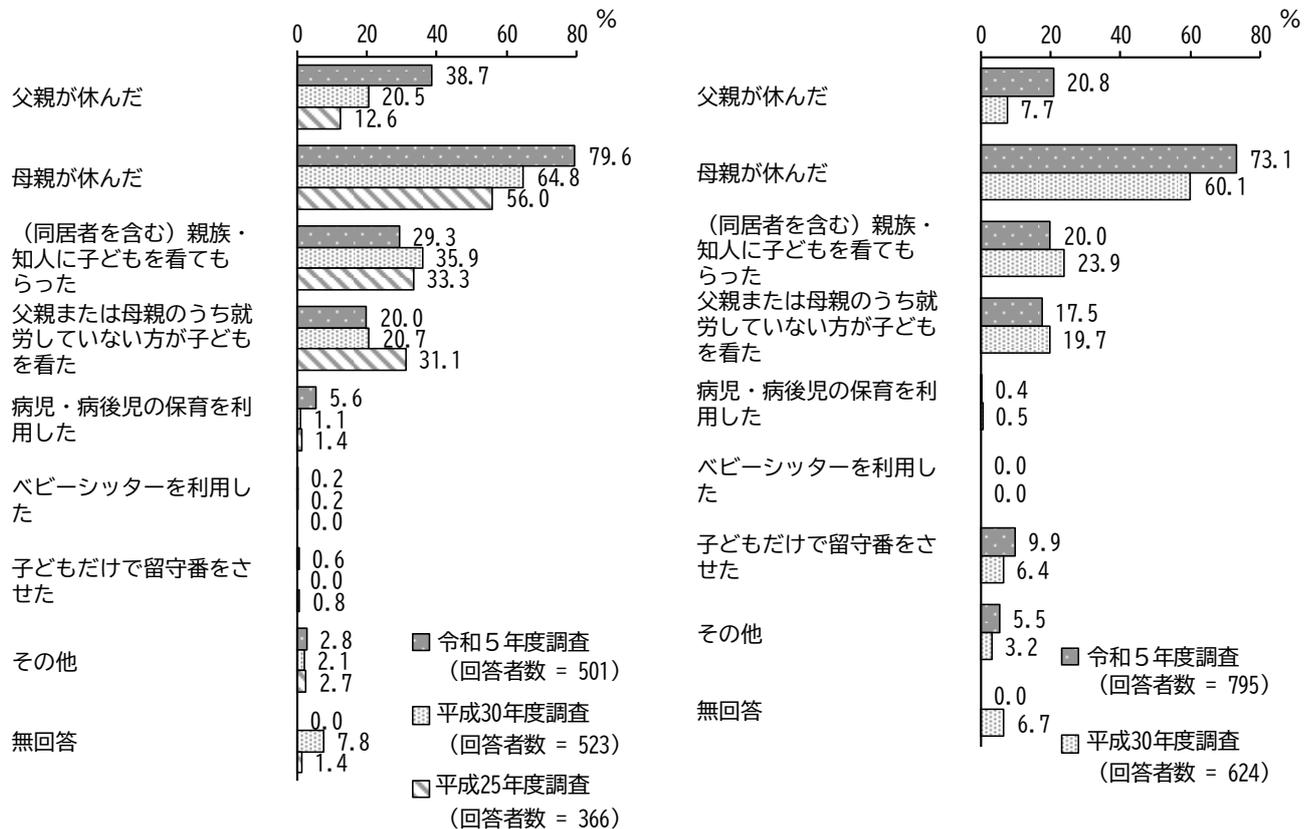
平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が減少しています。

就学保護者では、「母親が休んだ」の割合が73.1%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が20.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。

【就学前】

【就学】



【就学前：その他の主な意見】

- ・在宅勤務中に自宅保育
- ・父親が在宅ワークで看病をした
- ・会社に連れて行った

- ・父親が在宅勤務した
- ・遠方の祖父母に預けた

【就学：その他の主な意見】

- ・在宅勤務しながら対処した
- ・姉に看てもらった

- ・祖父母にみてもらった
- ・在宅勤務にしてもらった
- ・自宅でテレワークをした

父親が休んだ日数（年間）

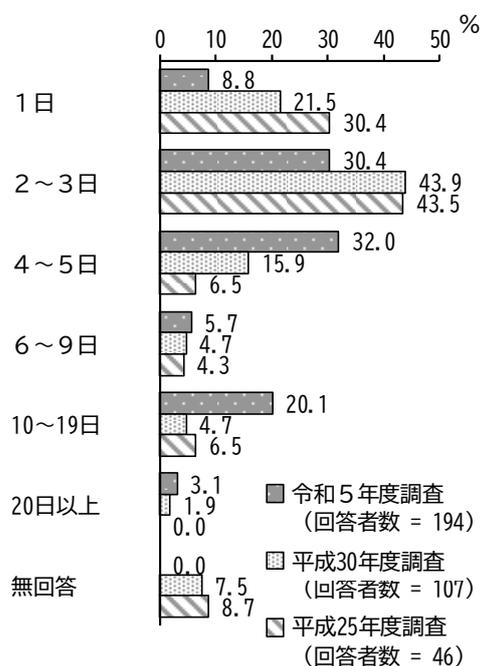
就学前保護者では、「4～5日」の割合が32.0%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が30.4%、「10～19日」の割合が20.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

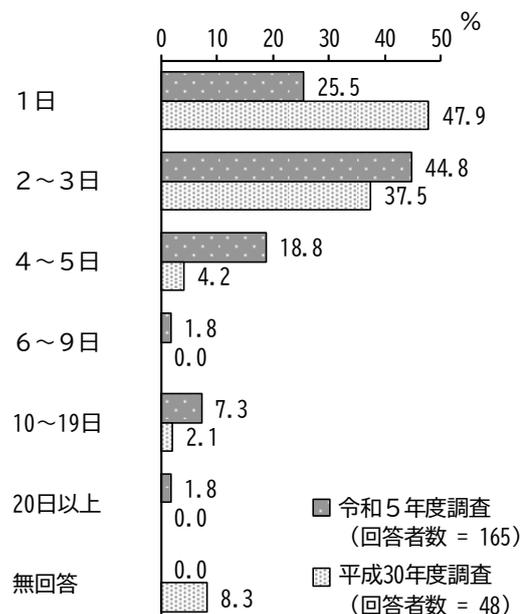
就学保護者では、「2～3日」の割合が44.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が25.5%、「4～5日」の割合が18.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

【就学前】



【就学】



母親が休んだ日数（年間）

就学前保護者では、「10～19日」の割合が32.6%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が21.3%、「4～5日」の割合が20.8%となっています。

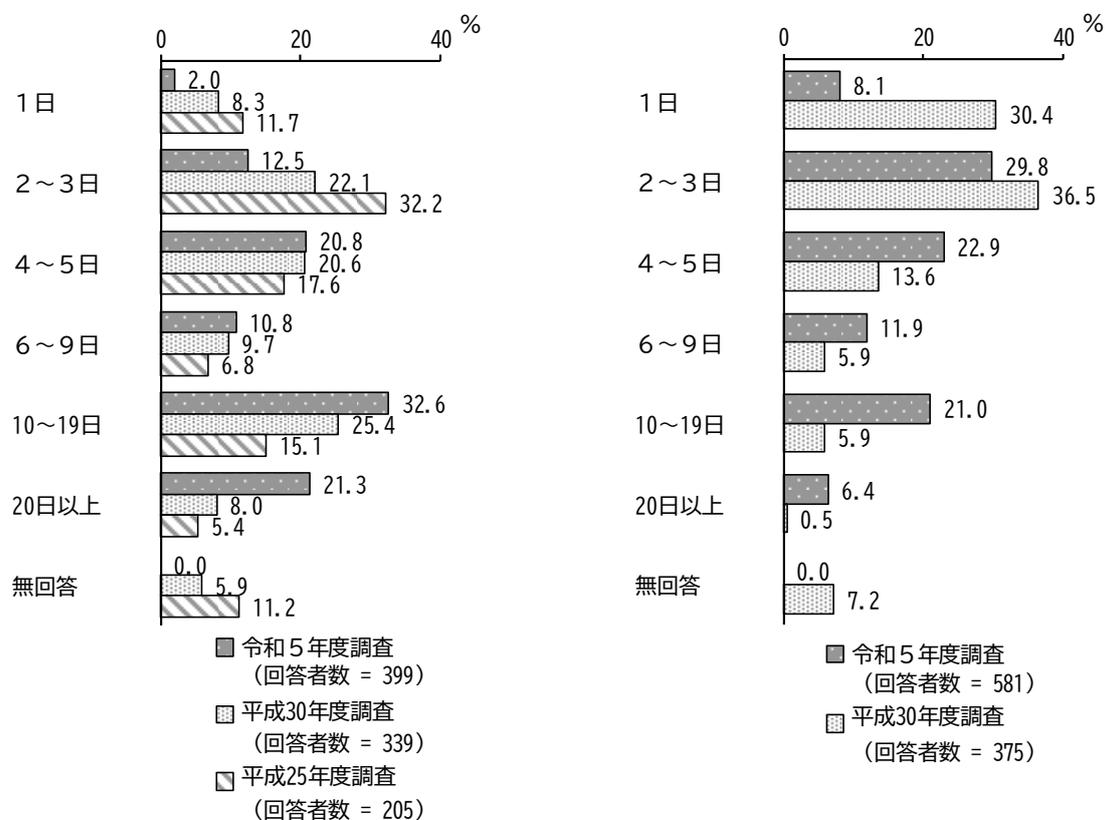
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

就学保護者では、「2～3日」の割合が29.8%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が22.9%、「10～19日」の割合が21.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「6～9日」「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった日数 (年間)

就学前保護者では、「2～3日」の割合が32.0%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が27.2%、「10～19日」の割合が17.0%となっています。

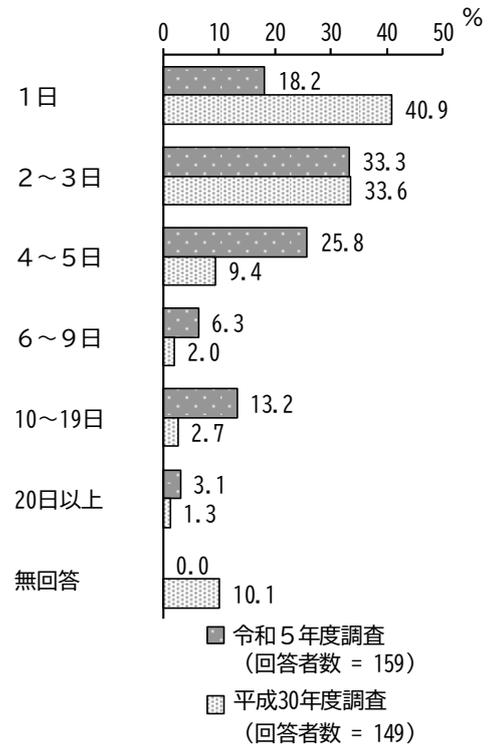
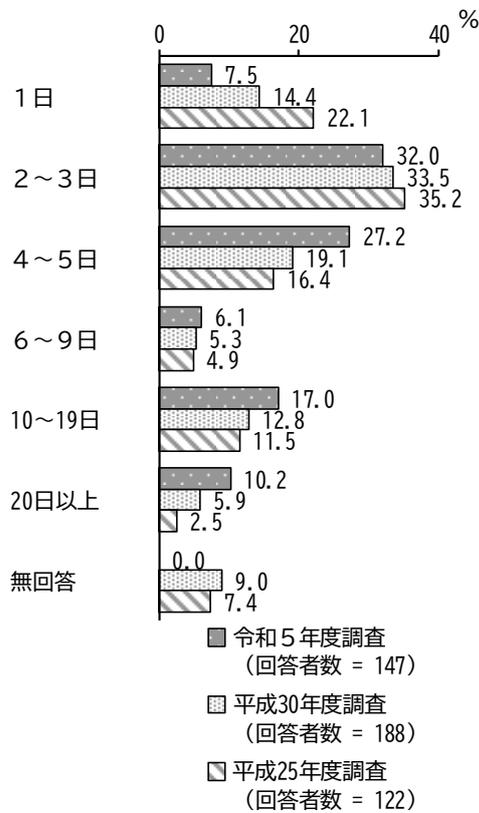
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

就学保護者では、「2～3日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が25.8%、「1日」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た日数（年間）

就学前保護者では、「10～19日」の割合が39.0%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が26.0%、「4～5日」の割合が20.0%となっています。

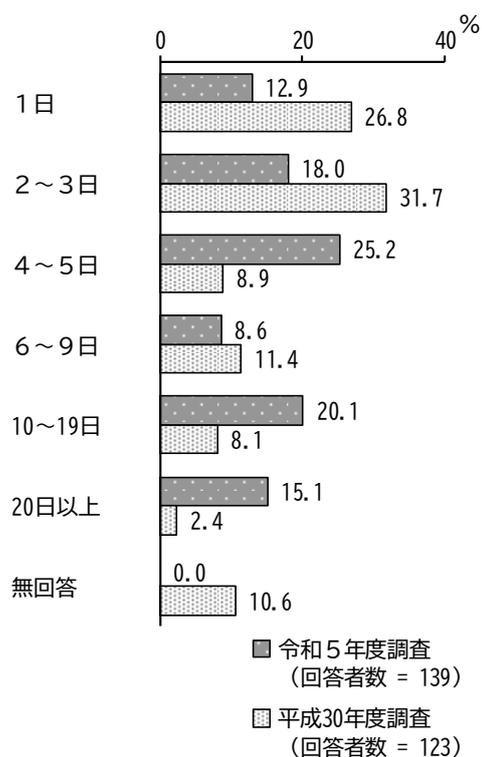
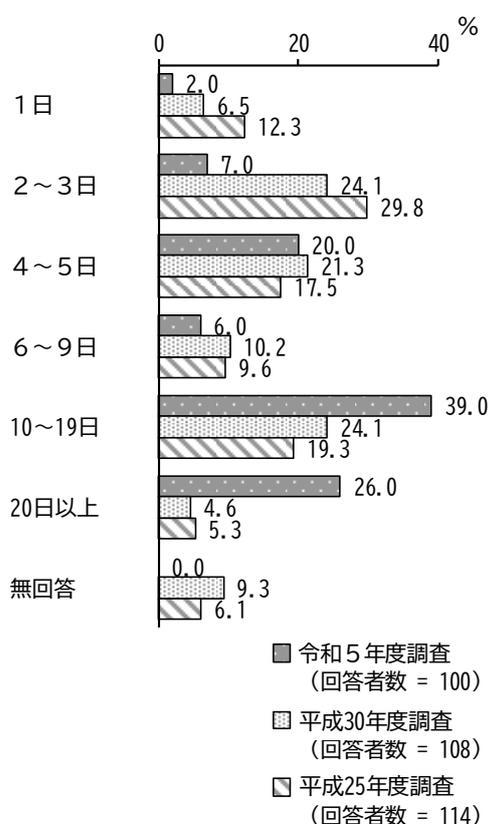
平成30年度調査と比較すると、「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。

就学保護者では、「4～5日」の割合が25.2%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が20.1%、「2～3日」の割合が18.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



病児・病後児の保育を利用した日数（年間）

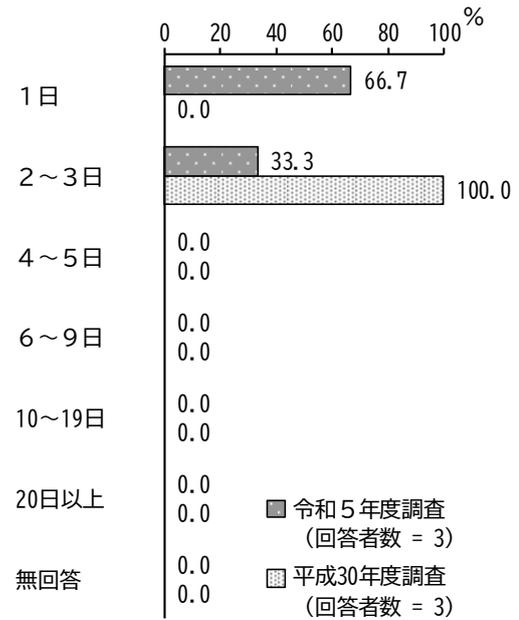
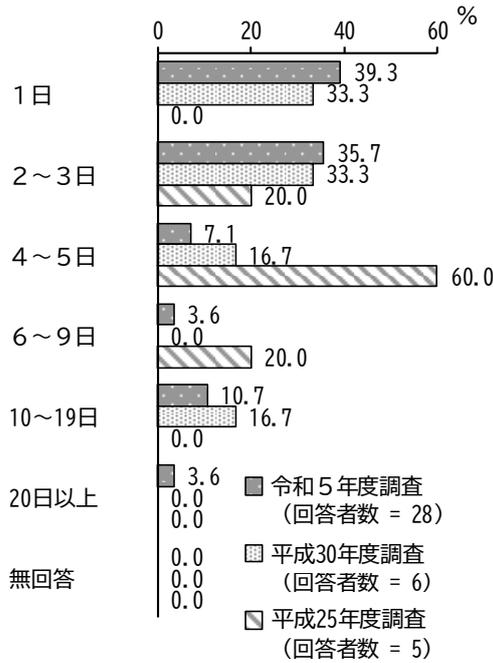
就学前保護者では、「1日」の割合が39.3%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が35.7%、「10～19日」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「4～5日」「10～19日」の割合が減少しています。

就学保護者では、「1日」が2件となっています。「2～3日」が1件となっています。

【就学前】

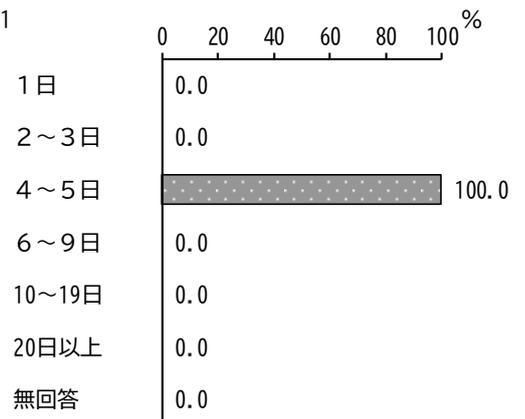
【就学】



ベビーシッターを利用した日数（年間）

就学前保護者では、「4～5日」が1件となつて回答者数 = 1
ています。

就学保護者では、有効回答がありませんでした。



子どもだけで留守番をさせた日数（年間）

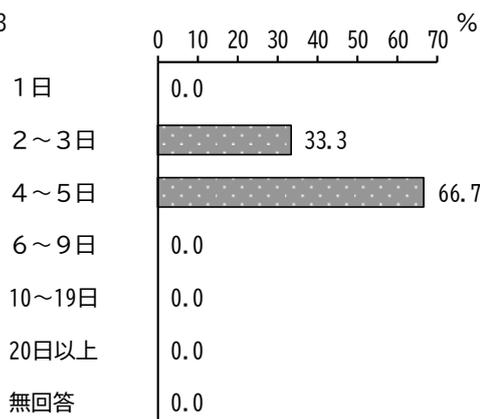
就学前保護者では、「4～5日」が2件となっています。「2～3日」が1件となっています。

就学保護者では、「2～3日」の割合が49.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が26.6%、「4～5日」の割合が12.7%となっています。

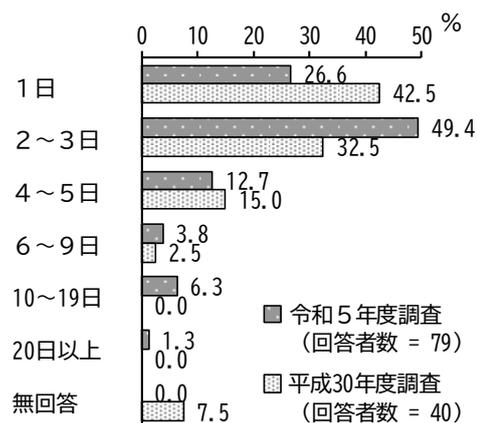
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

【就学前】

回答者数 = 3



【就学】



その他の日数（年間）

就学前保護者では、「10～19日」の割合が42.9%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が21.4%、「2～3日」、「4～5日」の割合が14.3%となっています。

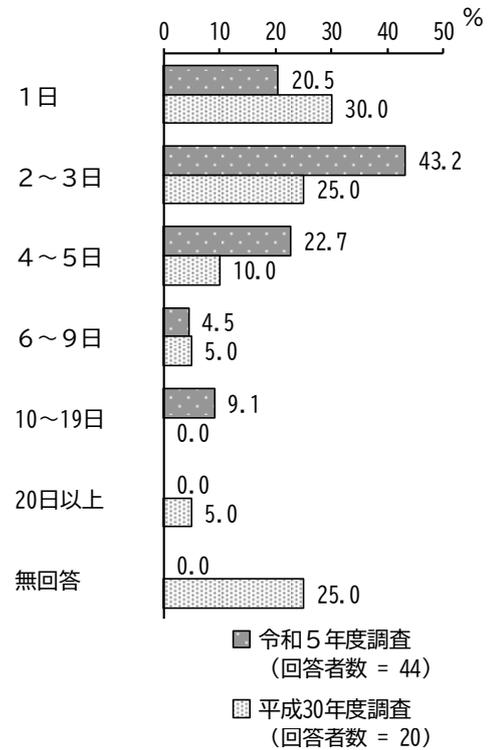
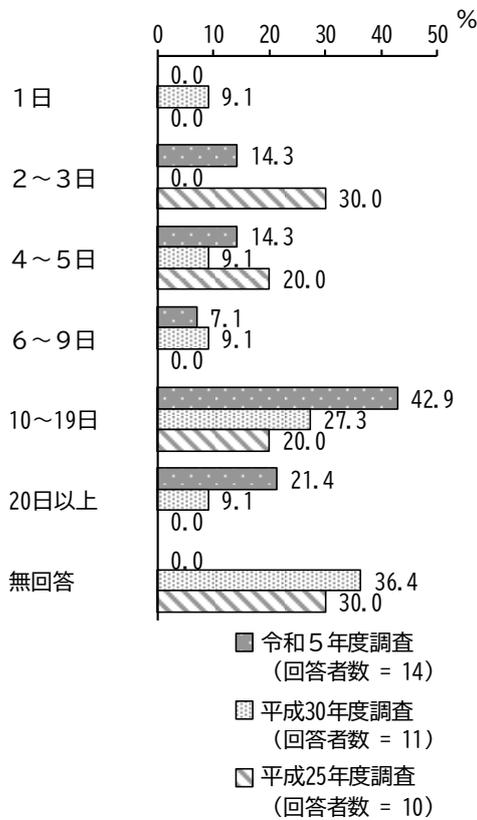
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「4～5日」「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

就学保護者では、「2～3日」の割合が43.2%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が22.7%、「1日」の割合が20.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



問 父親または母親が仕事を休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。利用したいと思った場合は、年間何日程度利用したいと思ったか入力してください。※事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前に医師の受診が必要となります。【就学前：問 55】【就学：問 30】

就学前保護者では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 43.3%、「利用したいとは思わない」の割合が 56.7%となっています。

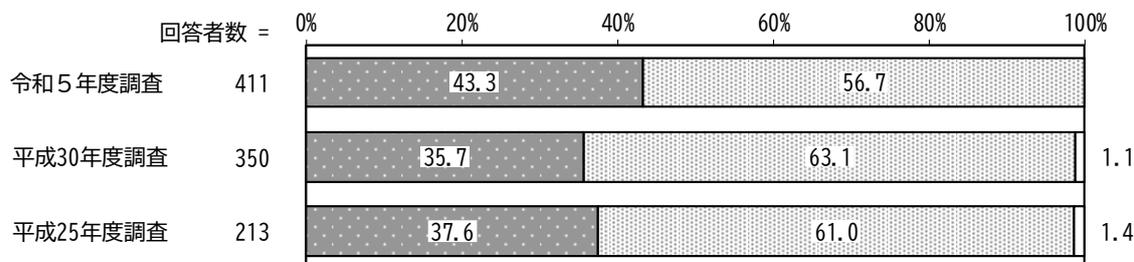
平成 30 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用したいとは思わない」の割合が減少しています。

就学保護者では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 18.8%、「利用したいとは思わない」の割合が 81.3%となっています。

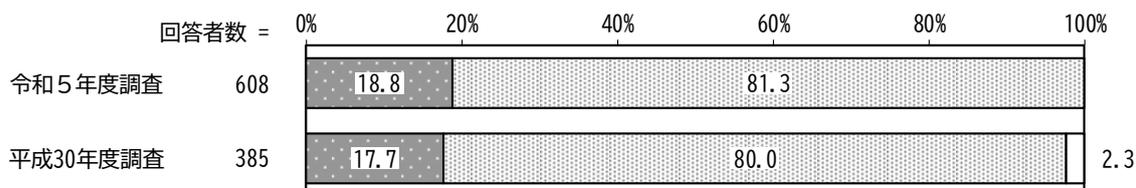
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- できれば病児・病後児保育施設等を利用したい
- ▨ 利用したいとは思わない
- 無回答

【就学前】



【就学】



利用希望日数（年間）

就学前保護者では、「10～19日」の割合が38.8%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が31.5%、「2～3日」の割合が13.5%となっています。

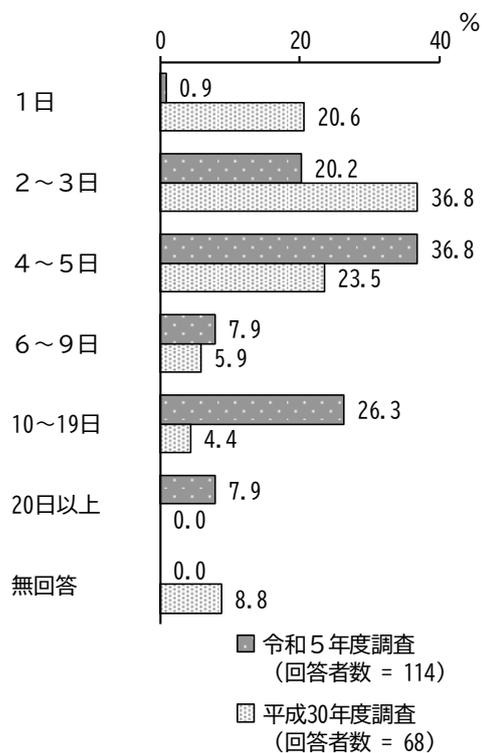
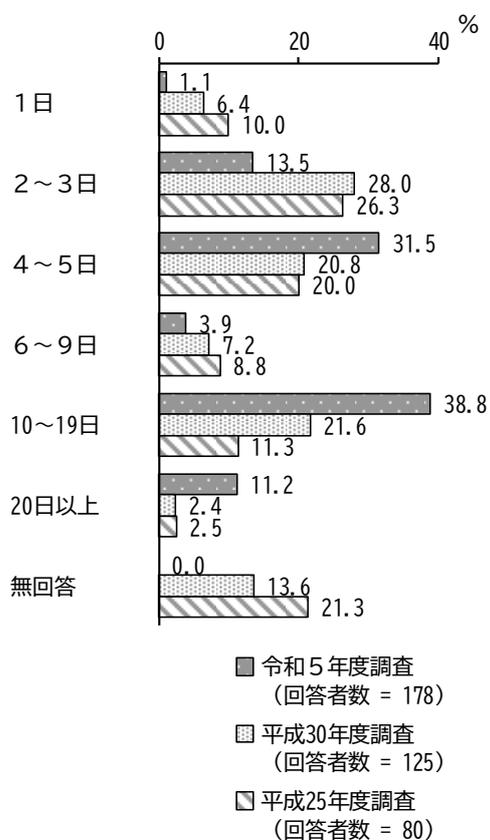
平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

就学保護者では、「4～5日」の割合が36.8%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が26.3%、「2～3日」の割合が20.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



問 お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 56】【就学：問 31】

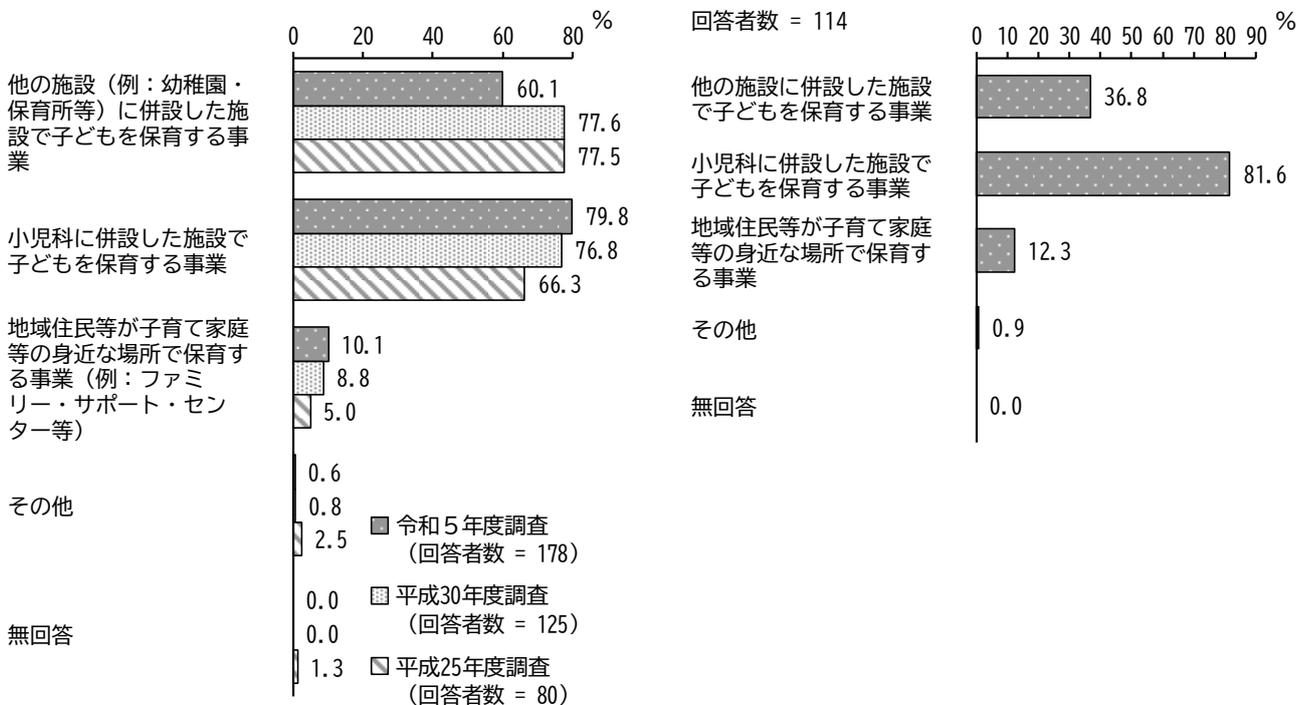
就学前保護者では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 79.8%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 60.1%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 10.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。

就学保護者では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 81.6%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 36.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が 12.3%となっています。

【就学前】

【就学】



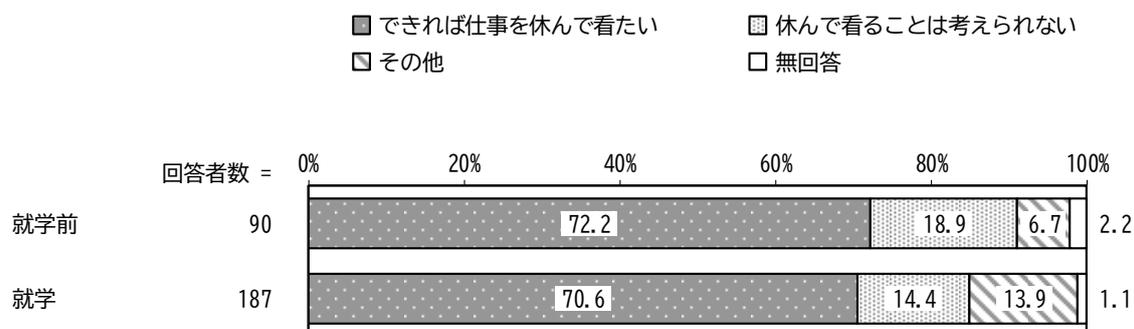
【就学：その他の意見】

- ・有給消化ではなく、特別に有給支給となるような仕組みにして安心して就労したい。仕事を休んで、自宅で療養させてあげたい。

問 【子どもが病気等の際に休まなかった方】その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。【就学前：問 57】【就学：問 32】

就学前保護者では、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 72.2%、「休んで看ることは考えられない」の割合が 18.9%となっています。

就学保護者では、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 70.6%、「休んで看ることは考えられない」の割合が 14.4%となっています。



【就学：その他の主な意見】

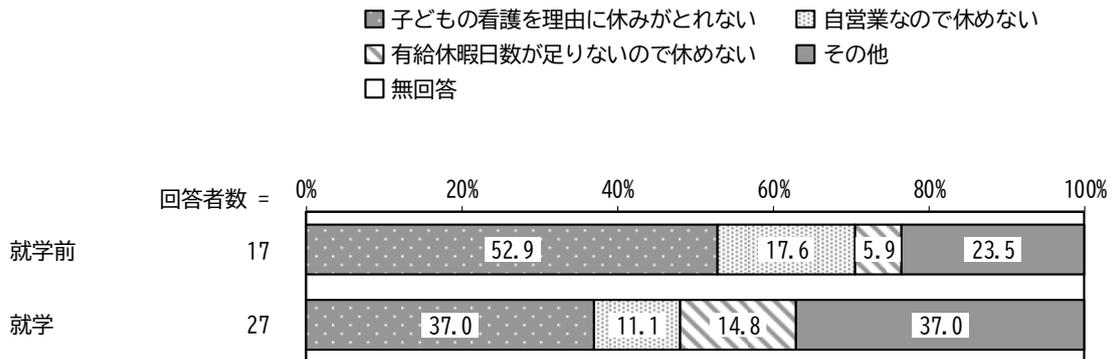
・人員が欠けていて休みづらい

・テレワークで自宅勤務ができた

問 「休んで見ることは考えられない」と思う理由は何ですか。
 【就学前：問 58】【就学：問 33】

就学前保護者では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「自営業なので休めない」の割合が 17.6%となっています。

就学保護者では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「有給休暇日数が足りないので休めない」の割合が 14.8%、「自営業なので休めない」の割合が 11.1%となっています。



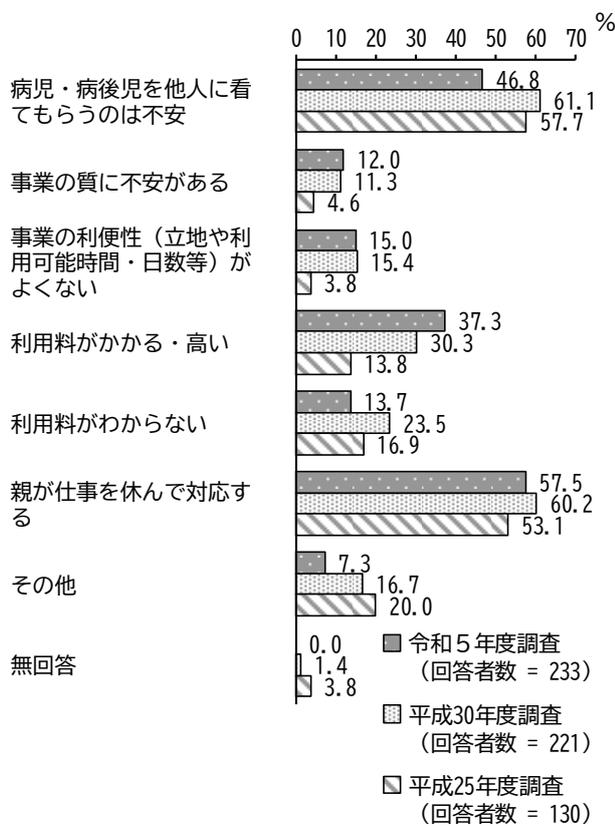
問 「利用したいとは思わない」と思う理由について、あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 59】【就学：問 34】

就学前保護者では、「親が仕事を休んで対応する」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 46.8%、「利用料がかかる・高い」の割合が 37.3%となっています。

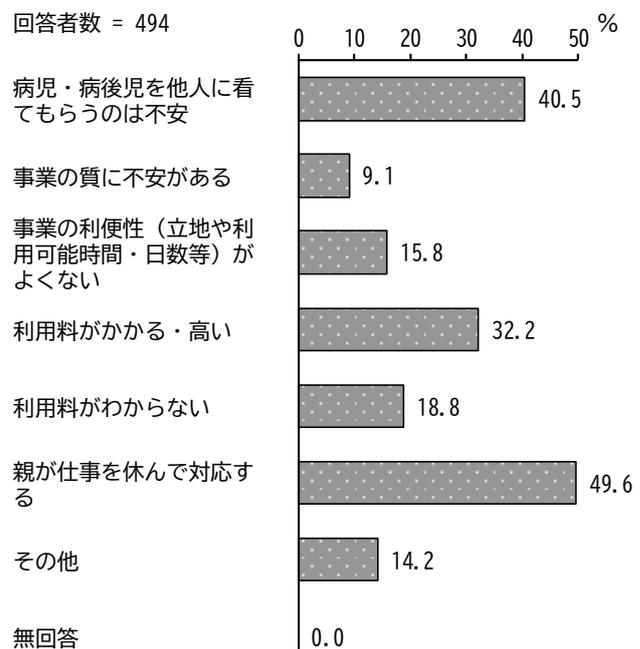
平成 30 年度調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」の割合が増加しています。一方、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」「利用料がわからない」の割合が減少しています。

就学保護者では、「親が仕事を休んで対応する」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 40.5%、「利用料がかかる・高い」の割合が 32.2%となっています。

【就学前】



【就学】



【就学前：その他の主な意見】

- ・ 仕事をしていないので看病ができる
- ・ 子どもが安心できる家で過ごしたいと思うから
- ・ 受け入れ人数が少なすぎて予約も取れない
- ・ 時間が業務時間と合致しないので意味がない
- ・ 受入人数が少なく預けられるとは思わないから

【就学：その他の主な意見】

- ・ 母親が仕事をしていないから
- ・ そのような施設があることを知らなかった
- ・ 自分の子供だから、自分でみたい
- ・ 利用するまでの手続きなどが手間がかかる
- ・ 母親が在宅勤務をしながら看病するため

問 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業（施設）はありますか。あてはまるものをすべて選び、1年間の利用日数を入力してください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。【就学前：問60】【就学：問35】

就学前保護者では、「利用していない」の割合が93.4%と最も高くなっています。

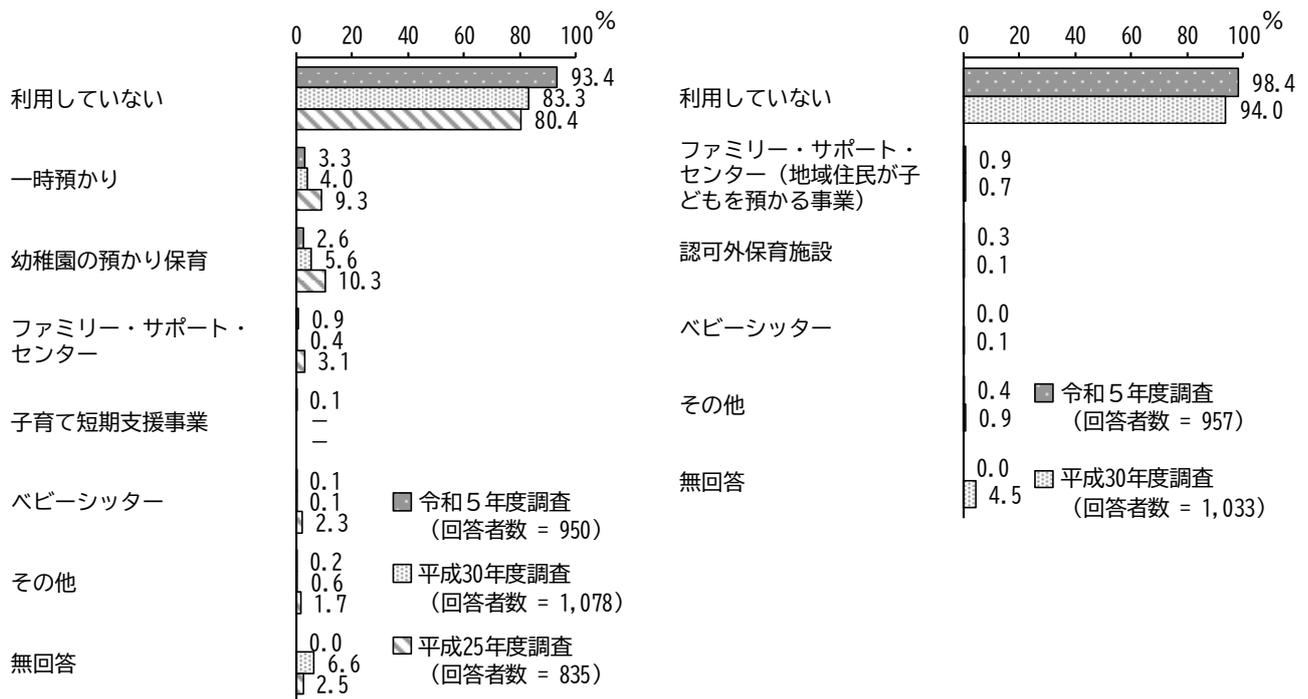
平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。

就学保護者では、「利用していない」の割合が98.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前】

【就学】



※前回調査、前々回調査では、「子育て短期支援事業」の選択肢はありませんでした。

【就学前：その他の意見】

- ・会社の保育所

- ・託児所

【就学：その他の意見】

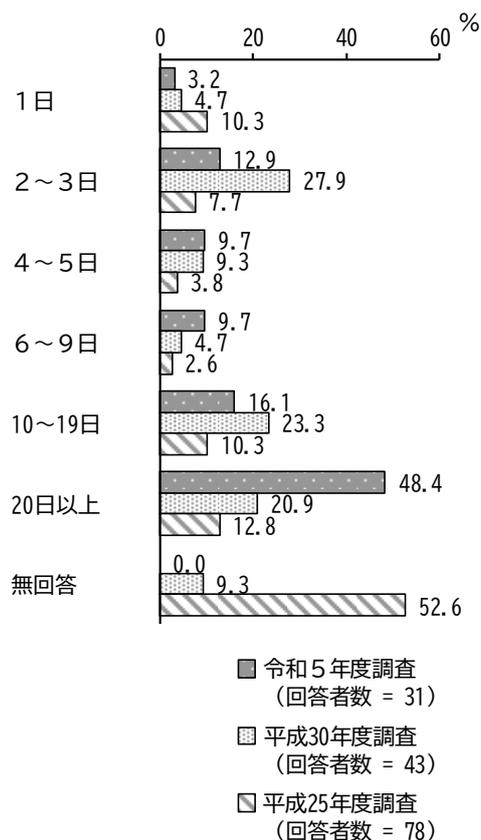
- ・厚生病院にて言語リハビリ

- ・放課後等デイサービス

一時預かりの利用日数（年間）

就学前保護者では、「20 日以上」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「10～19 日」の割合が 16.1%、「2～3 日」の割合が 12.9%となっています。

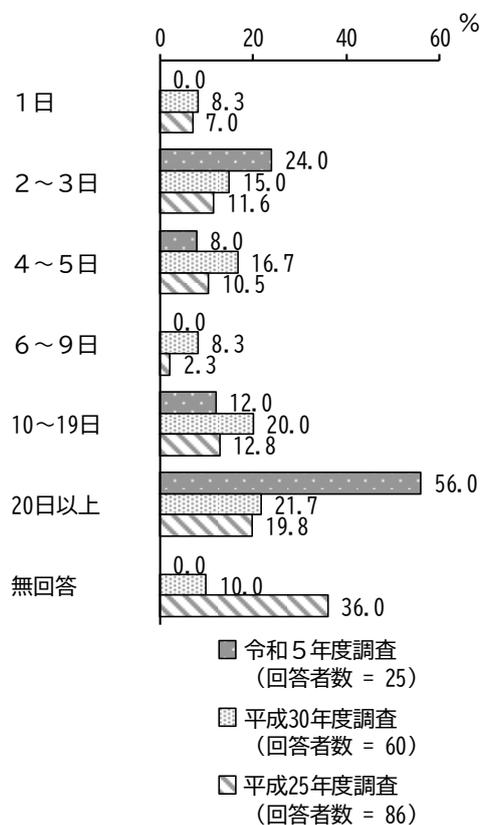
平成 30 年度調査と比較すると、「20 日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3 日」「10～19 日」の割合が減少しています。



幼稚園の預かり保育の利用日数（年間）

就学前保護者では、「20 日以上」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「2～3 日」の割合が 24.0%、「10～19 日」の割合が 12.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「2～3 日」「20 日以上」の割合が増加しています。一方、「1 日」「4～5 日」「6～9 日」「10～19 日」の割合が減少しています。

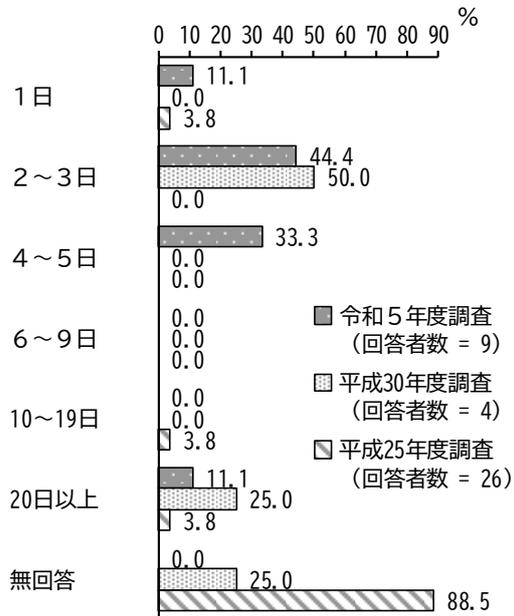


ファミリー・サポート・センターの利用日数（年間）

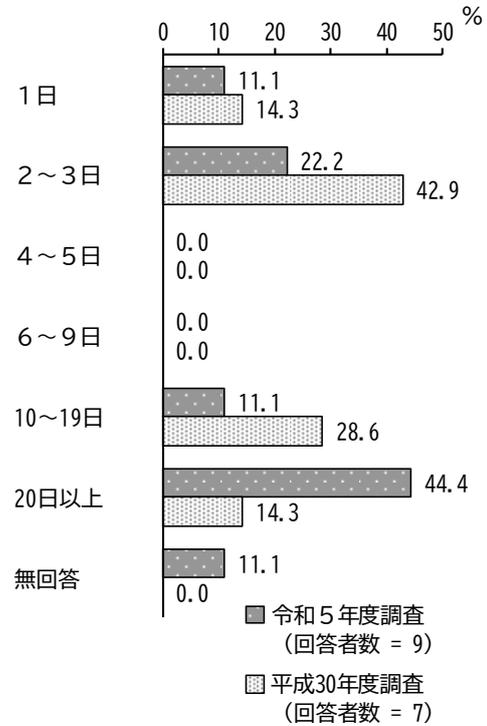
就学前保護者では、「2～3日」が4件となっています。「4～5日」が3件、「1日」、「20日以上」が1件となっています。

就学保護者では、「20日以上」が4件となっています。「2～3日」が2件、「1日」、「10～19日」が1件となっています。

【就学前】

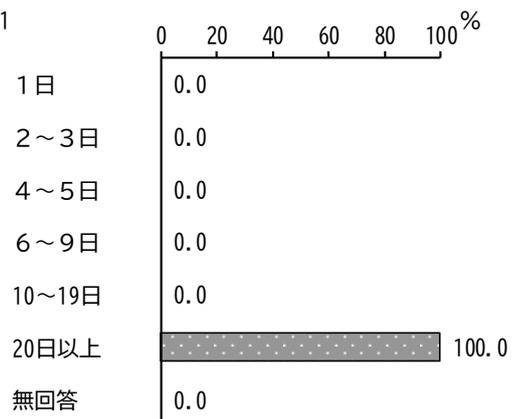


【就学】



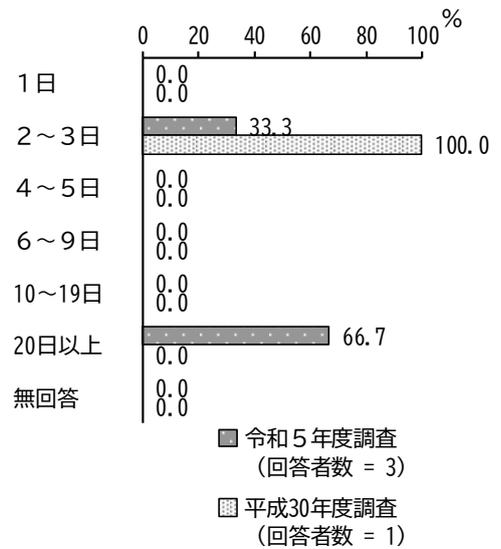
子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用日数（年間）

就学前保護者では、「20日以上」が1件となっ 回答者数 = 1
ています。



認可外保育施設の利用日数（年間）

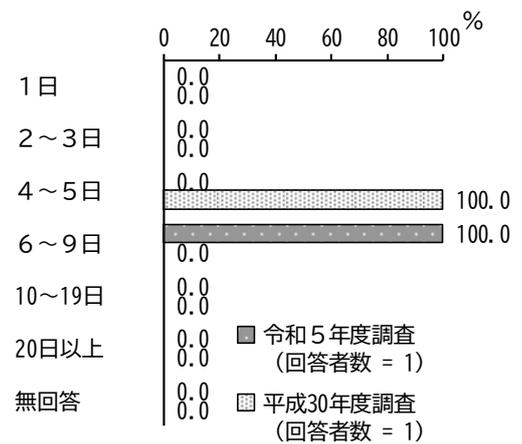
就学保護者では、「20日以上」が2件となっています。「2～3日」が1件となっています。



ベビーシッターの利用日数（年間）

就学前保護者では、「6～9日」が1件となっています。

就学保護者では、有効回答がありませんでした。

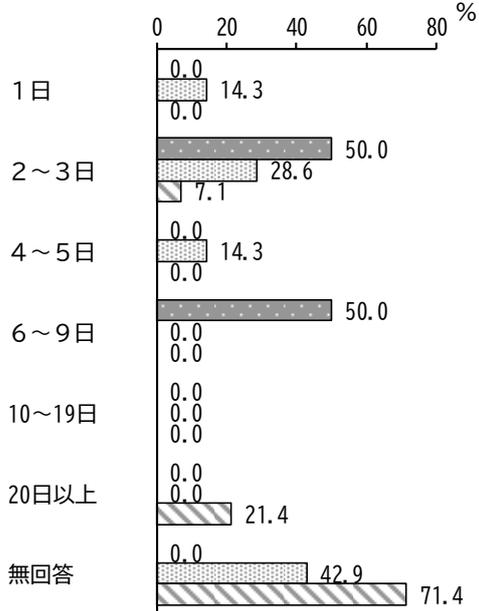


その他の利用日数（年間）

就学前保護者では、「2～3日」、「6～9日」が1件となっています。

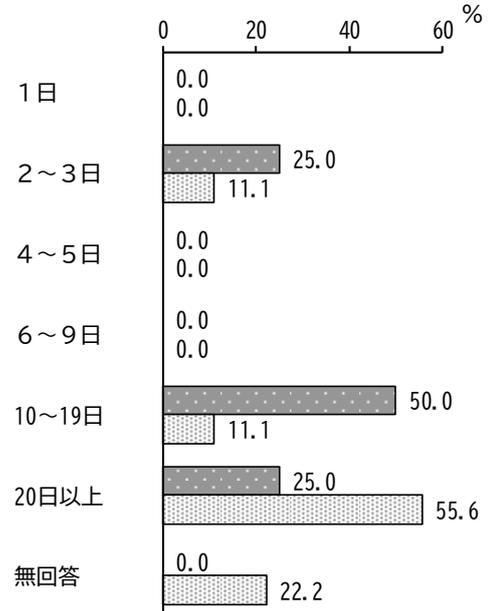
就学保護者では、「10～19日」が2件となっています。「2～3日」、「20日以上」が1件となっ
ています。

【就学前】



- 令和5年度調査 (回答者数 = 2)
- ▨ 平成30年度調査 (回答者数 = 7)
- ▩ 平成25年度調査 (回答者数 = 14)

【就学】



- 令和5年度調査 (回答者数 = 4)
- ▨ 平成30年度調査 (回答者数 = 9)

問 現在利用していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
【就学前：問 61】【就学：問 36】

就学前保護者では、「特に利用する必要がない」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 17.4%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 13.8%となっています。

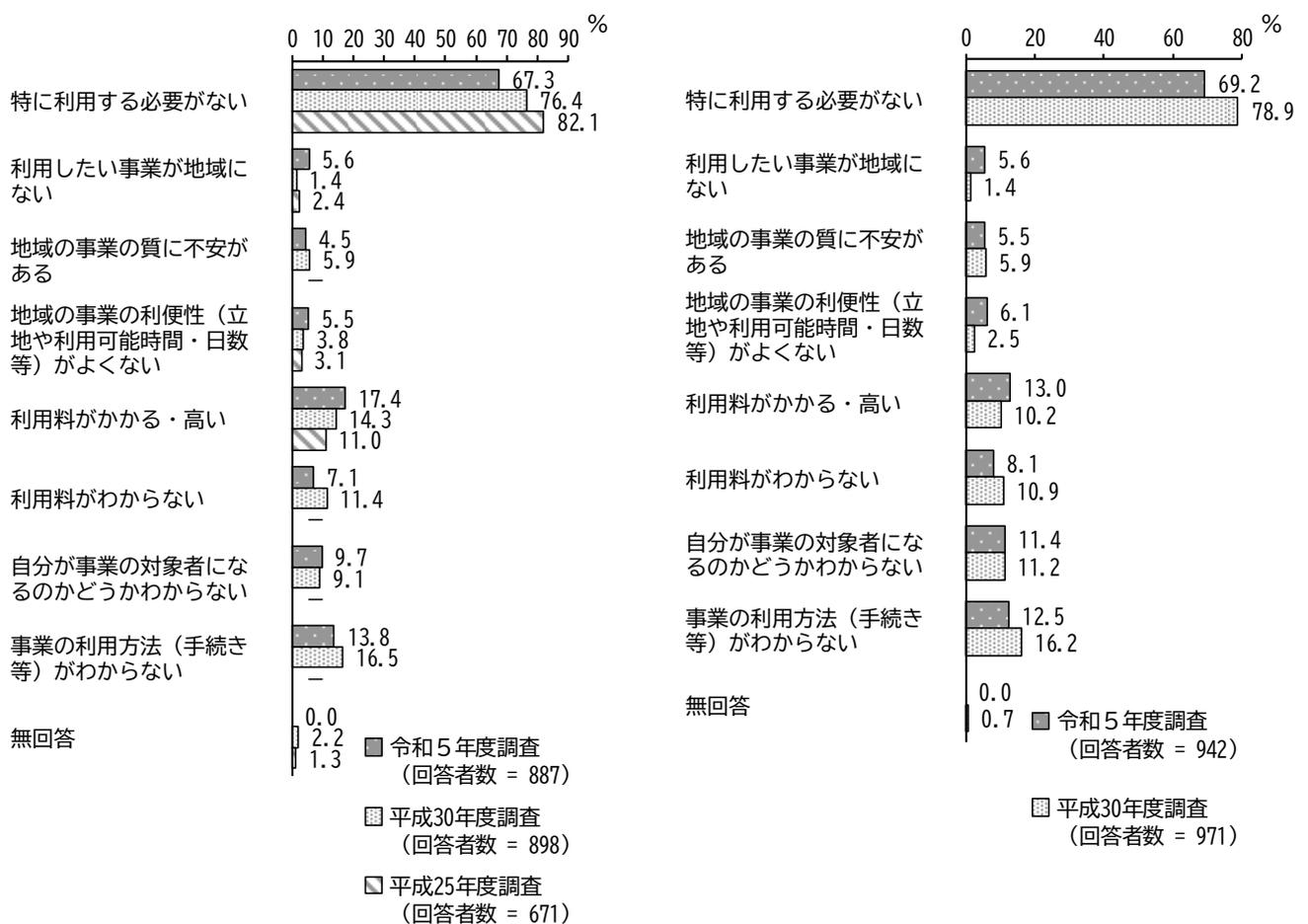
平成 30 年度調査と比較すると、「特に利用する必要がない」の割合が減少しています。

就学保護者では、「特に利用する必要がない」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 13.0%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 12.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「特に利用する必要がない」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】

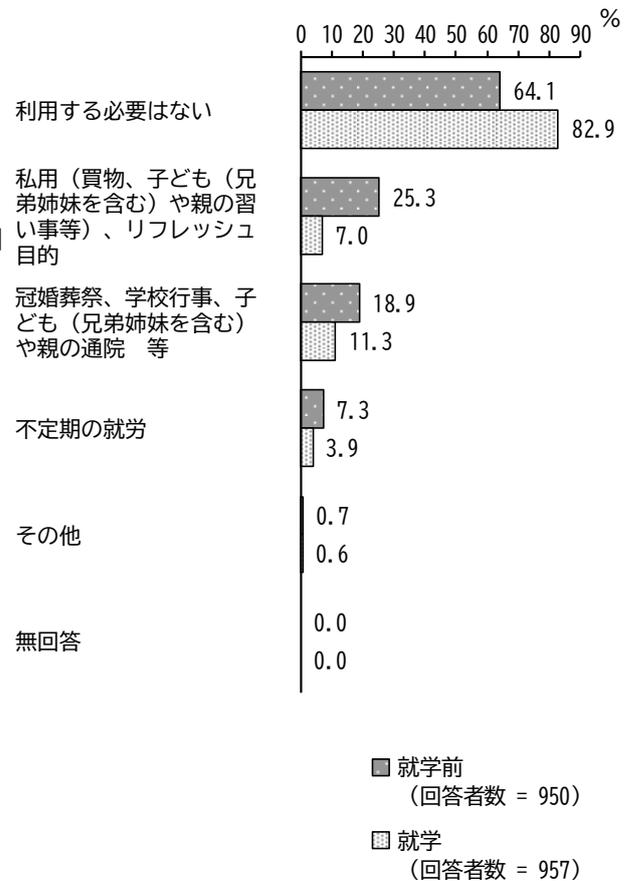


※前々回調査では、「地域の事業の質に不安がある」「利用料がわからない」「自分が事業の対象者になるのかわからない」「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の選択肢はありませんでした。

問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。【就学前：問 62】【就学：問 37】

就学前保護者では、「利用する必要はない」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 25.3%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の割合が 18.9%となっています。

就学保護者では、「利用する必要はない」の割合が 82.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の割合が 11.3%となっています。



【就学前：その他の主な意見】

- ・ 習い事
- ・ 弟や妹のお世話
- ・ 預けている祖母の用事があり預かれない時で仕事が休めない
- ・ 祝日は全部仕事の為
- ・ 親の体調不良

【就学：その他の主な意見】

- ・ 学会や研修に参加したい時
- ・ 急な残業
- ・ 兄弟の通院、休校日の出勤
- ・ 簡単に利用できるならしたい
- ・ 祝日、代休日

私用、リフレッシュ目的による日数（年間）

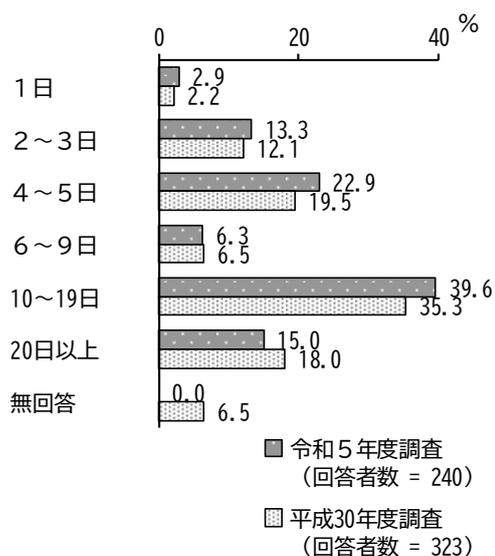
就学前保護者では、「10～19日」の割合が39.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が22.9%、「20日以上」の割合が15.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

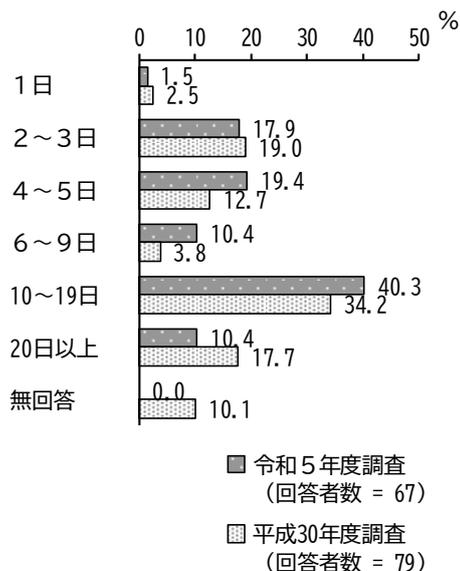
就学保護者では、「10～19日」の割合が40.3%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が19.4%、「2～3日」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「6～9日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「20日以上」の割合が減少しています。

【就学前】



【就学】



冠婚葬祭、学校行事、通院等による日数（年間）

就学前保護者では、「10～19日」の割合が31.7%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が31.1%、「2～3日」の割合が21.7%となっています。

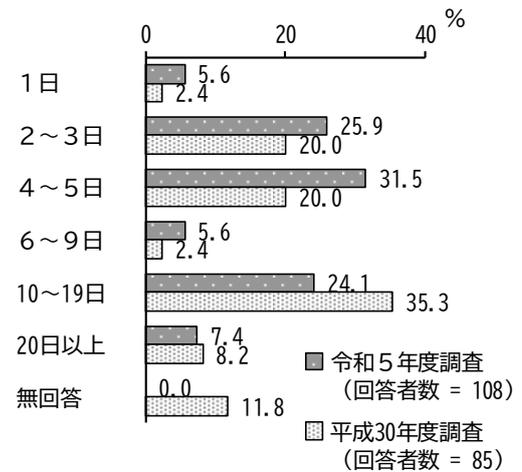
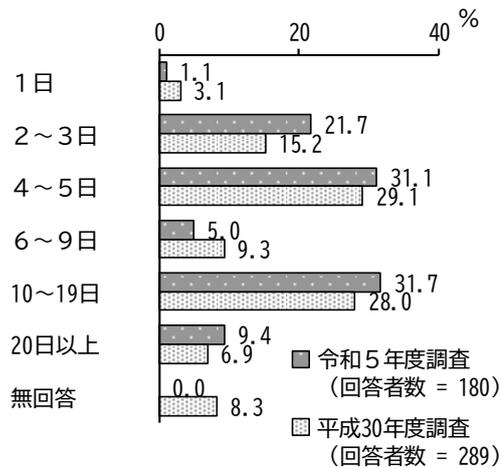
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」の割合が増加しています。

就学保護者では、「4～5日」の割合が31.5%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が25.9%、「10～19日」の割合が24.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「4～5日」の割合が増加しています。一方、「10～19日」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



不定期の就労による日数（年間）

就学前保護者では、「20 日以上」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「10～19 日」の割合が 33.3%、「4～5日」の割合が 10.1%となっています。

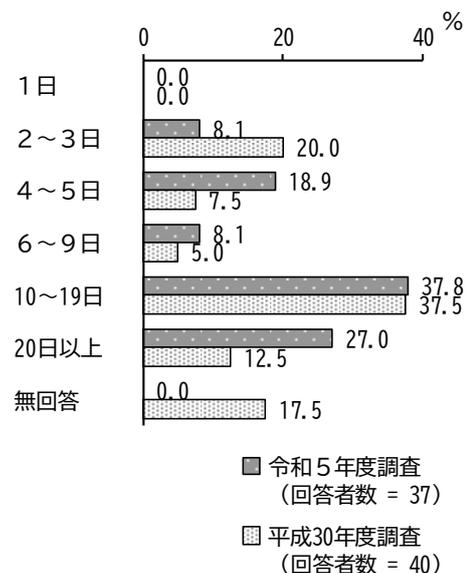
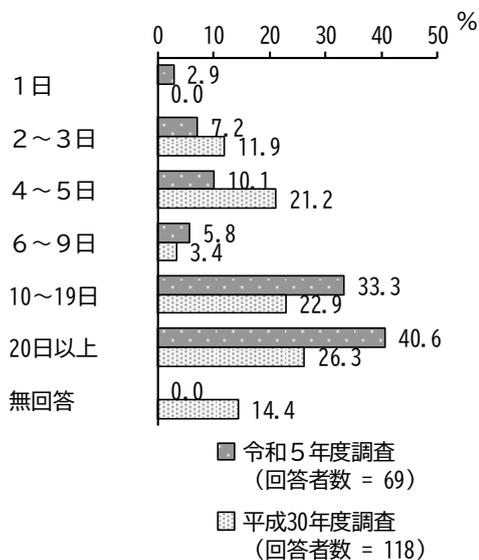
平成 30 年度調査と比較すると、「10～19 日」「20 日以上」の割合が増加しています。一方、「4～5日」の割合が減少しています。

就学保護者では、「10～19 日」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「20 日以上」の割合が 27.0%、「4～5日」の割合が 18.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「4～5日」「20 日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】



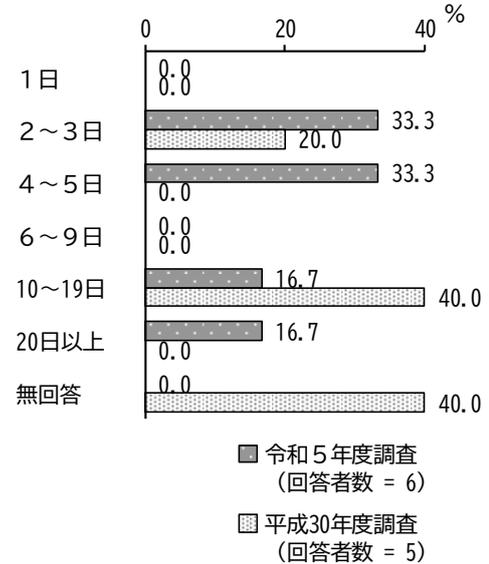
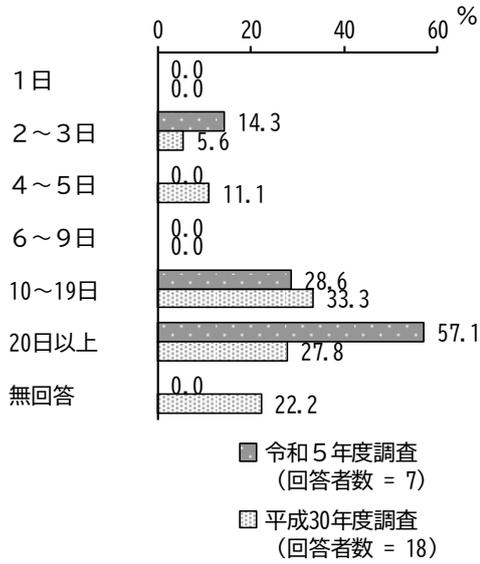
その他による日数（年間）

就学前保護者では、「20日以上」が4件となっています。「10～19日」が2件、「2～3日」が1件となっています。

就学保護者では、「2～3日」、「4～5日」が2件となっています。「10～19日」、「20日以上」が1件となっています。

【就学前】

【就学】



問 お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 63】【就学：問 38】

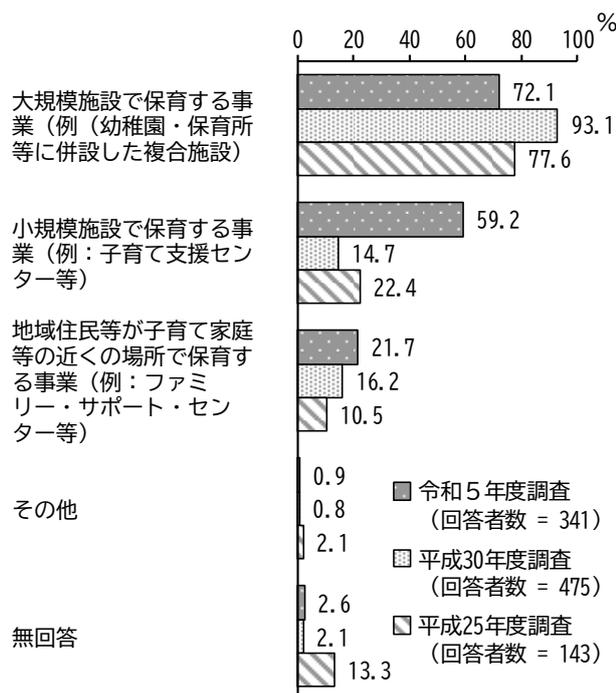
就学前保護者では、「大規模施設で保育する事業（例（幼稚園・保育所等に併設した複合施設）」の割合が 72.1%と最も高く、次いで「小規模施設で保育する事業（例：子育て支援センター等）」の割合が 59.2%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 21.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「小規模施設で保育する事業（例：子育て支援センター等）」「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が増加しています。一方、「大規模施設で保育する事業（例（幼稚園・保育所等に併設した複合施設）」の割合が減少しています。

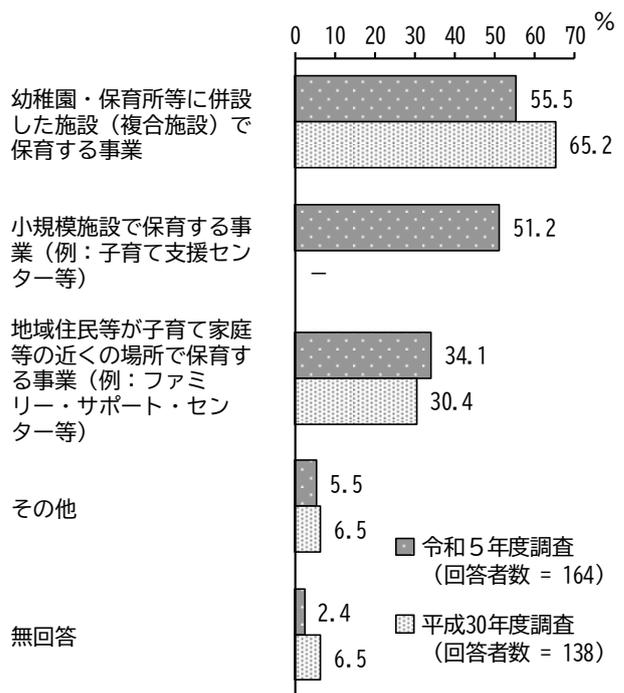
就学保護者では、「幼稚園・保育所等に併設した施設（複合施設）で保育する事業」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「小規模施設で保育する事業（例：子育て支援センター等）」の割合が 51.2%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が 34.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園・保育所等に併設した施設（複合施設）で保育する事業」の割合が減少しています。

【就学前】



【就学】



※前回調査では、「小規模施設で保育する事業（例：子育て支援センター等）」の選択肢はありませんでした。

【就学前：その他の意見】

- ・よくわからない
- ・児童発達支援施設
- ・普段利用している保育園

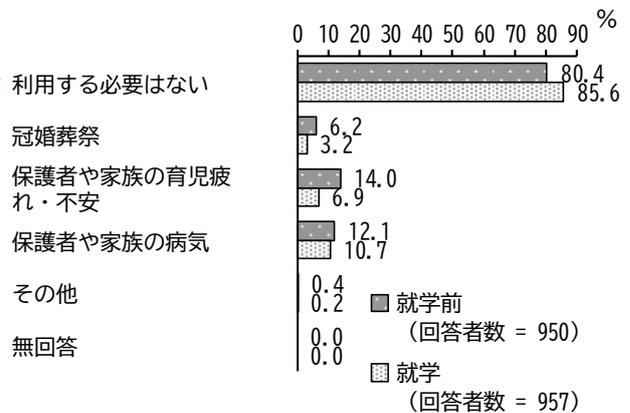
【就学：その他の主な意見】

- ・フジッ子教室のような事業形態
- ・民間の習い事も行う施設
- ・6年生なので、自宅
- ・祖母、義理姉
- ・学童など

問 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気等）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。子育て短期支援事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまるものをすべて選び、必要な泊数を入力してください。※事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。【就学前：問 64】【就学：問 39】

就学前保護者では、「利用する必要はない」の割合が 80.4%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 14.0%、「保護者や家族の病気」の割合が 12.1%となっています。

就学保護者では、「利用する必要はない」の割合が 85.6%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 10.7%となっています。



【就学前：その他の意見】

- ・ 両親共に出張時、祖父母に頼らない時
- ・ 健康診断（日帰り）
- ・ 仕事の出張
- ・ 学会に参加したいため
- ・ 母親の泊まりを伴う出張

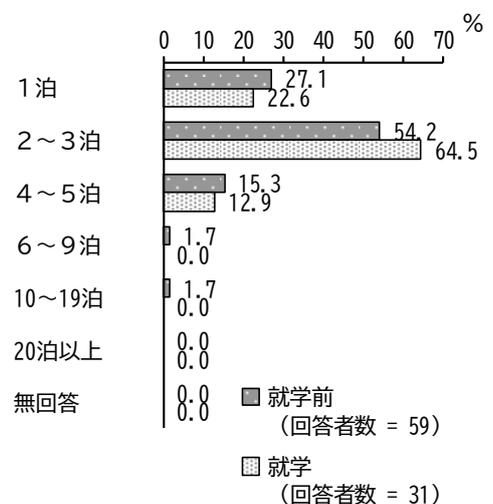
【就学：その他の意見】

- ・ 夜間の仕事が入った際、配偶者の帰宅が学童保育時間に間に合わない場合

冠婚葬祭による泊数（年間）

就学前保護者では、「2～3泊」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「1泊」の割合が 27.1%、「4～5泊」の割合が 15.3%となっています。

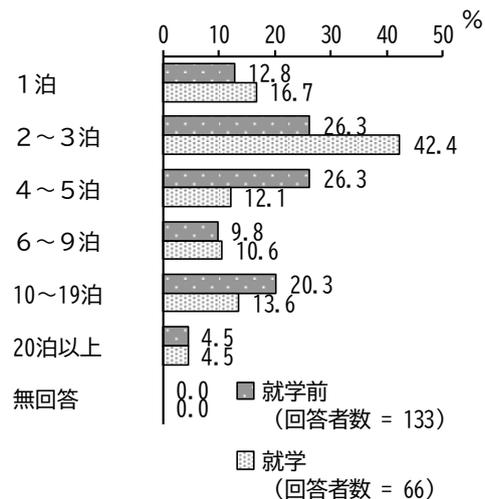
就学保護者では、「2～3泊」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「1泊」の割合が 22.6%、「4～5泊」の割合が 12.9%となっています。



育児疲れ・不安による泊数（年間）

就学前保護者では、「2～3泊」、「4～5泊」の割合が26.3%と最も高く、次いで「10～19泊」の割合が20.3%となっています。

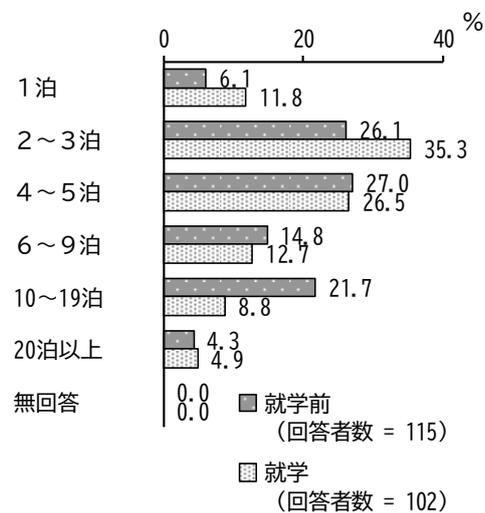
就学保護者では、「2～3泊」の割合が42.4%と最も高く、次いで「1泊」の割合が16.7%、「10～19泊」の割合が13.6%となっています。



病気による泊数（年間）

就学前保護者では、「4～5泊」の割合が27.0%と最も高く、次いで「2～3泊」の割合が26.1%、「10～19泊」の割合が21.7%となっています。

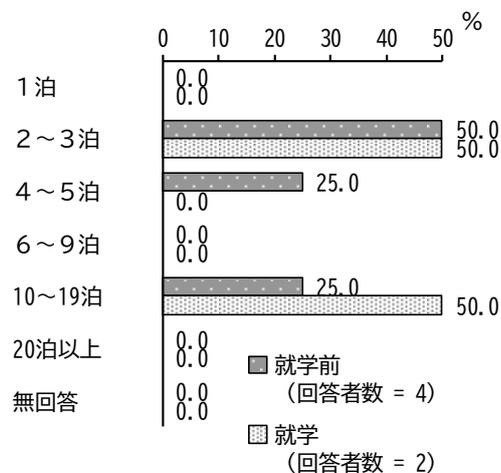
就学保護者では、「2～3泊」の割合が35.3%と最も高く、次いで「4～5泊」の割合が26.5%、「6～9泊」の割合が12.7%となっています。



その他による泊数（年間）

就学前保護者では、「2～3泊」が2件となっています。「4～5泊」、「10～19泊」が1件となっています。

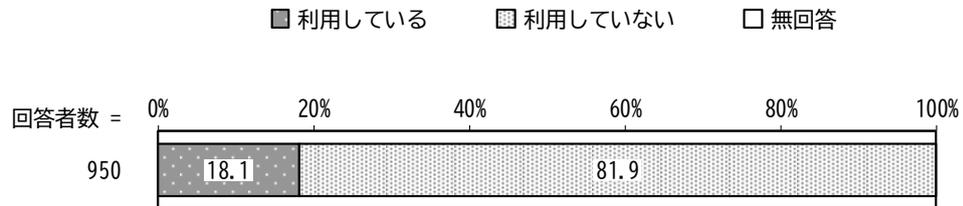
就学保護者では、「2～3泊」、「10～19泊」が1件となっています。



(8) 地域の子育て支援事業の利用状況について

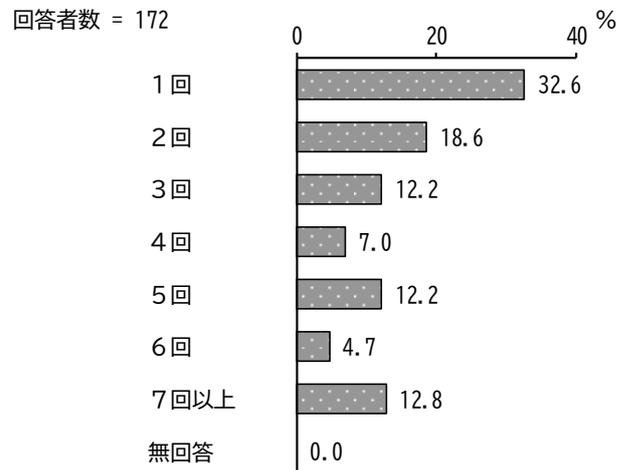
問 あて名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。利用している場合は、1か月当たりの利用回数を入力してください。【就学前：問 65】

就学前保護者では、「利用している」の割合が18.1%、「利用していない」の割合が81.9%となっています。



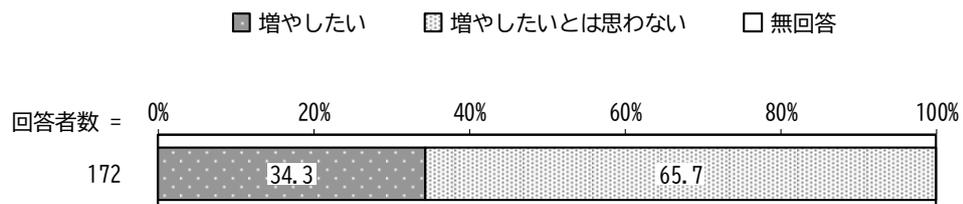
利用回数（1か月当たり）

就学前保護者では、「1回」の割合が32.6%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.6%、「7回以上」の割合が12.8%となっています。



問 利用回数を増やしたいと思いませんか。増やしたい場合は1か月当たり何回程度増やしたいか入力してください。【就学前：問 66】

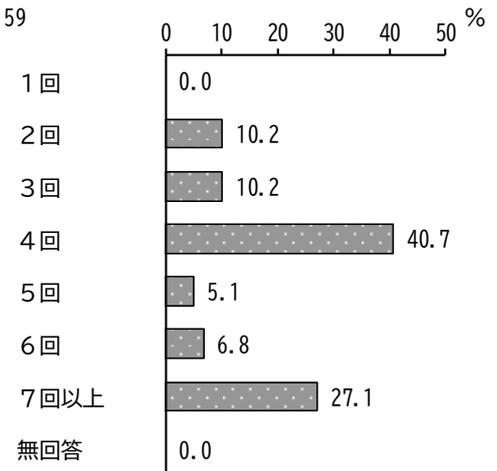
就学前保護者では、「増やしたい」の割合が34.3%、「増やしたいとは思わない」の割合が65.7%となっています。



さらに増やしたい回数（1か月当たり）

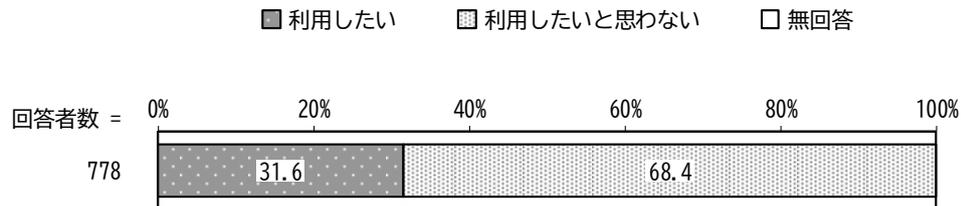
就学前保護者では、「4回」の割合が40.7%と最も高く、次いで「7回以上」の割合が27.1%、「2回」、「3回」の割合が10.2%となっています。

回答者数 = 59



問 子育て支援センターを利用してみたいですか。利用してみたいと思う場合は1か月当たり何回程度利用したいか入力してください。【就学前：問67】

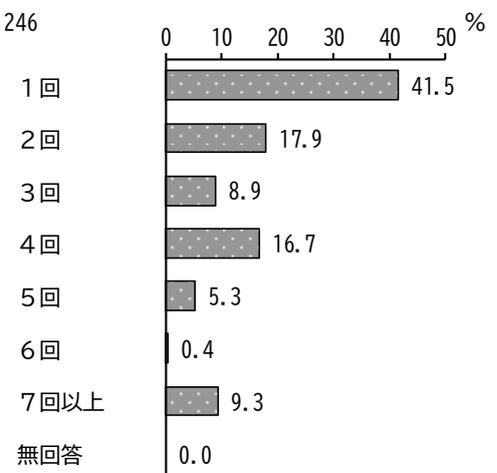
就学前保護者では、「利用したい」の割合が31.6%、「利用したいと思わない」の割合が68.4%となっています。



利用回数（1か月当たり）

就学前保護者では、「1回」の割合が41.5%と最も高く、次いで「2回」の割合が17.9%、「4回」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 246



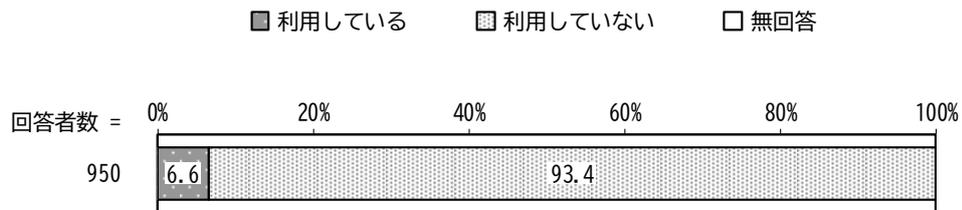
問 あて名のお子さんは、現在、「児童館」を利用していますか。利用している場合は1か月当たりの利用回数を入力してください。【就学前：問 68】【就学：問 40】

就学前保護者では、「利用している」の割合が6.6%、「利用していない」の割合が93.4%となっています。

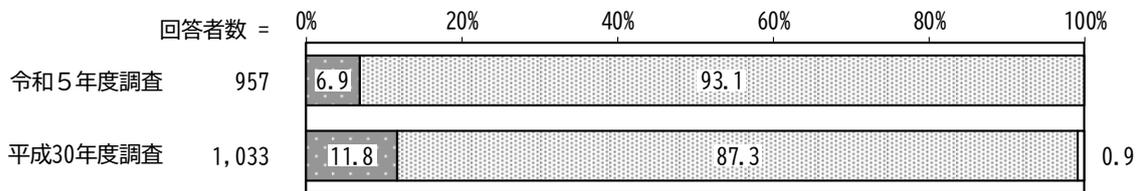
就学保護者では、「利用している」の割合が6.9%、「利用していない」の割合が93.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。

【就学前】



【就学】



利用回数（1か月当たり）

就学前保護者では、「1回」の割合が50.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が17.5%となっています。

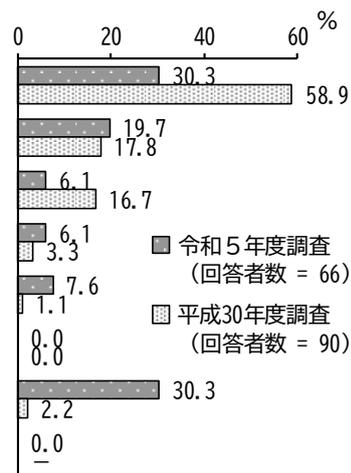
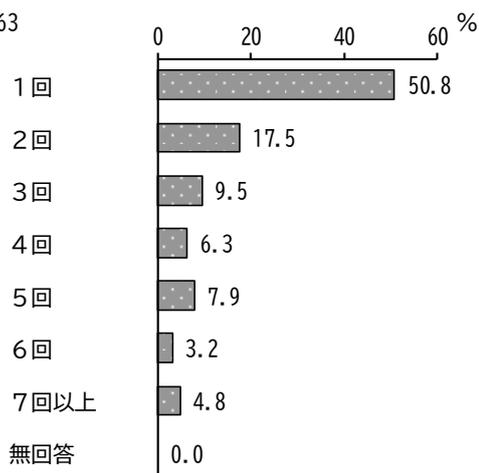
就学保護者では、「1回」、「7回以上」の割合が30.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5回」「7回以上」の割合が増加しています。一方、「1回」「3回」の割合が減少しています。

【就学前】

【就学】

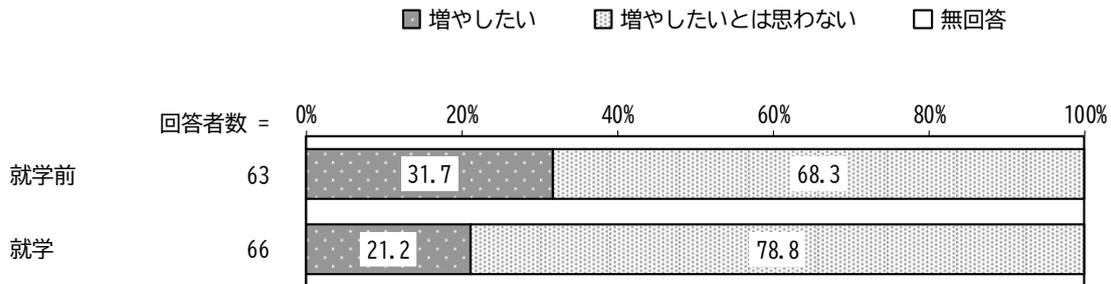
回答者数 = 63



問 利用回数を増やしたいと思いますか。増やしたい場合は1か月当たり何回程度増やしたいか入力してください。【就学前：問 69】【就学：問 41】

就学前保護者では、「増やしたい」の割合が 31.7%、「増やしたいとは思わない」の割合が 68.3% となっています。

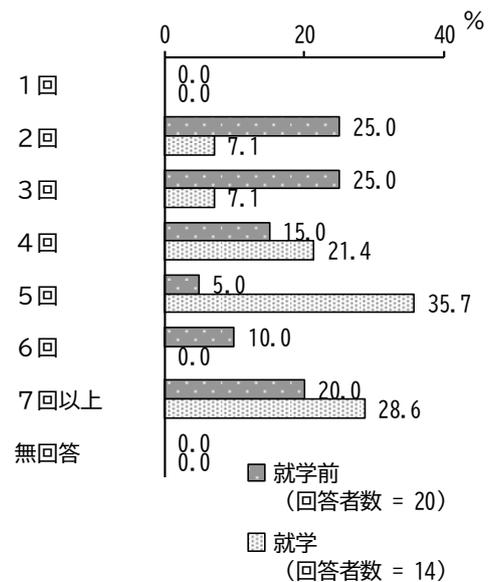
就学保護者では、「増やしたい」の割合が 21.2%、「増やしたいとは思わない」の割合が 78.8% となっています。



さらに増やしたい回数（1か月当たり）

就学前保護者では、「2回」、「3回」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「7回以上」の割合が 20.0%となっています。

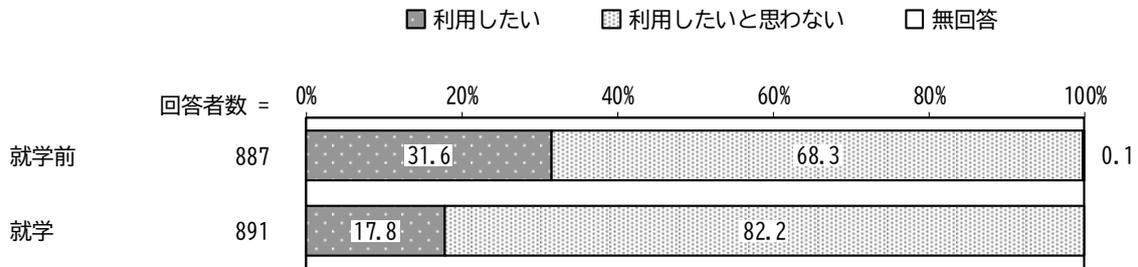
就学保護者では、「5回」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「7回以上」の割合が 28.6%、「4回」の割合が 21.4%となっています。



問 児童館を利用してみたいですか。利用してみたいと思う場合は1か月当たり何回程度利用したいか入力してください。【就学前：問70】【就学：問42】

就学前保護者では、「利用したい」の割合が31.6%、「利用したいと思わない」の割合が68.3%となっています。

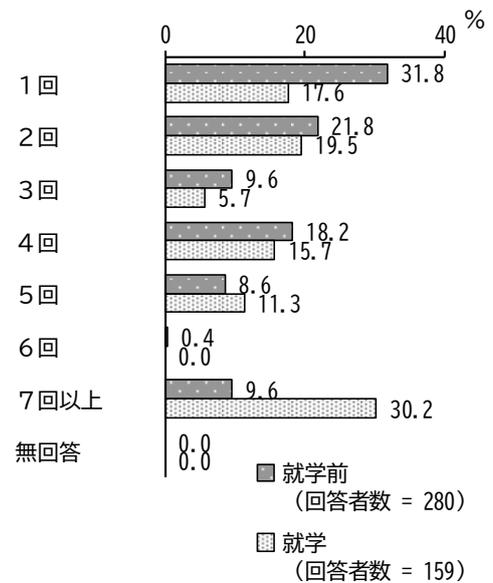
就学保護者では、「利用したい」の割合が17.8%、「利用したいと思わない」の割合が82.2%となっています。



利用回数（1か月当たり）

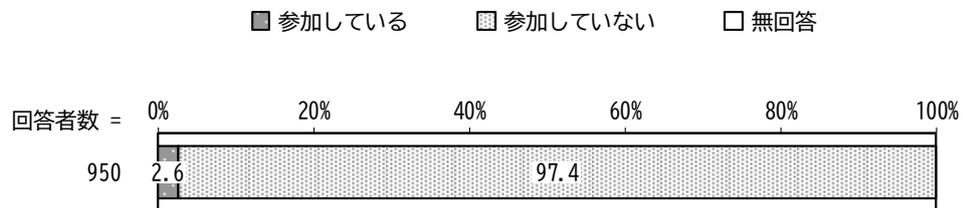
就学前保護者では、「1回」の割合が31.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が21.8%、「4回」の割合が18.2%となっています。

就学保護者では、「7回以上」の割合が30.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.5%、「1回」の割合が17.6%となっています。



問 あて名のお子さんは、現在、子育てサークル等の自主的な活動に参加していますか。参加している場合は1か月当たりの参加回数を入力してください。
【就学前：問 71】

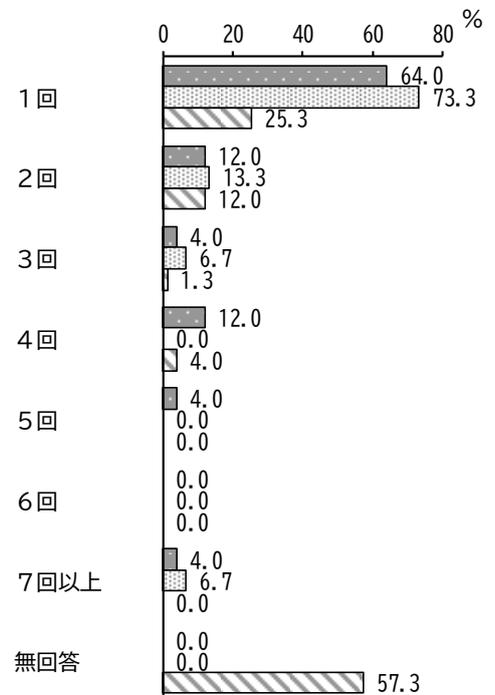
就学前保護者では、「参加している」の割合が2.6%、「参加していない」の割合が97.4%となっています。



参加回数（1か月当たり）

就学前保護者では、「1回」の割合が64.0%と最も高く、次いで「2回」、「4回」の割合が12.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4回」の割合が増加しています。一方、「1回」の割合が減少しています。



■ 令和5年度調査 (回答者数 = 25)
 ▨ 平成30年度調査 (回答者数 = 15)
 ▩ 平成25年度調査 (回答者数 = 75)

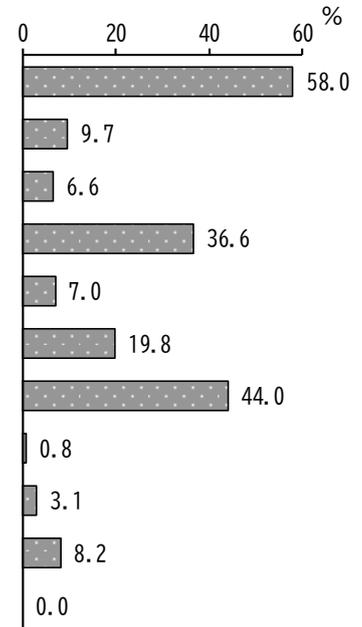
(9) 小学校就学後の放課後等の過ごし方について

問 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものをすべて選び、1週当たりの利用希望日数をあわせて5日になるように入力してください。【就学前：問75】

就学前保護者では、「自宅」の割合が58.0%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が44.0%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ等）」の割合が36.6%となっています。

回答者数 = 257

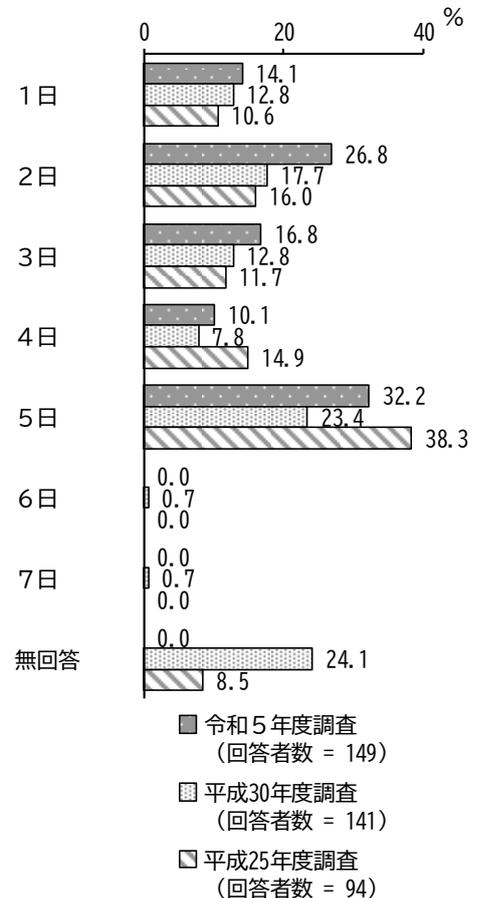
自宅
祖父母宅や友人・知人宅
学習塾
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ等）
児童館
放課後子ども教室〔フジッ子教室〕
放課後児童クラブ〔学童保育〕
ファミリー・サポート・センター
障害児支援施設（放課後等デイサービス等）
その他（図書館、公園等）
無回答



自宅（1週当たり）

就学前保護者では、「5日」の割合が32.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.8%、「3日」の割合が16.8%となっています。

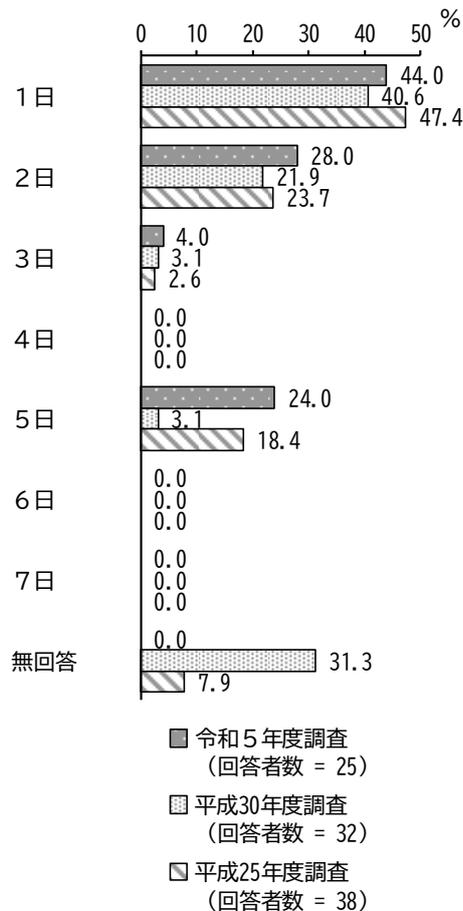
平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」の割合が増加しています。



祖父母宅、友人・知人宅（1週当たり）

就学前保護者では、「1日」の割合が44.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.0%、「5日」の割合が24.0%となっています。

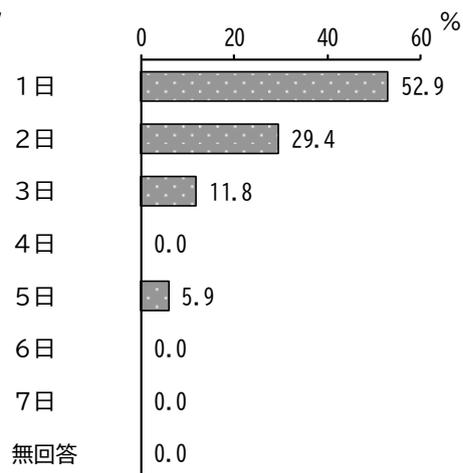
平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」の割合が増加しています。



学習塾（1週当たり）

就学前保護者では、「1日」の割合が52.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が29.4%、「3日」の割合が11.8%となっています。

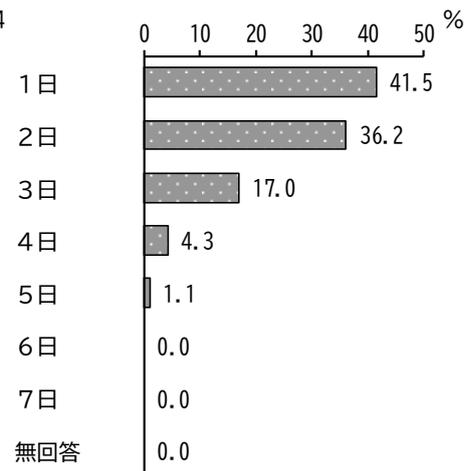
回答者数 = 17



習い事（1週当たり）

就学前保護者では、「1日」の割合が41.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が36.2%、「3日」の割合が17.0%となっています。

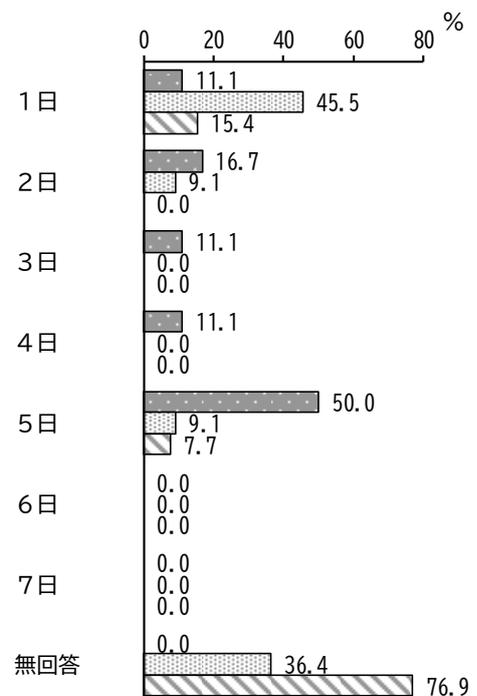
回答者数 = 94



児童館（1週当たり）

就学前保護者では、「5日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.7%、「1日」、「3日」、「4日」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

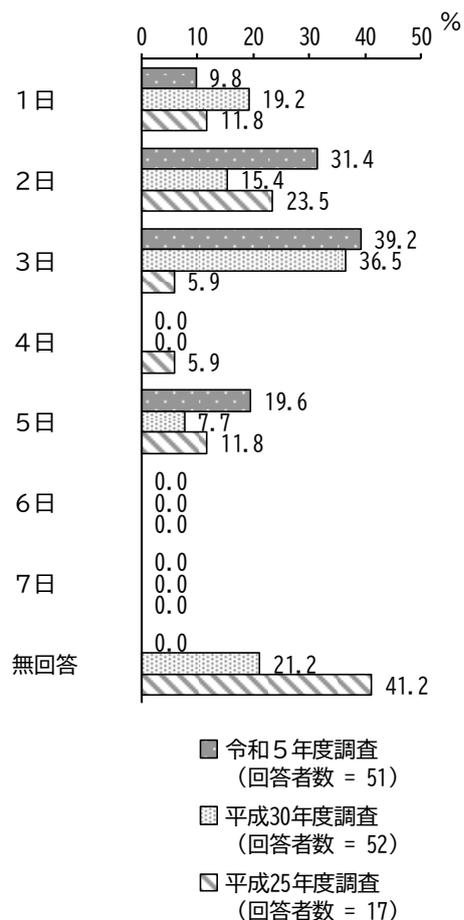


- 令和5年度調査
(回答者数 = 18)
- ▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 11)
- ▩ 平成25年度調査
(回答者数 = 13)

放課後子ども教室【フジッ子教室】（1週当たり）

就学前保護者では、「3日」の割合が39.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が31.4%、「5日」の割合が19.6%となっています。

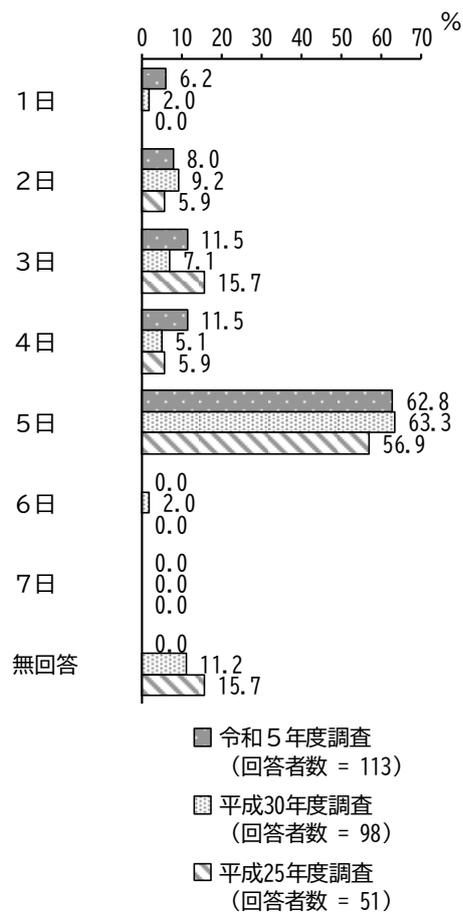
平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



放課後児童クラブ〔学童保育〕（1週当たり）

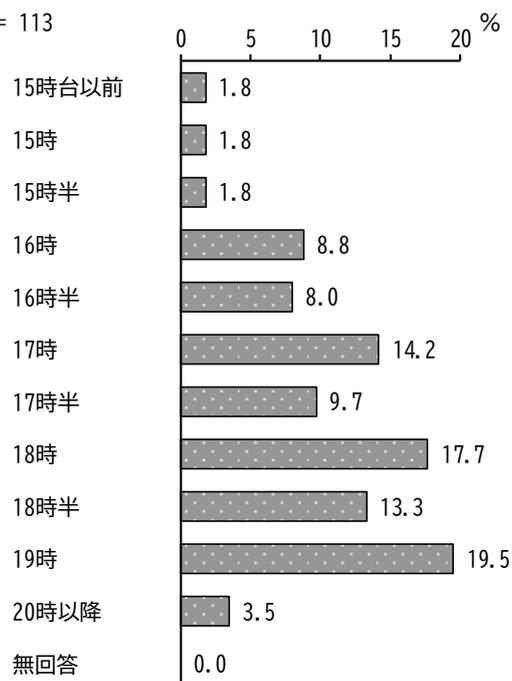
就学前保護者では、「5日」の割合が62.8%と最も高く、次いで「3日」、「4日」の割合が11.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。



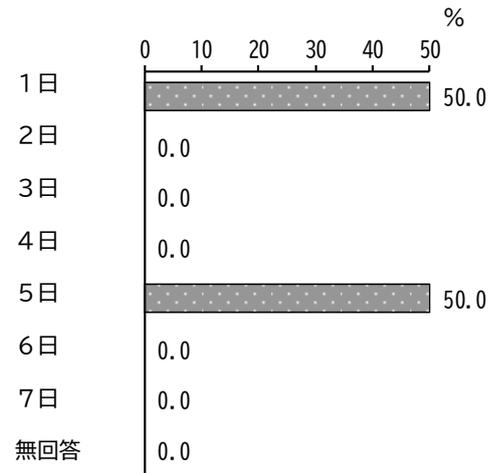
放課後児童クラブ〔学童保育〕を何時まで利用したいですか

就学前保護者では、「19時」の割合が19.5%と回答者数 = 113
最も高く、次いで「18時」の割合が17.7%、「17時」の割合が14.2%となっています。



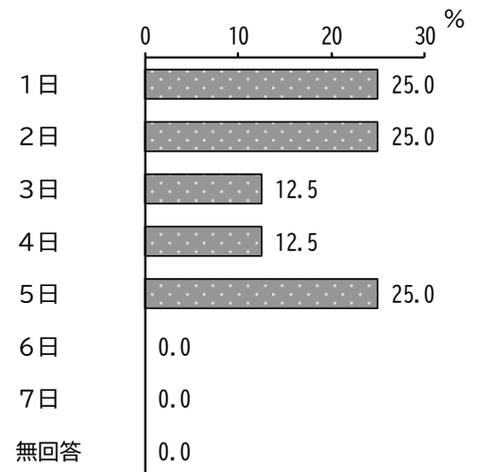
ファミリー・サポート・センター（1週当たり）

就学前保護者では、「1日」、「5日」が1件となっています。 回答者数 = 2



障害児支援施設（放課後等デイサービス等）（1週当たり）

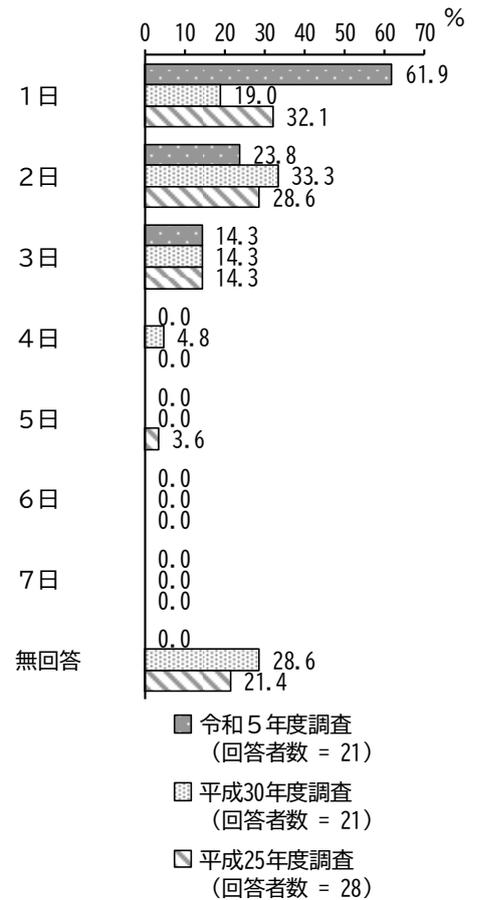
就学前保護者では、「1日」、「2日」、「5日」が2件となっています。 回答者数 = 8



その他（図書館、公園等）（1週当たり）

就学前保護者では、「1日」の割合が61.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.8%、「3日」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。

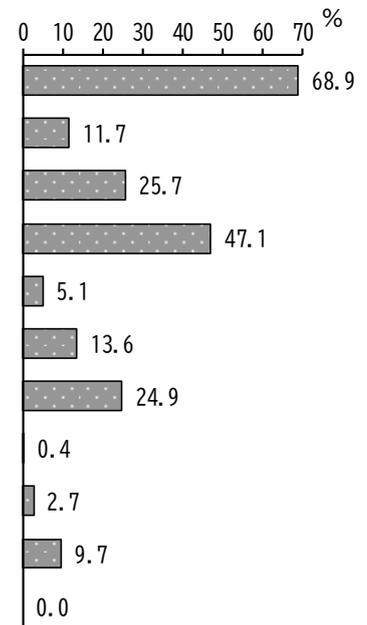


問 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものをすべて選び、1週当たりの利用希望日数をあわせて5日になるように入力してください。【就学前：問76】

就学前保護者では、「自宅」の割合が68.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ等）」の割合が47.1%、「学習塾」の割合が25.7%となっています。

回答者数 = 257

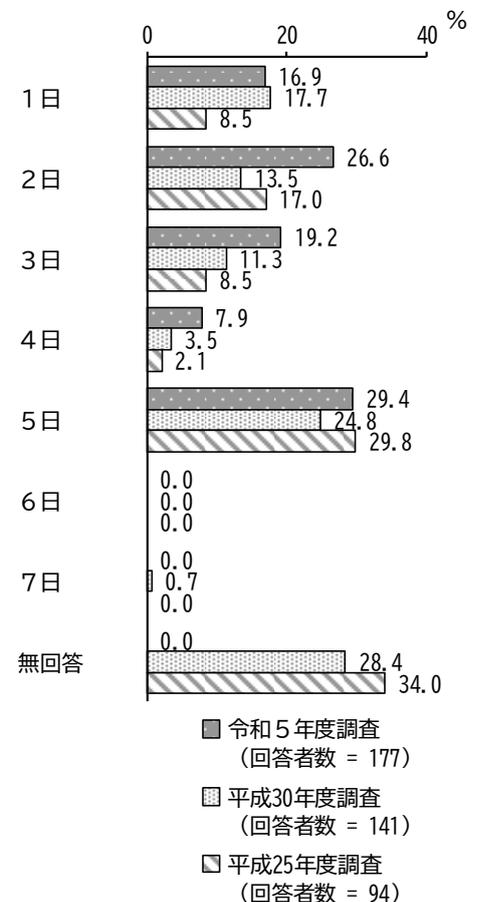
自宅
 祖父母宅や友人・知人宅
 学習塾
 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ等）
 児童館
 放課後子ども教室〔フジッ子教室〕
 放課後児童クラブ〔学童保育〕
 ファミリー・サポート・センター
 障害児支援施設（放課後等デイサービス等）
 その他（図書館、公園等）
 無回答



自宅（1週当たり）

就学前保護者では、「5日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.6%、「3日」の割合が19.2%となっています。

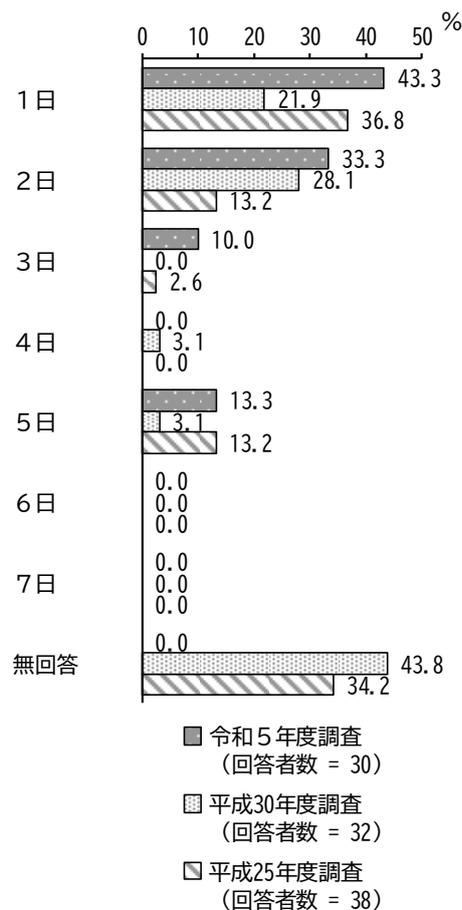
平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。



祖父母宅、友人・知人宅（1週当たり）

就学前保護者では、「1日」の割合が43.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が33.3%、「5日」の割合が13.3%となっています。

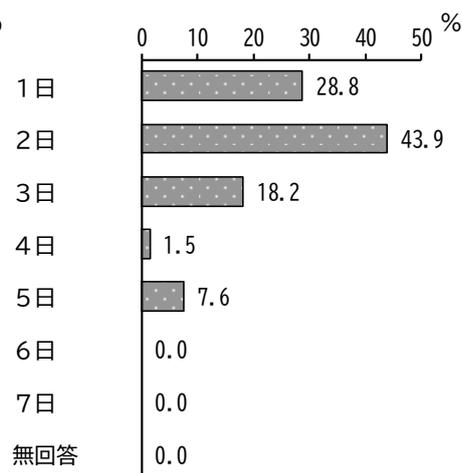
平成30年度調査と比較すると、「1日」「2日」「3日」「5日」の割合が増加しています。



学習塾（1週当たり）

就学前保護者では、「2日」の割合が43.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が28.8%、「3日」の割合が18.2%となっています。

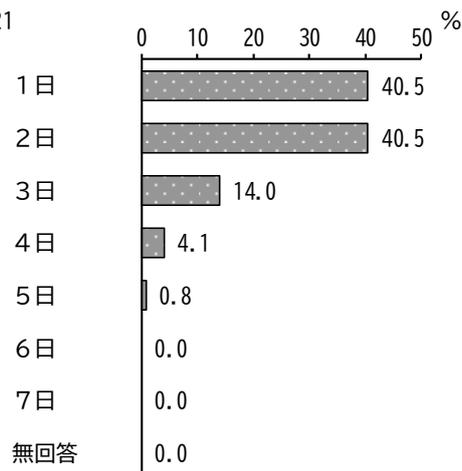
回答者数 = 66



習い事（1週当たり）

就学前保護者では、「1日」、「2日」の割合が40.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が14.0%となっています。

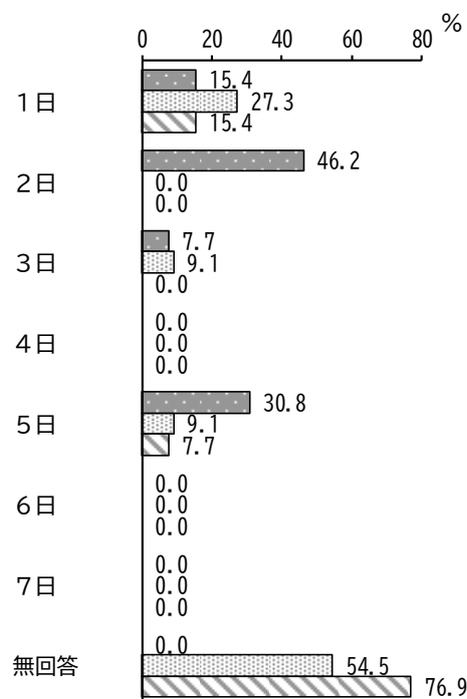
回答者数 = 121



児童館（1週当たり）

就学前保護者では、「2日」の割合が46.2%と最も高く、次いで「5日」の割合が30.8%、「1日」の割合が15.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

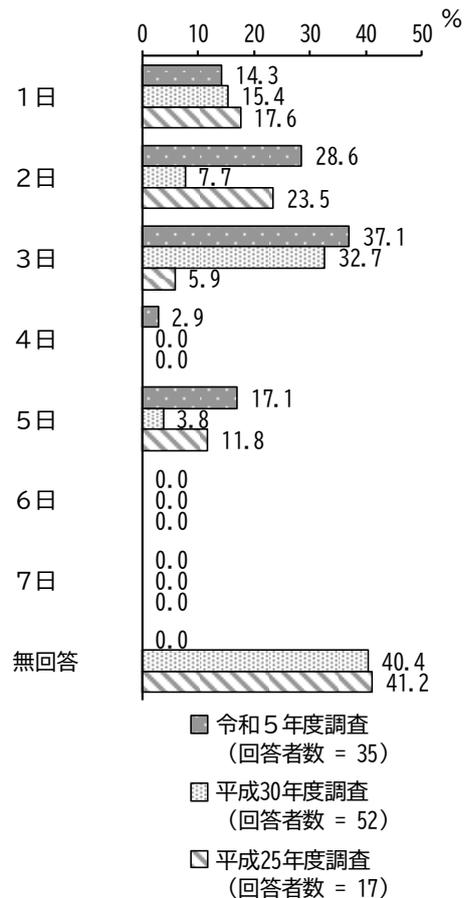


- 令和5年度調査
(回答者数 = 13)
- ▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 11)
- ▩ 平成25年度調査
(回答者数 = 13)

放課後子ども教室【フジッ子教室】（1週当たり）

就学前保護者では、「3日」の割合が37.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.6%、「5日」の割合が17.1%となっています。

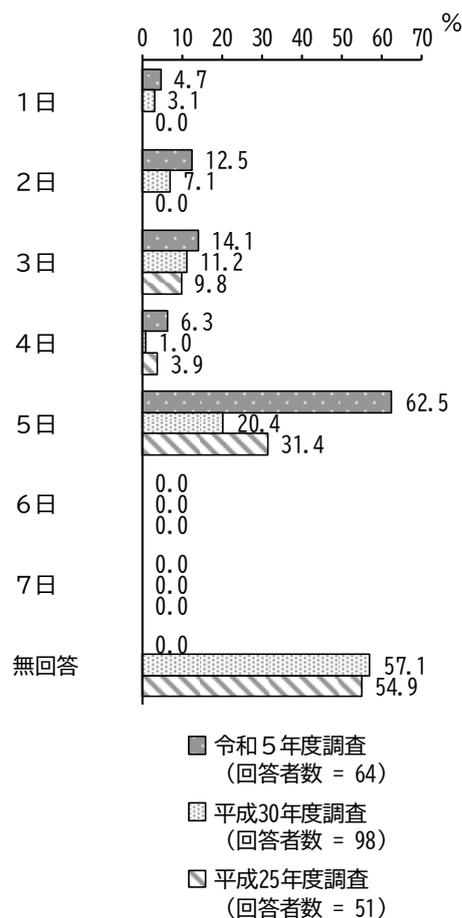
平成30年度調査と比較すると、「2日」「5日」の割合が増加しています。



放課後児童クラブ〔学童保育〕（1週当たり）

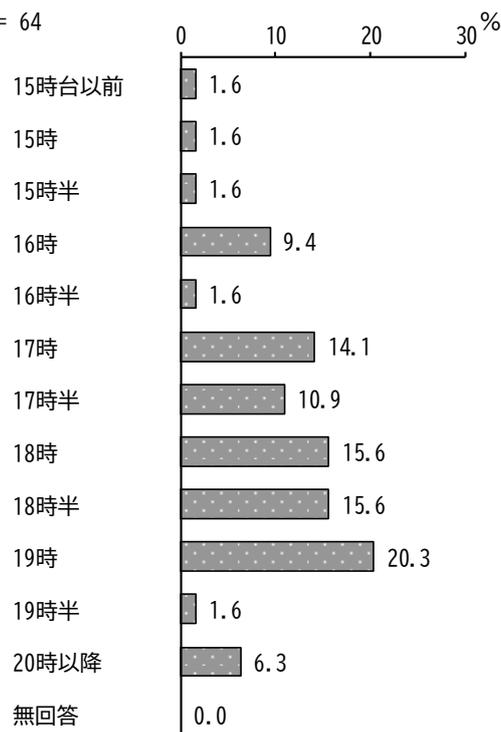
就学前保護者では、「5日」の割合が62.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が14.1%、「2日」の割合が12.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「4日」「5日」の割合が増加しています。



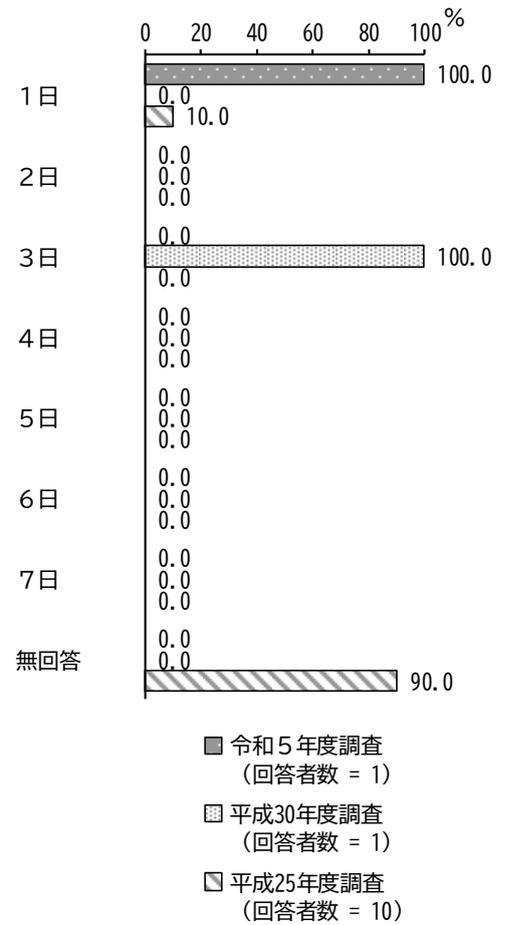
放課後児童クラブ〔学童保育〕を何時まで利用したいですか

就学前保護者では、「19時」の割合が20.3%と回答者数 = 64 最も高く、次いで「18時」、「18時半」の割合が15.6%となっています。



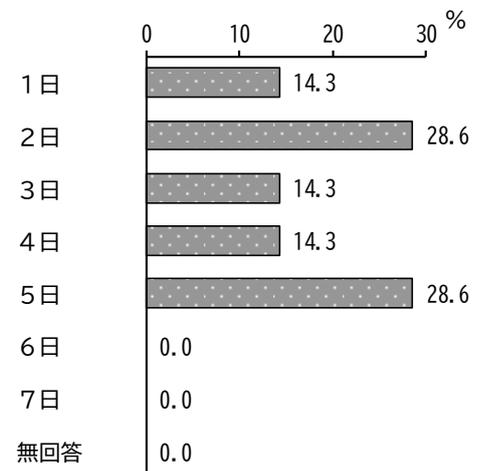
ファミリー・サポート・センター（1週当たり）

就学前保護者では、「1日」が1件となっています。



障害児支援施設（放課後等デイサービス等）（1週当たり）

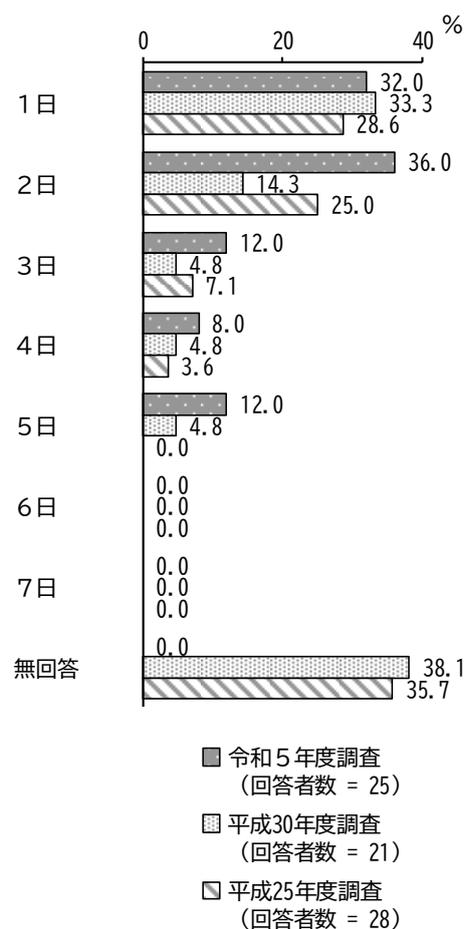
就学前保護者では、「2日」、「5日」が2件とな
回答者数 = 7
っています。「1日」、「3日」、「4日」が1件とな
っています。



その他（図書館、公園等）（1週当たり）

就学前保護者では、「2日」の割合が36.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が32.0%、「3日」、「5日」の割合が12.0%となっています。

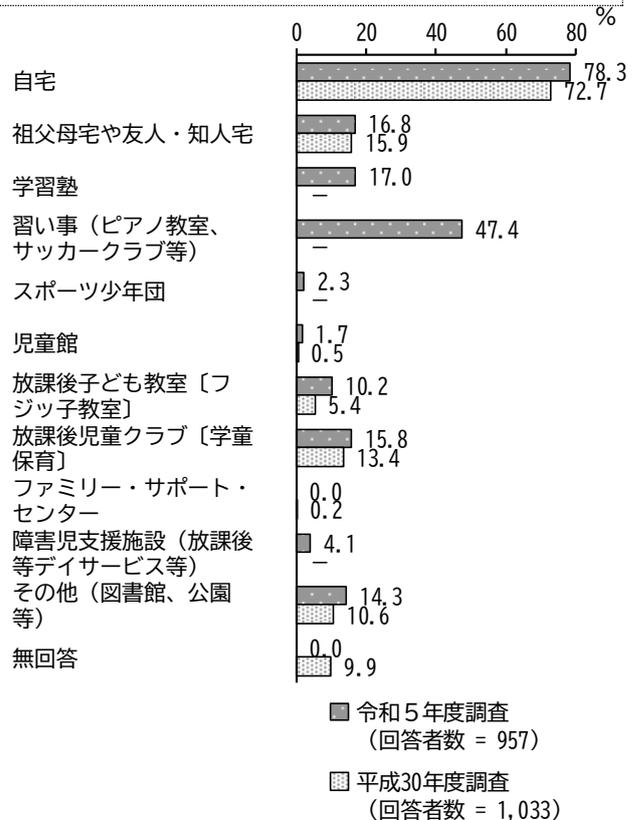
平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」「5日」の割合が増加しています。



問 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせていますか。あてはまるものをすべて選び、1週当たりの利用日数をあわせて5日になるように入力してください。【就学児：問43】

就学保護者では、「自宅」の割合が78.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ等）」の割合が47.4%、「学習塾」の割合が17.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。

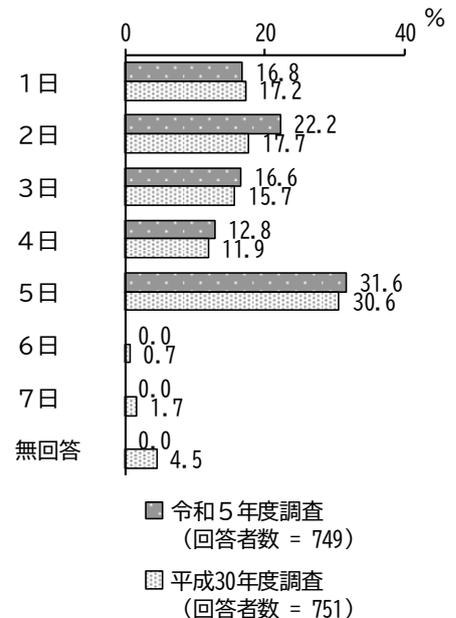


※前回調査では、習い事に内容が集約されていたが、今回は3項目に分類されているため比較できませんでした。
 ※前回調査では、「障害児支援施設（放課後等デイサービス等）」の選択肢はありませんでした。

自宅（1週当たり）

就学保護者では、「5日」の割合が31.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.2%、「1日」の割合が16.8%となっています。

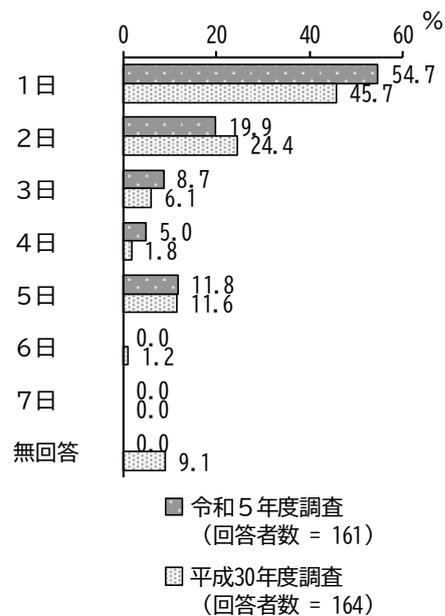
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



祖父母宅、友人・知人宅（1週当たり）

就学保護者では、「1日」の割合が54.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.9%、「5日」の割合が11.8%となっています。

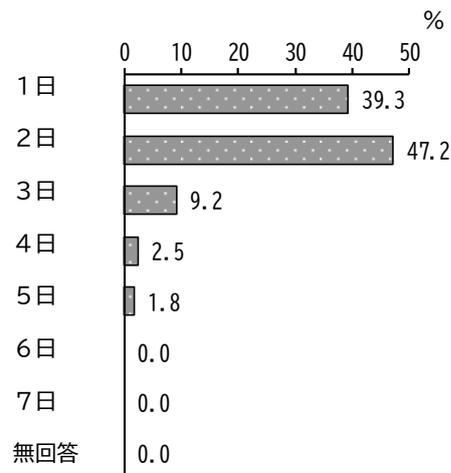
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。



学習塾（1週当たり）

就学保護者では、「2日」の割合が47.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が39.3%となっています。

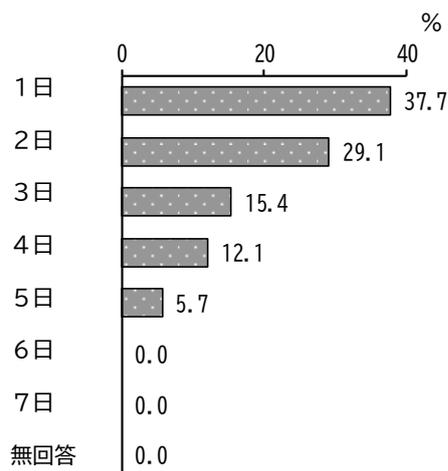
回答者数 = 163



習い事（1週当たり）

就学保護者では、「1日」の割合が37.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が29.1%、「3日」の割合が15.4%となっています。

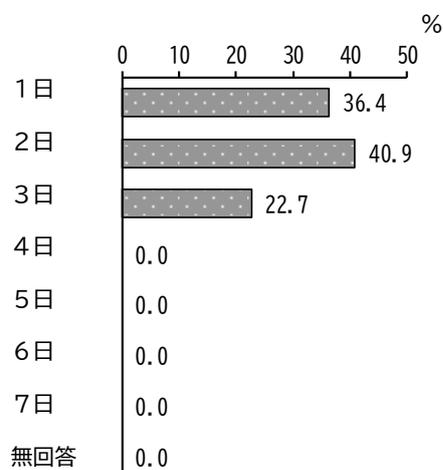
回答者数 = 454



スポーツ少年団（1週当たり）

就学保護者では、「2日」の割合が40.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が36.4%、「3日」の割合が22.7%となっています。

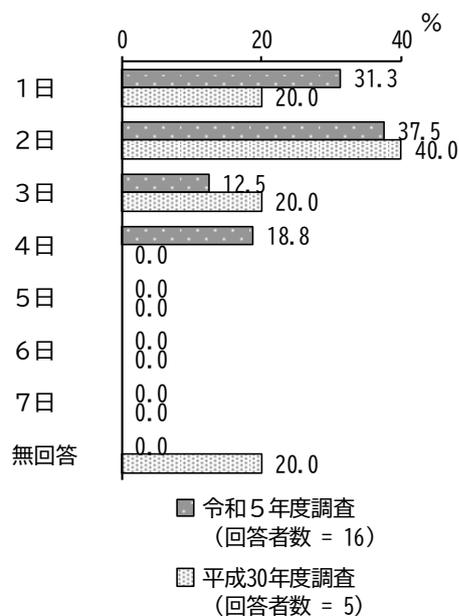
回答者数 = 22



児童館（1週当たり）

就学保護者では、「2日」の割合が37.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が31.3%、「4日」の割合が18.8%となっています。

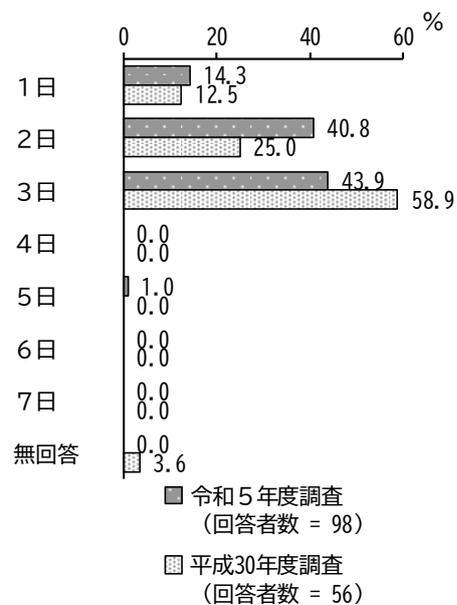
平成30年度調査と比較すると、「1日」「4日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



放課後子ども教室【フジっ子教室】（1週当たり）

就学保護者では、「3日」の割合が43.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が40.8%、「1日」の割合が14.3%となっています。

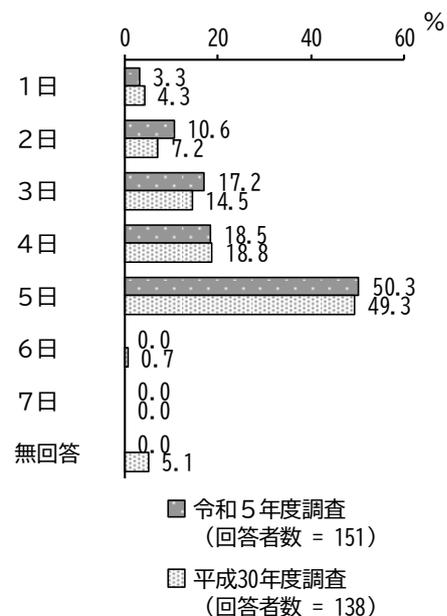
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



放課後児童クラブ【学童保育】（1週当たり）

就学保護者では、「5日」の割合が50.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が18.5%、「3日」の割合が17.2%となっています。

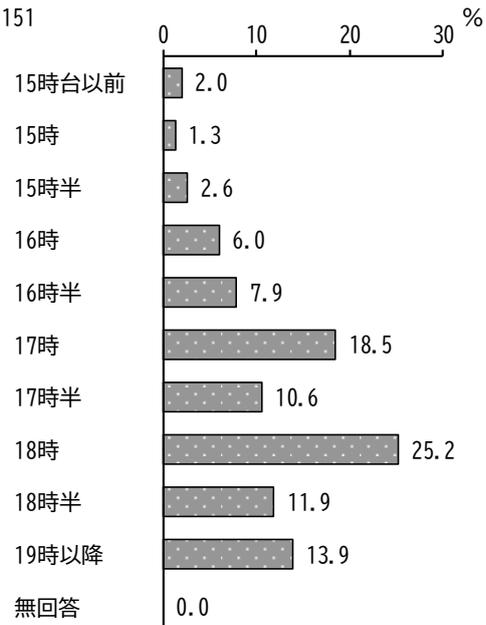
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



放課後児童クラブ〔学童保育〕を何時まで利用していますか

就学保護者では、「18時」の割合が25.2%と最も高く、次いで「17時」の割合が18.5%、「19時以降」の割合が13.9%となっています。

回答者数 = 151



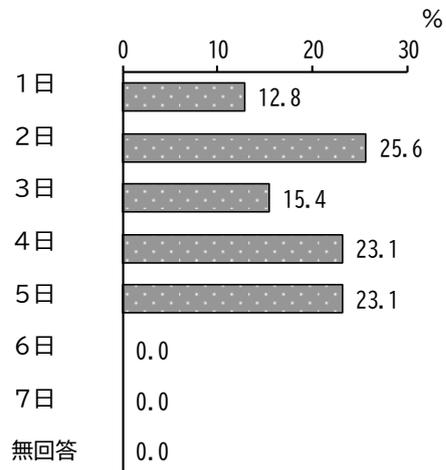
ファミリー・サポート・センター（1週当たり）

有効回答がありませんでした。

障害児支援施設（放課後等デイサービス等）（1週当たり）

就学保護者では、「2日」の割合が25.6%と最も高く、次いで「4日」、「5日」の割合が23.1%となっています。

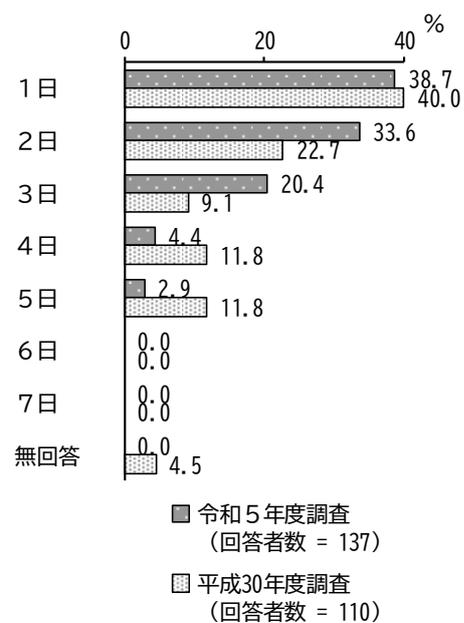
回答者数 = 39



その他（図書館、公園等）（1週当たり）

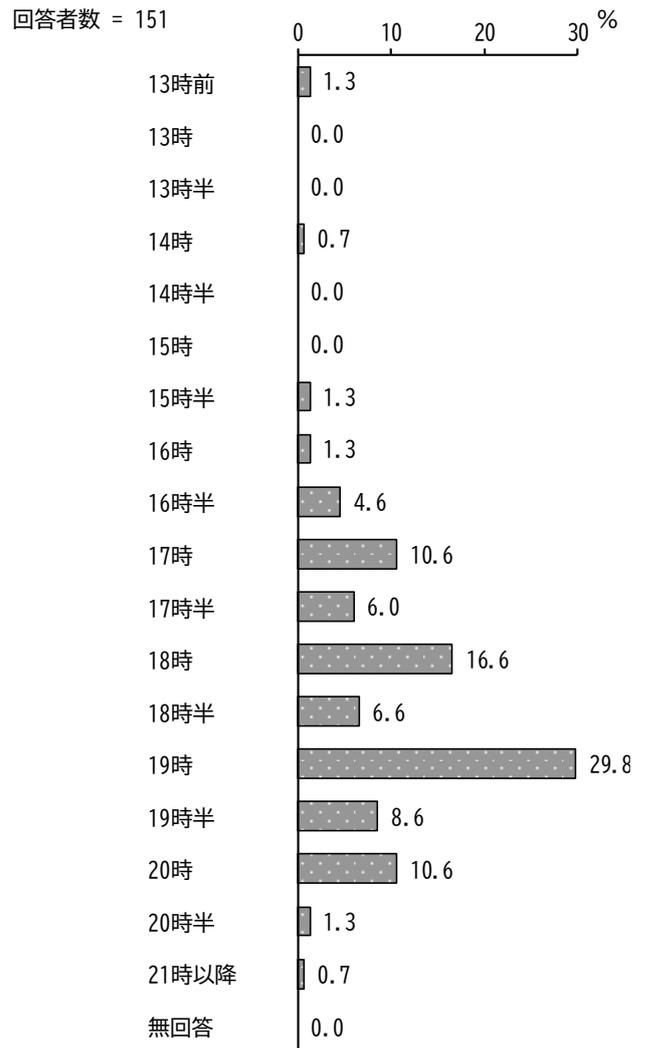
就学保護者では、「1日」の割合が38.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が33.6%、「3日」の割合が20.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」「5日」の割合が減少しています。



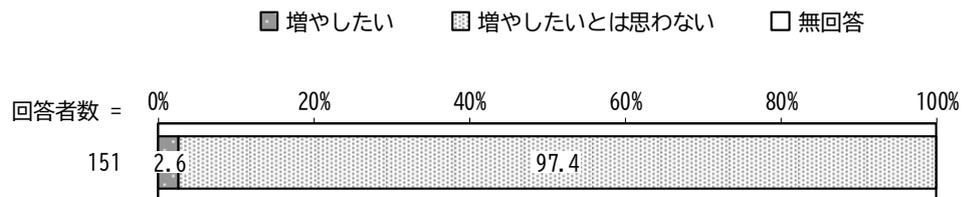
問 放課後児童クラブ〔学童保育〕の実際の実施時間（～19時）に関わらず、本来は何時まで利用したいですか。【就学：問44】

就学保護者では、「19時」の割合が29.8%と最も高く、次いで「18時」の割合が16.6%、「17時」、「20時」の割合が10.6%となっています。



問 放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用日数を増やしたいですか。増やしたいと思う場合は、週当たり何日程度増やしたいですか。【就学：問45】

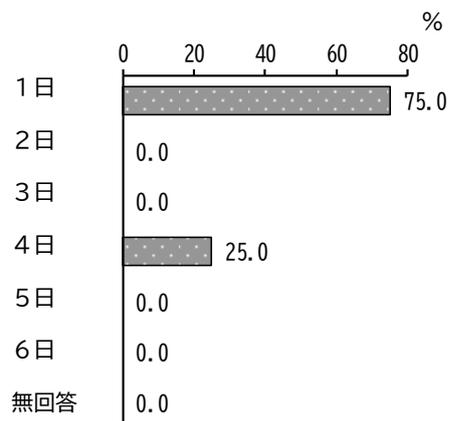
就学保護者では、「増やしたい」の割合が2.6%、「増やしたいとは思わない」の割合が97.4%となっています。



1週当たりさらに何日程度増やしたい

回答者数 = 4

就学保護者では、「1日」が3件となっており、「4日」が1件となっています。



問 現在、放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用している理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学：問46】

就学保護者では、「就労しているから」の割合が100.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就労しているから

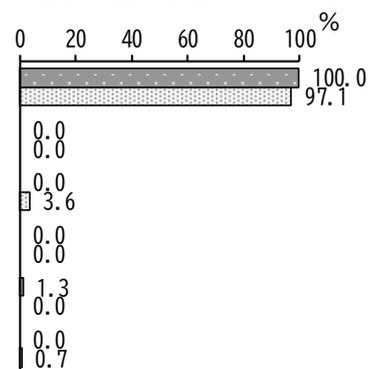
家族・親族を介護しているから

病気・障害をもっているから

学生だから

その他

無回答



■ 令和5年度調査
(回答者数 = 151)

▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 138)

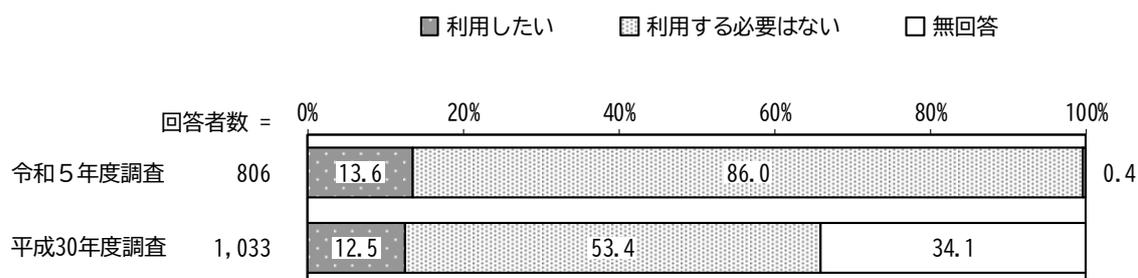
【就学：その他の意見】

- ・私の家族は外国人なので追加の学習環境が必要
- ・1人で長時間の留守番させるのが不安だから

問 あて名のお子さんについて、今は利用していないが、今後、放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用してみたいと思いますか。利用したいと思う場合は、週当たりの「利用希望日数」・1日当たりの「利用希望時間」を入力してください。※24時間制・30分単位 事業の利用には、一定の利用料がかかります。【就学：問47】

就学保護者では、「利用したい」の割合が13.6%、「利用する必要はない」の割合が86.0%となっています。

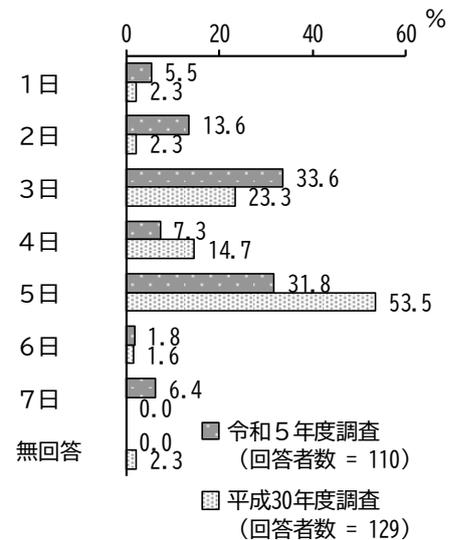
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



利用希望日数（週当たり）

就学保護者では、「3日」の割合が33.6%と最も高く、次いで「5日」の割合が31.8%、「2日」の割合が13.6%となっています。

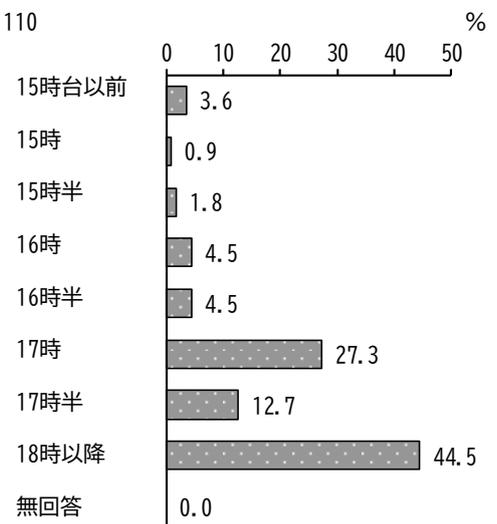
平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」「7日」の割合が増加しています。一方、「4日」「5日」の割合が減少しています。



希望終了時刻

就学保護者では、「18時以降」の割合が44.5%と最も高く、次いで「17時」の割合が27.3%、「17時半」の割合が12.7%となっています。

回答者数 = 110



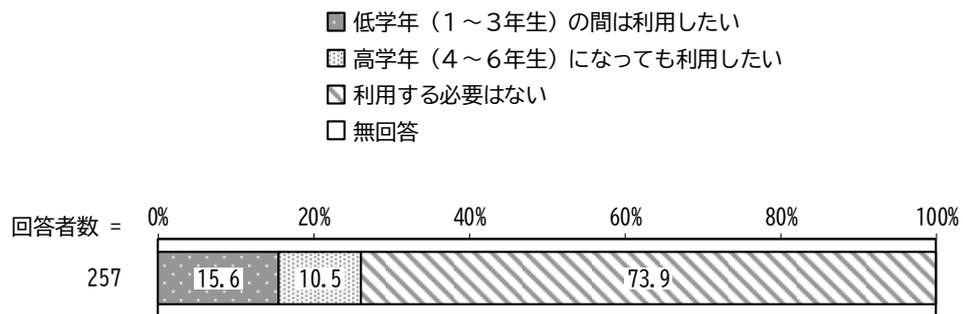
問 あて名のお子さんについて、土曜日に、放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望はありますか。利用したいと思う場合は、利用希望時間を入力してください。※事業の利用には、一定の利用料がかかります。【就学前：問 77】【就学：問 48】

就学前保護者では、「利用する必要はない」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 15.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 10.5%となっています。

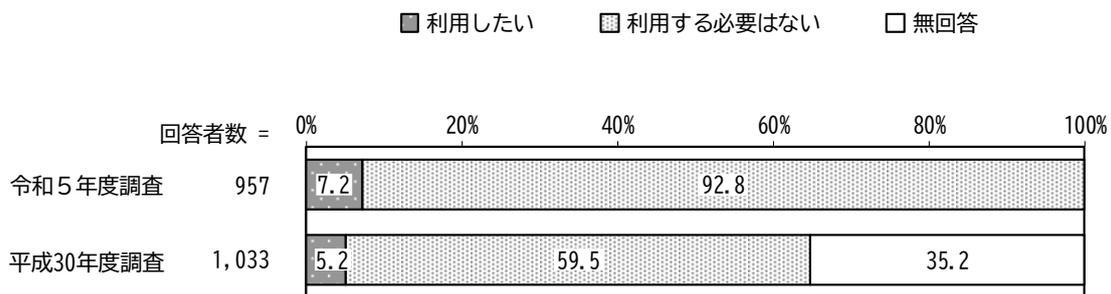
就学保護者では、「利用したい」の割合が 7.2%、「利用する必要はない」の割合が 92.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

【就学前】



【就学】



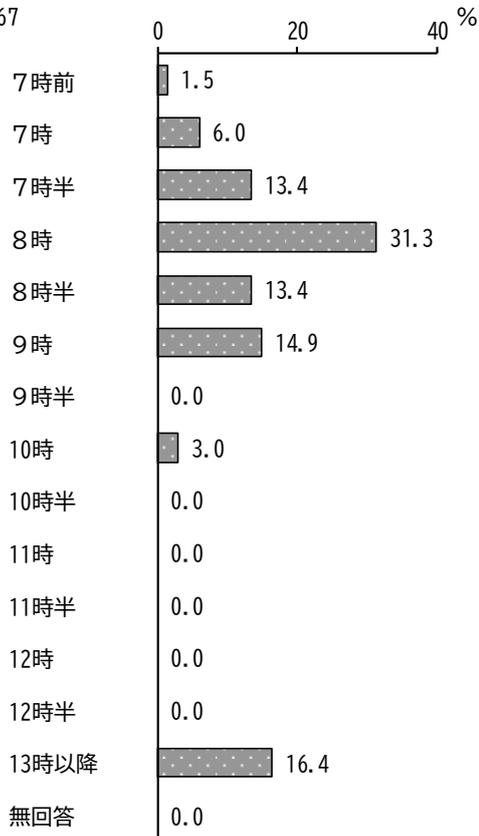
希望開始時刻

就学前保護者では、「8時」の割合が31.3%と最も高く、次いで「13時以降」の割合が16.4%、「9時」の割合が14.9%となっています。

就学保護者では、「8時」の割合が33.3%と最も高く、次いで「7時半」の割合が26.1%、「9時」の割合が17.4%となっています。

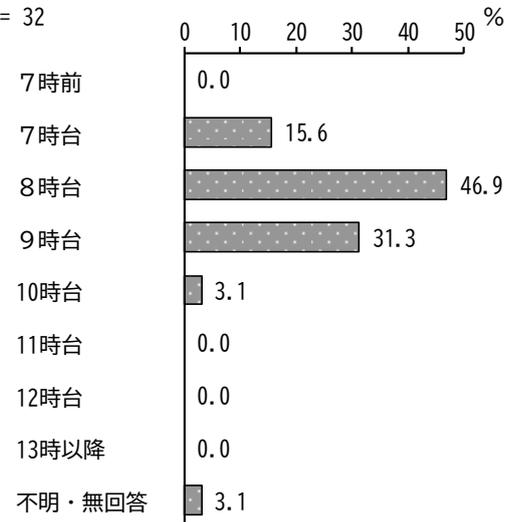
【就学前】

回答者数 = 67



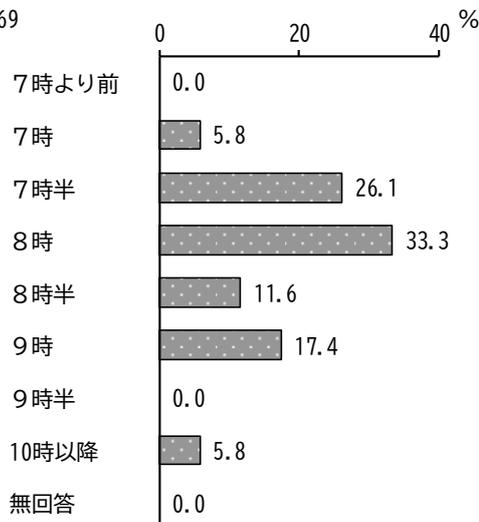
【平成30年度調査 参考】

回答者数 = 32



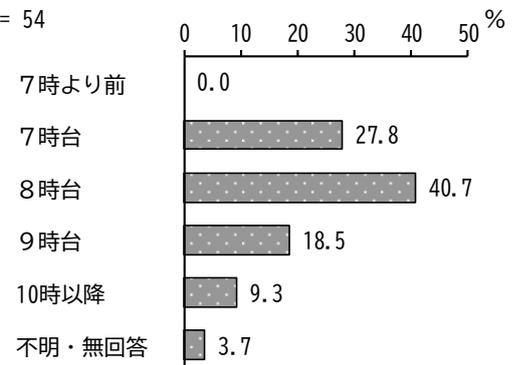
【就学】

回答者数 = 69



【平成30年度調査 参考】

回答者数 = 54



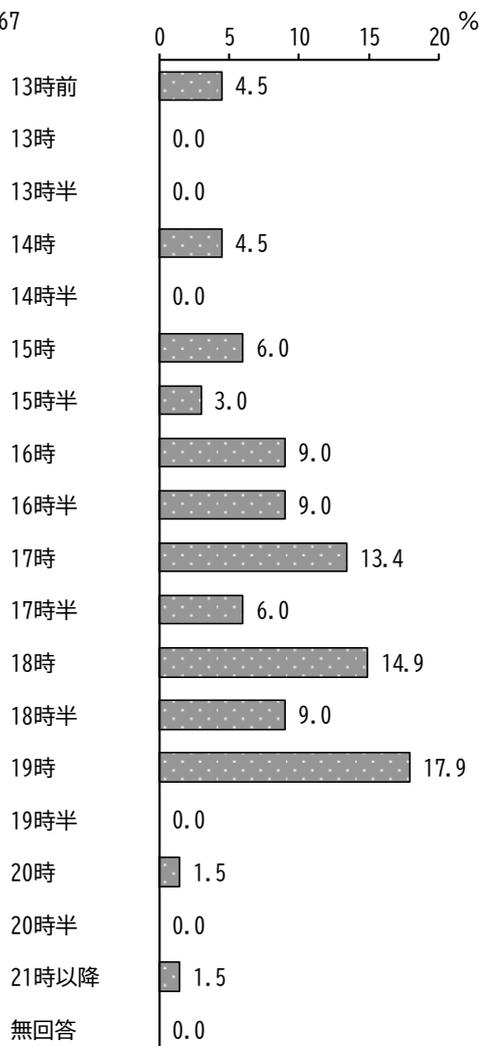
希望終了時刻

就学前保護者では、「19時」の割合が17.9%と最も高く、次いで「18時」の割合が14.9%、「17時」の割合が13.4%となっています。

就学保護者では、「18時以降」の割合が50.7%と最も高く、次いで「17時」の割合が13.0%、「15時」、「17時半」の割合が10.1%となっています。

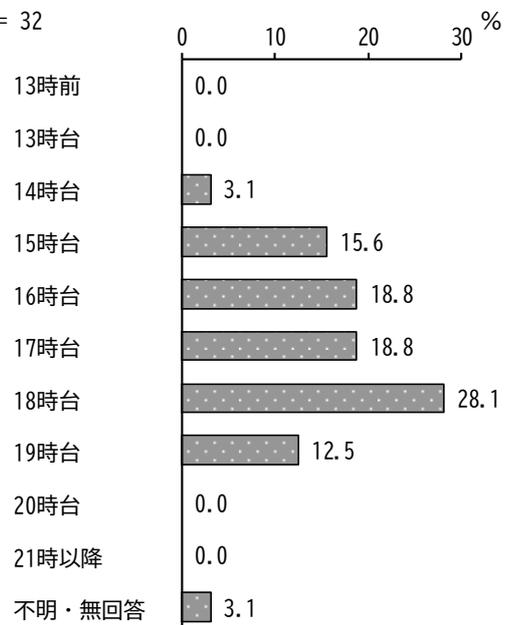
【就学前】

回答者数 = 67



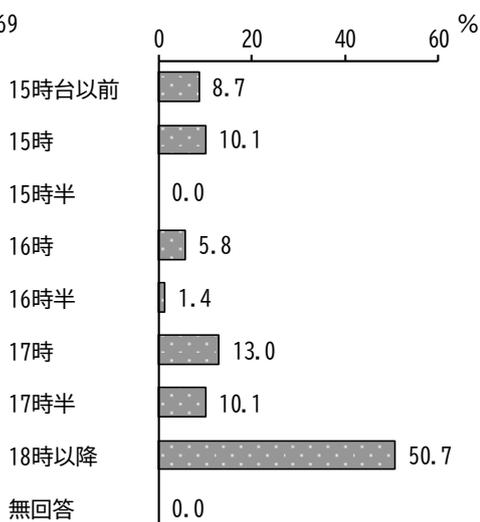
【平成30年度調査 参考】

回答者数 = 32



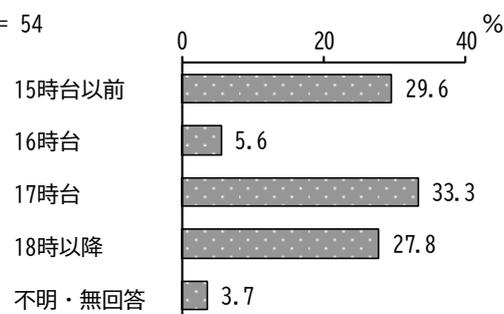
【就学】

回答者数 = 69



【平成30年度調査 参考】

回答者数 = 54



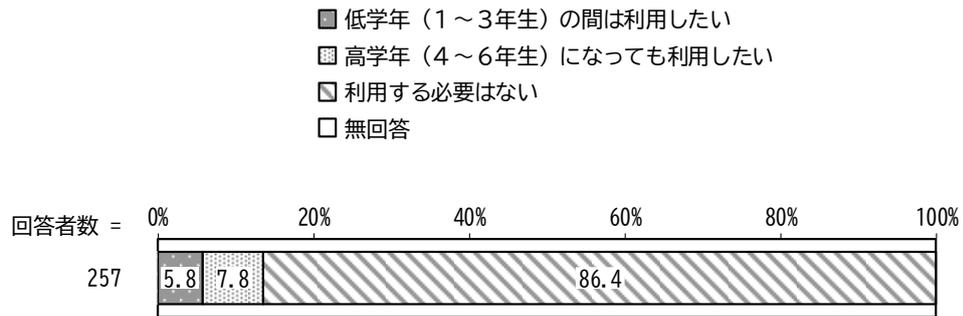
問 あて名のお子さんについて、日曜・祝日に、放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望はありますか。利用したいと思う場合は、利用希望時間を入力してください。
 ※事業の利用には、一定の利用料がかかります。【就学前：問 78】【就学：問 49】

就学前保護者では、「利用する必要はない」の割合が 86.4%と最も高くなっています。

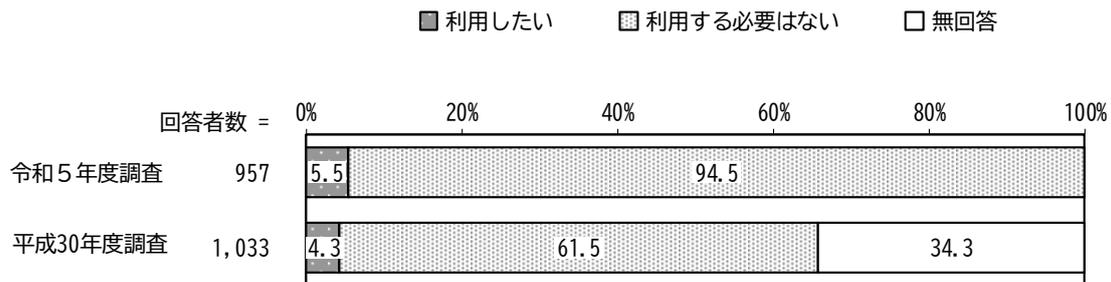
就学保護者では、「利用したい」の割合が 5.5%、「利用する必要はない」の割合が 94.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

【就学前】



【就学】



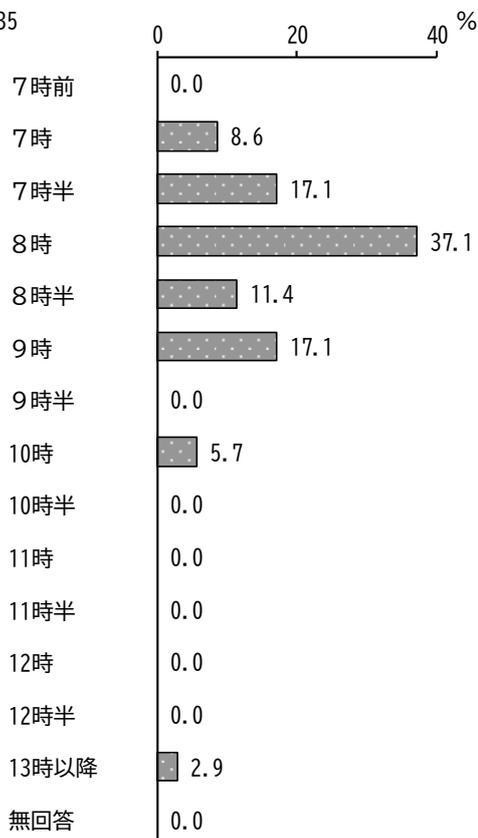
希望開始時刻

就学前保護者では、「8時」の割合が37.1%と最も高く、次いで「7時半」、「9時」の割合が17.1%となっています。

就学保護者では、「8時」の割合が43.4%と最も高く、次いで「7時半」の割合が20.8%、「9時」の割合が18.9%となっています。

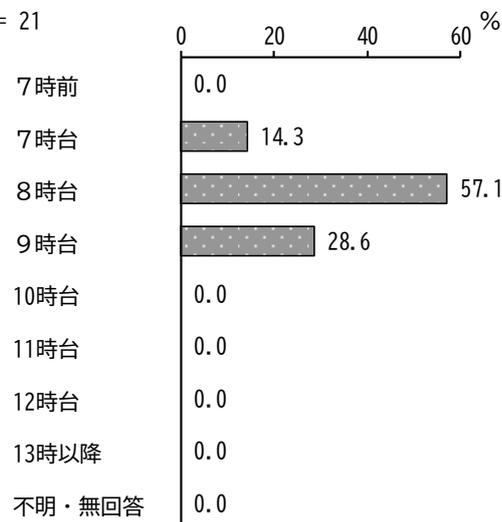
【就学前】

回答者数 = 35



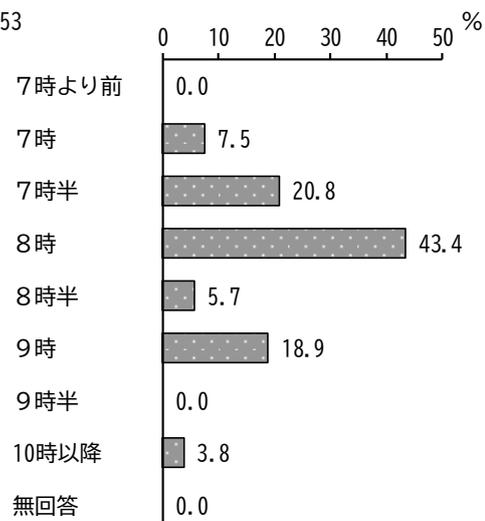
【平成30年度調査 参考】

回答者数 = 21



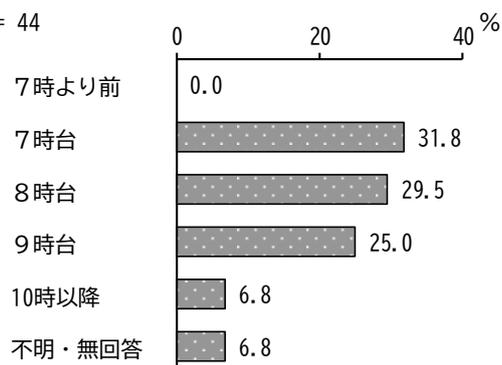
【就学】

回答者数 = 53



【平成30年度調査 参考】

回答者数 = 44



希望終了時刻

就学前保護者では、「18 時」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「17 時」、「19 時」の割合が 17.1%となっています。

就学保護者では、「18 時以降」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 13.2%となっています。

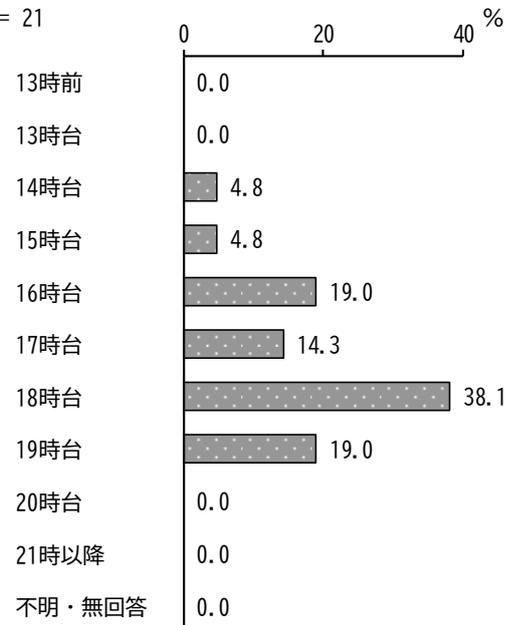
【就学前】

回答者数 = 35



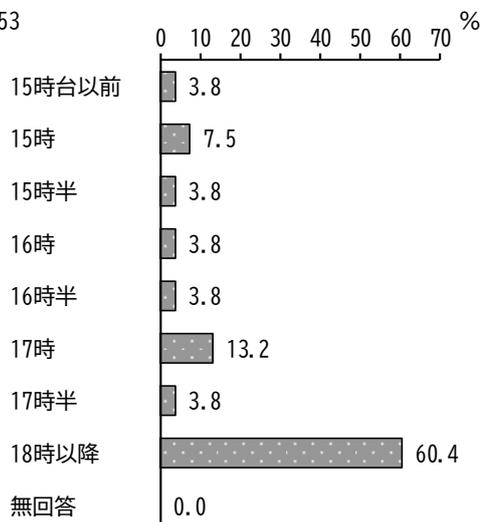
【平成 30 年度調査 参考】

回答者数 = 21



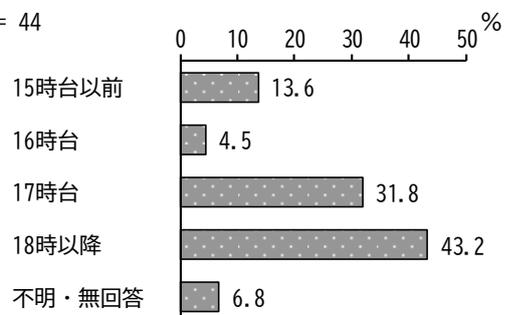
【就学】

回答者数 = 53



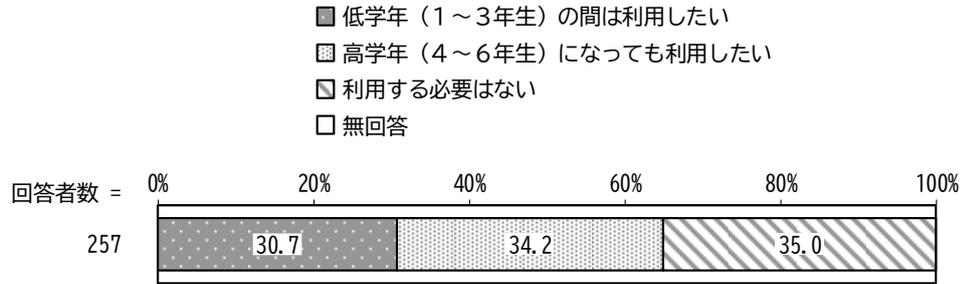
【平成 30 年度調査 参考】

回答者数 = 44



問 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中に、放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望はありますか。利用したいと思う場合は、利用希望時間を入力してください。※事業の利用には、一定の利用料がかかります。【就学前：問 79】

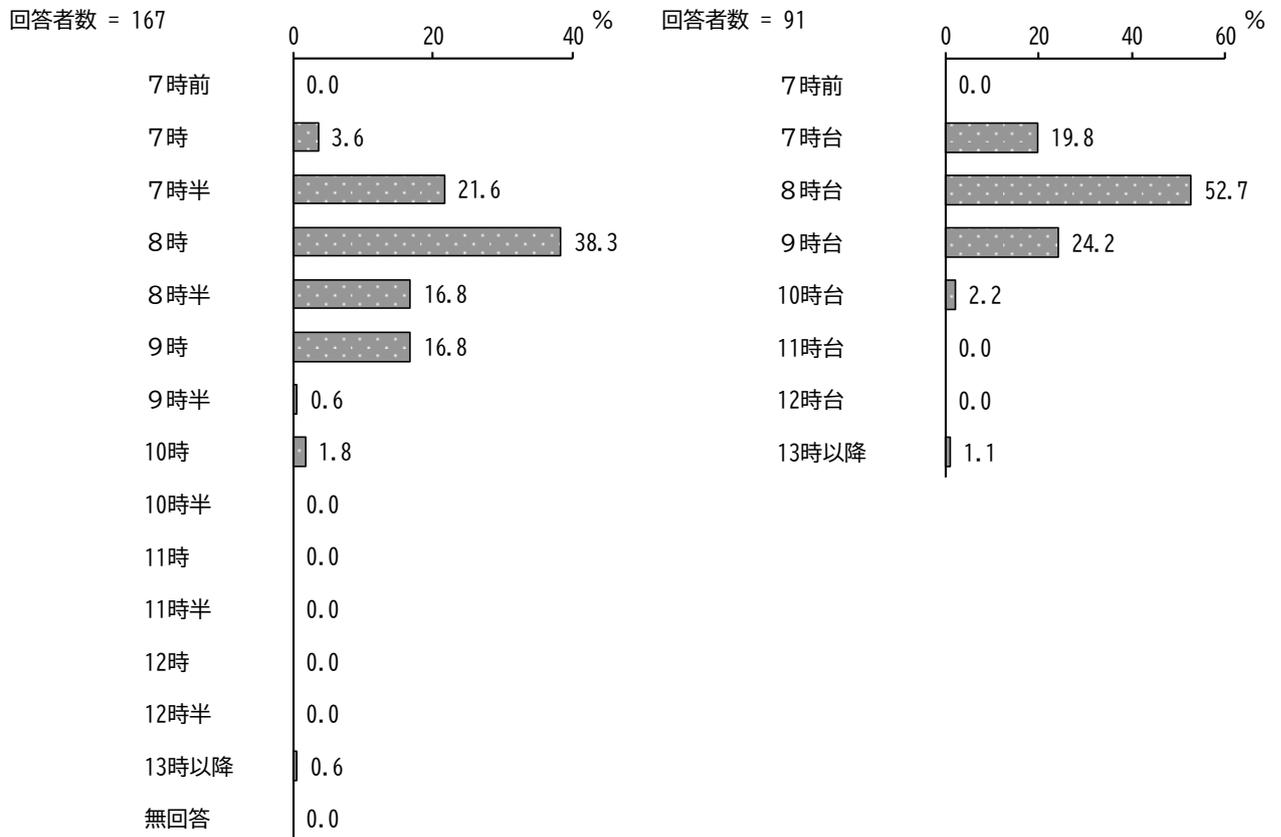
就学前保護者では、「利用する必要はない」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 34.2%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 30.7%となっています。



希望開始時刻

就学前保護者では、「8時」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「7時半」の割合が 21.6%、「8時半」、「9時」の割合が 16.8%となっています。

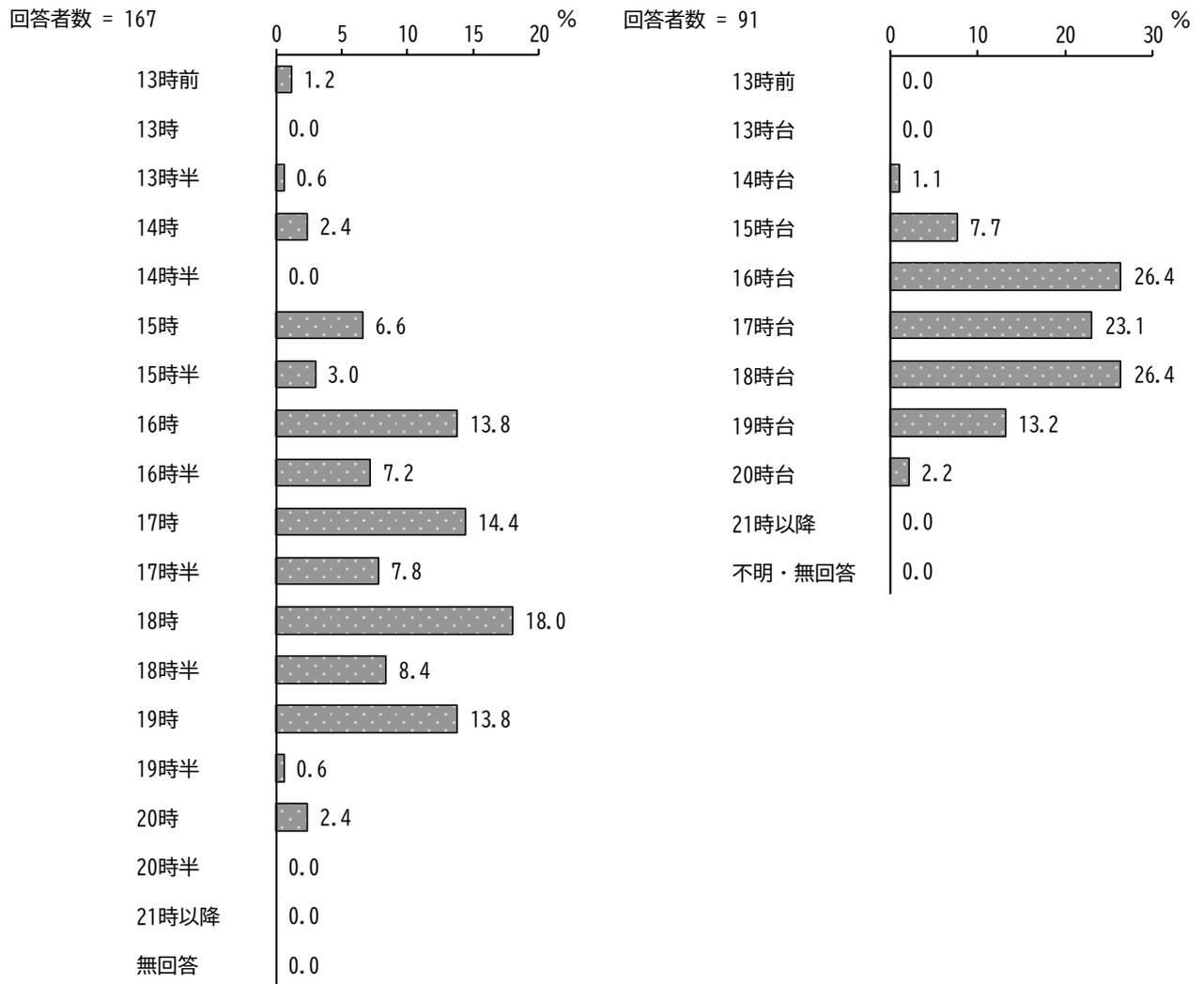
【平成 30 年度調査 参考】



希望終了時刻

就学前保護者では、「18 時」の割合が 18.0%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 14.4%、「16 時」、「19 時」の割合が 13.8%となっています。

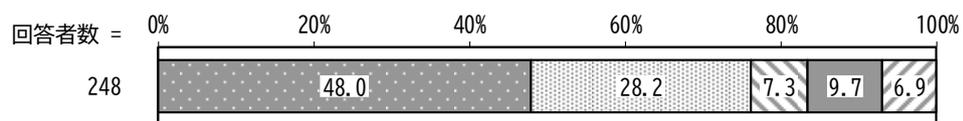
【平成 30 年度調査 参考】



問 【放課後児童クラブ〔学童保育〕又は放課後子ども教室〔フジッ子教室〕を利用している方】両事業の待機を解消し、放課後等の子どもの居場所を充実させるため、どのような対策が有効と感じますか。【就学：問 50】

就学保護者では、「今のままでよい」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「利用者の負担を増やしてでも、放課後児童クラブ〔学童保育〕・放課後子ども教室〔フジッ子教室〕の定員を増やす」の割合が 28.2%となっています。

- 今のままでよい
- 利用者の負担を増やしてでも、放課後児童クラブ〔学童保育〕・放課後子ども教室〔フジッ子教室〕の定員を増やす
- 放課後児童クラブ〔学童保育〕の定員を増やし、その分、放課後子ども教室〔フジッ子教室〕の定員・実施日数を減らす
- 放課後児童クラブ〔学童保育〕の入所基準を緩和して定員を増やし、その分、放課後子ども教室〔フジッ子教室〕の定員・実施日数を減らす
- その他
- 無回答



【就学：その他の主な意見】

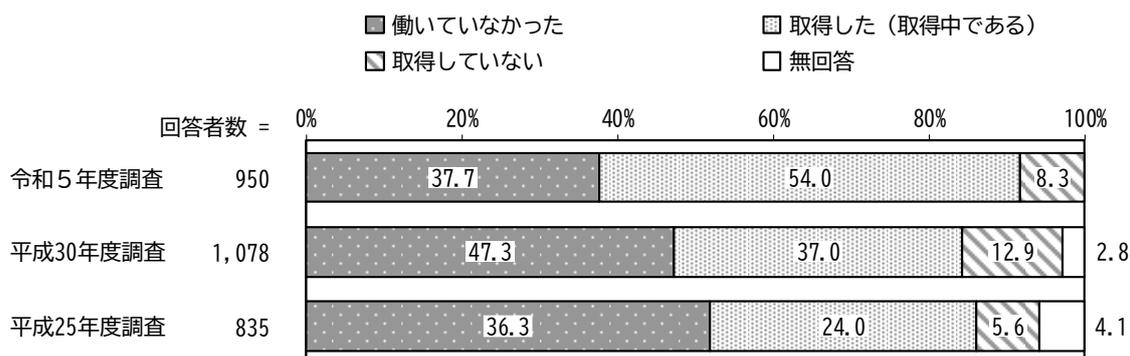
- ・どちらの定員も増やして欲しいが、親の負担を増やすことには反対
- ・利用者の負担を増やしてでも、とあるが物価高騰など金銭の余裕はない
- ・広さに限界があるため、他の場所に分室をつくるとよい
- ・入所基準の緩和で、必要な人がみんな利用できる方がいい
- ・子供の数や親の就労も把握しているなら考えて予算を繰入れてほしい

(10) 育児休業等の職場の両立支援制度について

問 あて名のお子さんが生まれたとき、母親が育児休業を取得しましたか。
【就学前：問 80】

就学前保護者では、「取得した（取得中である）」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 37.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。

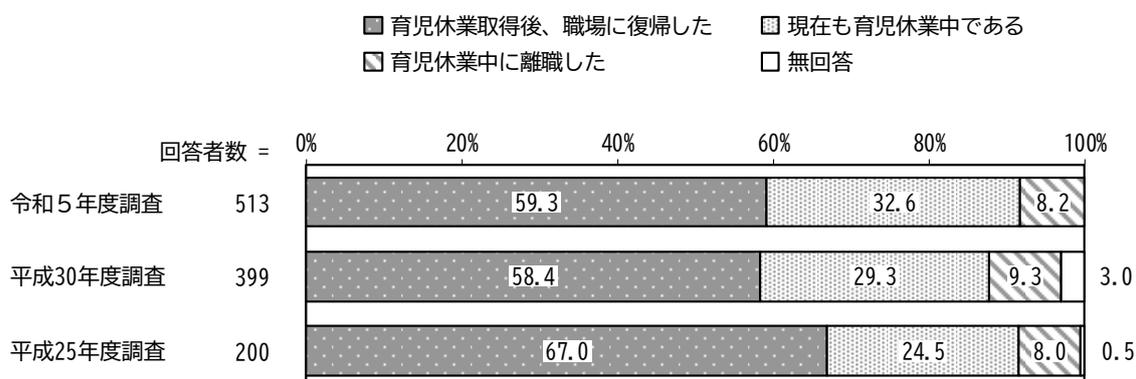


※前々回調査では、「妊娠・出産を機に離職した」の選択肢がありました。

問 【取得した（取得中である）母親】 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。
【就学前：問 81】

就学前保護者では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 32.6%となっています。

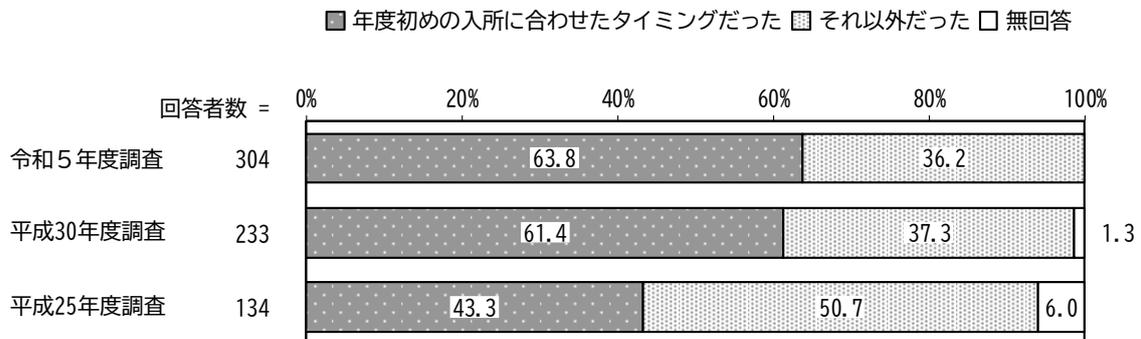
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 【職場に復帰した母親】 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。また、「実際」に復帰したのはお子さんが何歳何か月のときでしたか。【就学前：問 82】

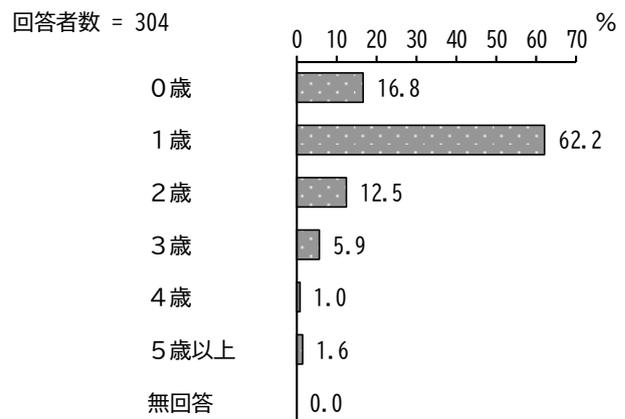
就学前保護者では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 63.8%、「それ以外だった」の割合が 36.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



実際に復帰した時のお子さんの年齢

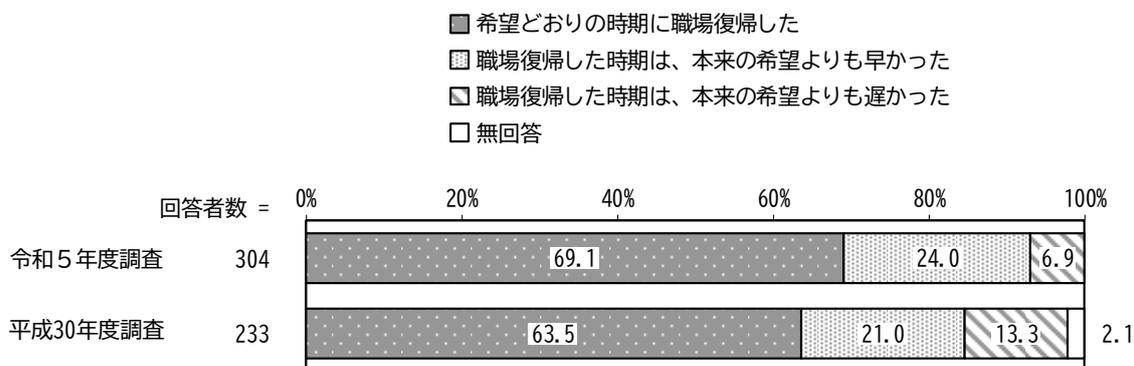
就学前保護者では、「1歳」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「0歳」の割合が 16.8%、「2歳」の割合が 12.5%となっています。



問 【職場に復帰した母親】 復帰した時期について、あてはまるものを選んでください。【就学前：問 83】

就学前保護者では、「希望どおりの時期に職場復帰した」の割合が 69.1%と最も高く、次いで「職場復帰した時期は、本来の希望よりも早かった」の割合が 24.0%となっています。

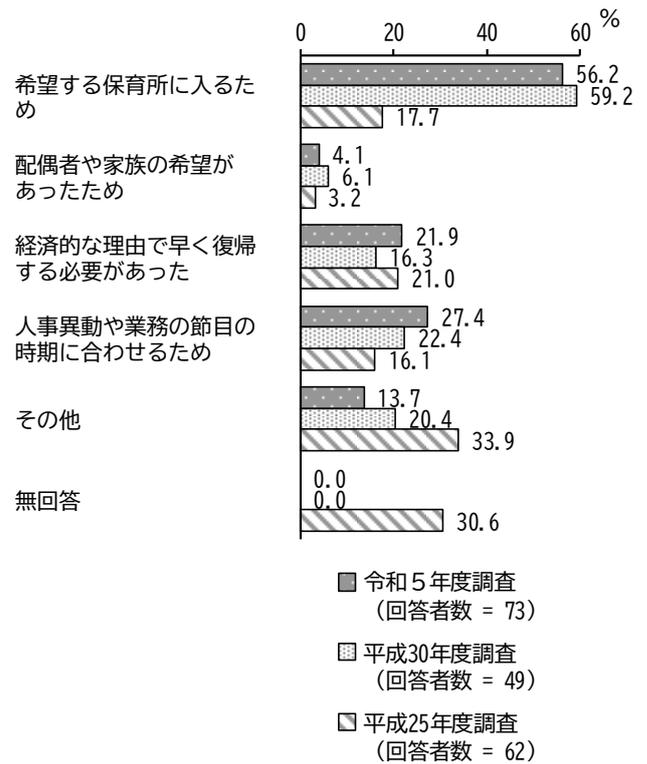
平成 30 年度調査と比較すると、「希望どおりの時期に職場復帰した」の割合が増加しています。一方、「職場復帰した時期は、本来の希望よりも遅かった」の割合が減少しています。



問 【早く復帰した母親】希望の時期より早く職場復帰した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 84】

就学前保護者では、「希望する保育所に入るため」の割合が56.2%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が27.4%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が21.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が増加しています。



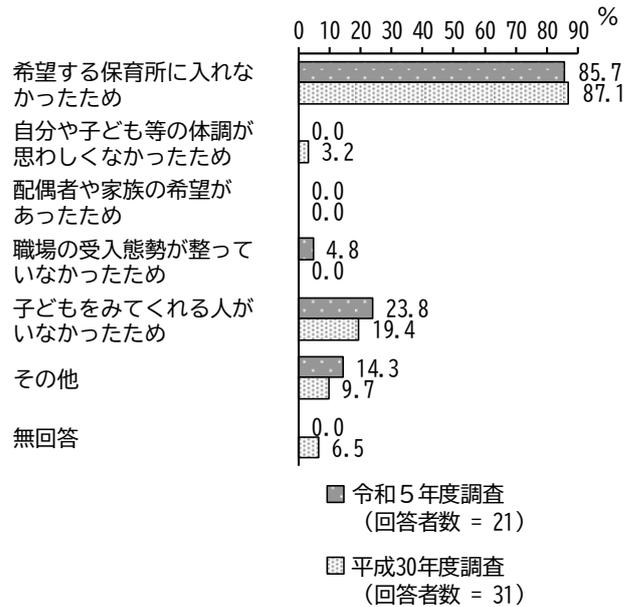
【就学前：その他の主な意見】

- ・職場の育休が1歳までとなっているため
- ・職場からその時期に復帰するよう言われたため
- ・育児休暇は1歳の誕生日までしかとれないため
- ・職場が1歳で復帰する条件だった
- ・原則として1歳になる日に職場復帰しなければならないため

問 【遅く復帰した母親】希望の時期より遅く職場復帰した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 85】

就学前保護者では、「希望する保育所に入れなかったため」の割合が 85.7%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が 23.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



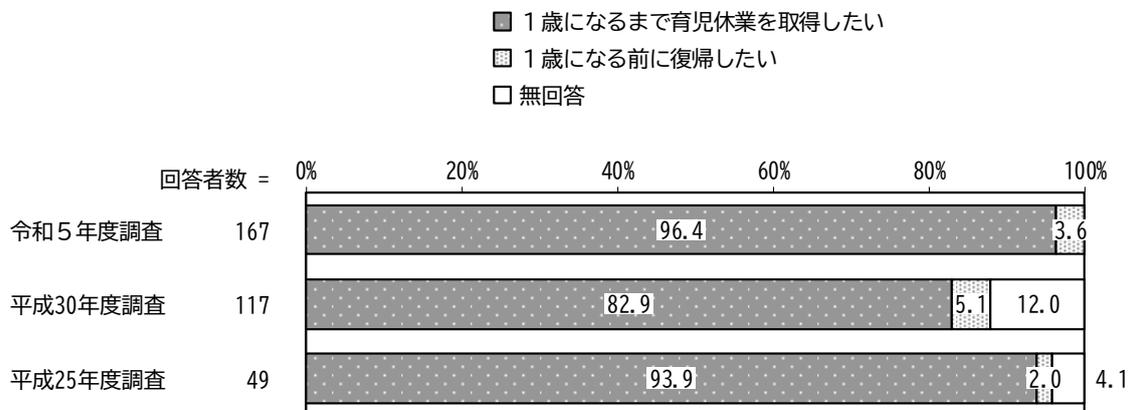
【就学前：その他の意見】

- ・ 第二子妊娠のため
- ・ 断乳が出来ていなかった
- ・ 第二子が産まれたため、育休を2人分続けてとった。

問 【育児休業中の母親】あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業（施設）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業（施設）があっても1歳になる前に復帰しますか。【就学前：問 86】

就学前保護者では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が 96.4%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が 3.6%となっています。

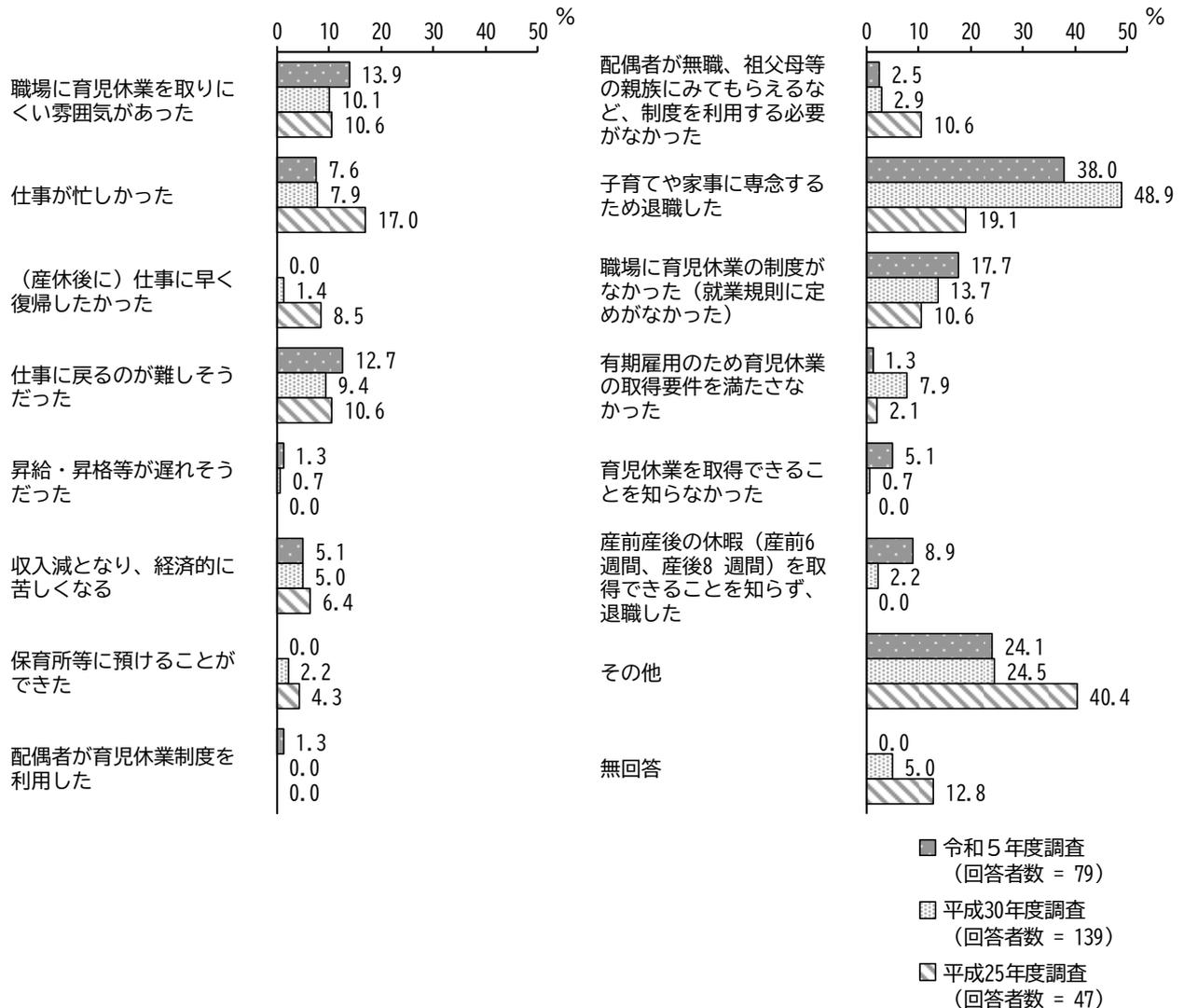
平成 30 年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が増加しています。



問 【育児休業を取得していない母親】 取得していない理由をすべて選んでください。
【就学前：問 87】

就学前保護者では、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が 17.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 13.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「産前産後の休暇（産前 6 週間、産後 8 週間）を取得できることを知らず、退職した」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事に専念するため退職した」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が減少しています。



【就学前：その他の主な意見】

- ・実家で働いているため
- ・妻が派遣のため辞めさせられた
- ・自営業の為、制度がなかった

問 あて名のお子さんが生まれたとき、父親が育児休業を取得しましたか。
【就学前：問 88】

就学前保護者では、「取得していない」の割合が83.3%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が15.2%となっています。

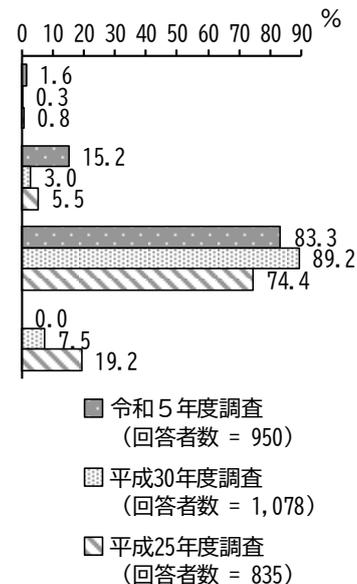
平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。

働いていなかった

取得した（取得中である）

取得していない

無回答



※前々回調査では、「妊娠・出産を機に離職した」の選択肢がありました。

問 【取得した（取得中である）父親】育児休業取得後、職場に復帰しましたか。
【就学前：問 89】

就学前保護者では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が91.7%と最も高くなっています。

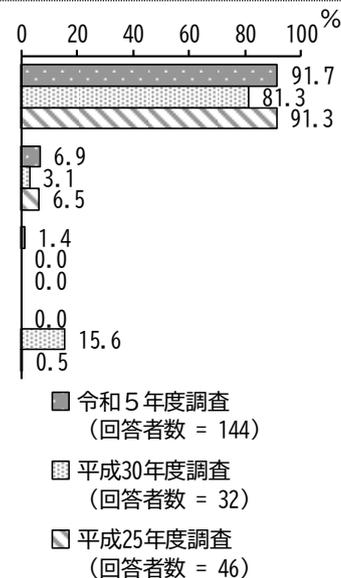
平成30年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が増加しています。

育児休業取得後、職場に復帰した

現在も育児休業中である

育児休業中に離職した

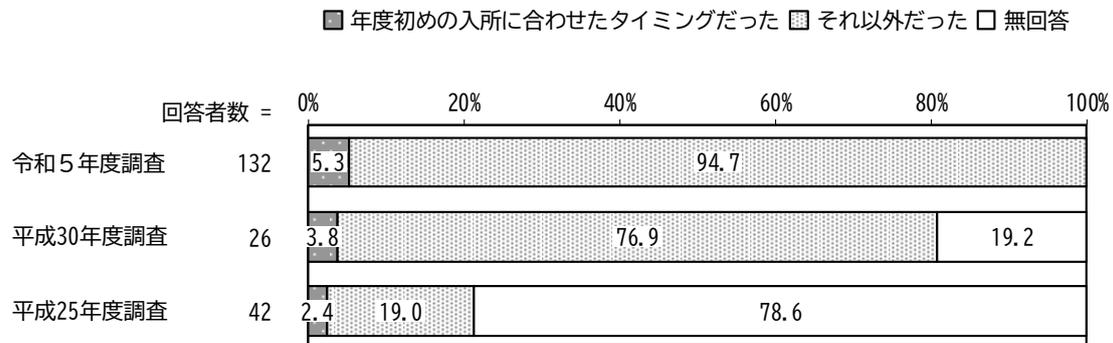
無回答



問 【職場に復帰した父親】育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。また、「実際」に復帰したのはお子さんが何歳何か月のときでしたか。【就学前：問 90】

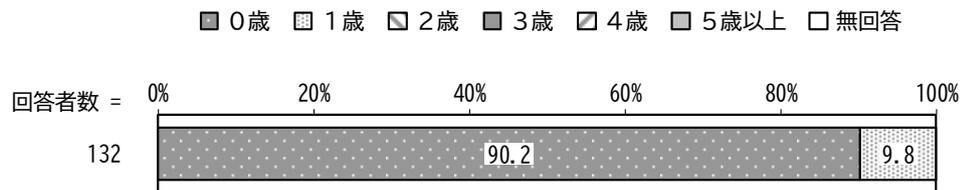
就学前保護者では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 5.3%、「それ以外だった」の割合が 94.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「それ以外だった」の割合が増加しています。



実際に復帰した時のお子さんの年齢

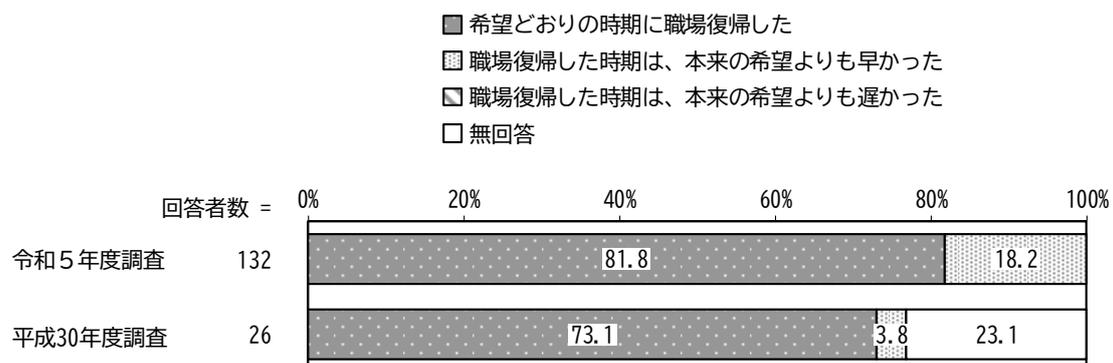
就学前保護者では、「0歳」の割合が 90.2%と最も高くなっています。



問 【職場に復帰した父親】復帰した時期について、あてはまるものを選んでください。【就学前：問 91】

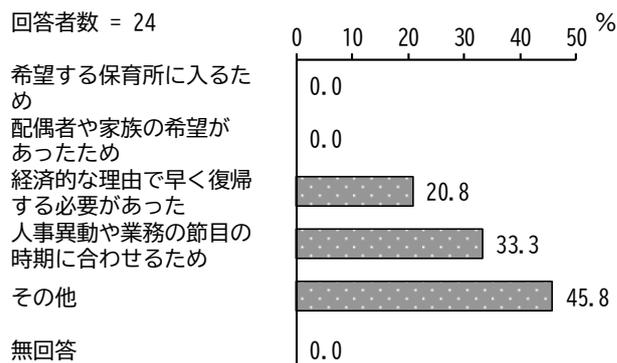
就学前保護者では、「希望どおりの時期に職場復帰した」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「職場復帰した時期は、本来の希望よりも早かった」の割合が 18.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「希望どおりの時期に職場復帰した」「職場復帰した時期は、本来の希望よりも早かった」の割合が増加しています。



問 【早く復帰した父親】希望の時期より早く職場復帰した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 92】

就学前保護者では、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 20.8%となっています。



【就学前：その他の主な意見】

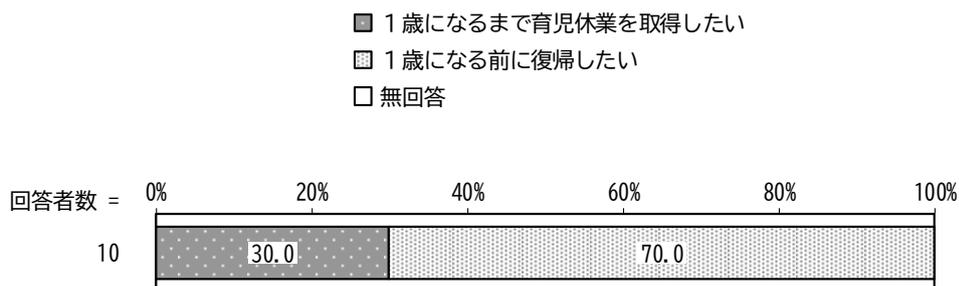
- ・ 出産の前後 2 週間のみ取得した
- ・ 仕事が忙しく休みをもらえなかった
- ・ 職場の雰囲気的にあまり長く休めなかったため
- ・ 長期育児休暇取得制度がない職場のため
- ・ 仕事が長期で休めず産後 1 週間のみ利用した

問 【遅く復帰した父親】希望の時期より遅く職場復帰した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 93】

就学前保護者では、有効回答がありませんでした。

問 【育児休業中の父親】あて名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業（施設）があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業（施設）があっても 1 歳になる前に復帰しますか。【就学前：問 94】

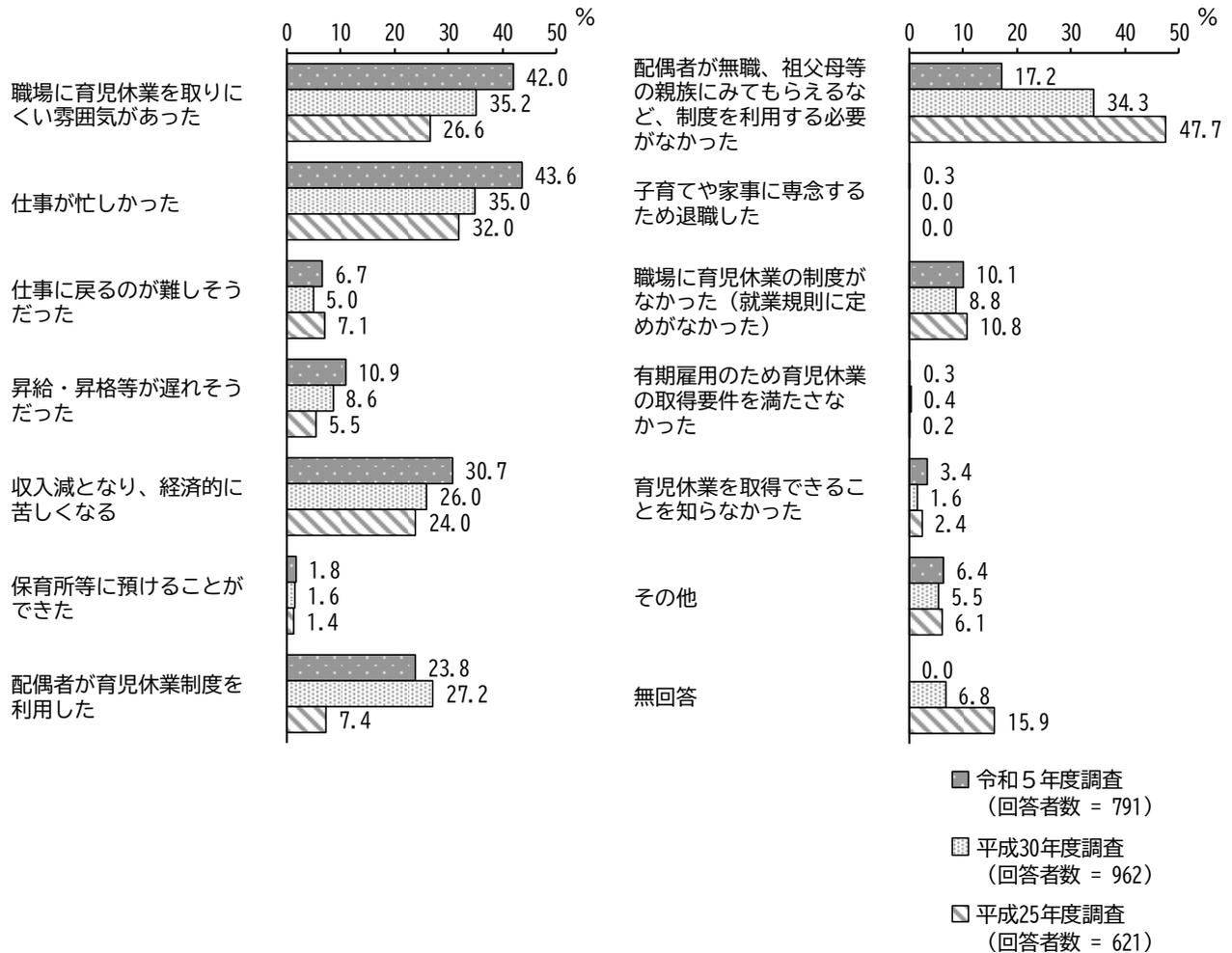
就学前保護者では、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が 30.0%、「1 歳になる前に復帰したい」の割合が 70.0%となっています。



問 【育児休業を取得していない父親】 取得していない理由をすべて選んでください。
【就学前：問 95】

就学前保護者では、「仕事が忙しかった」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 42.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 30.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



【就学前：その他の主な意見】

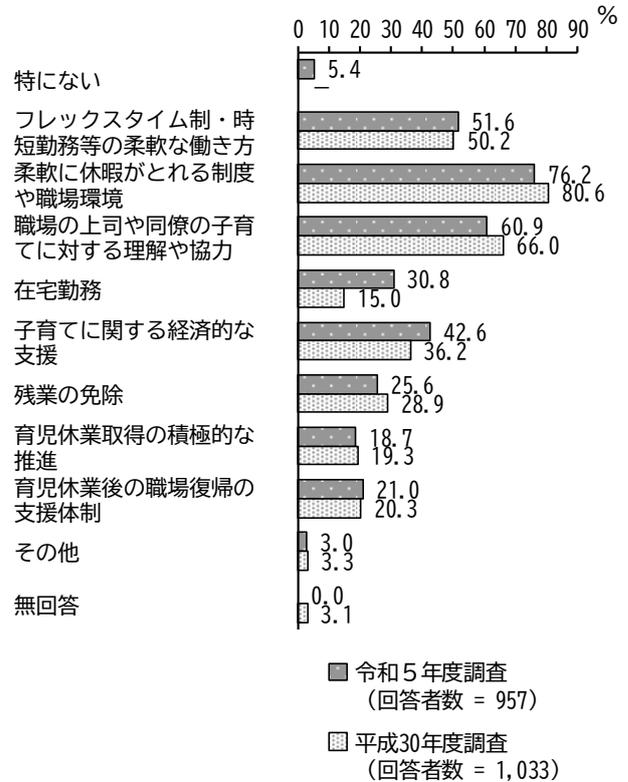
- ・休んだのが一週間だけだったから
- ・自営業のため育休制度がなかった
- ・自宅が職場の為家族で支援した
- ・単身で海外赴任中のため不可能だった
- ・当時は、ひとり親だったので

(11) 仕事と家庭（子育て）の両立支援制度について

問 仕事と子育てを両立する上で、勤務先に期待することについて、あてはまるものをすべて選んでください。【就学：問51】

就学保護者では、「柔軟に休暇がとれる制度や職場環境」の割合が76.2%と最も高く、次いで「職場の上司や同僚の子育てに対する理解や協力」の割合が60.9%、「フレックスタイム制・時短勤務等の柔軟な働き方」の割合が51.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「特にない」「在宅勤務」「子育てに関する経済的な支援」の割合が増加しています。一方、「職場の上司や同僚の子育てに対する理解や協力」の割合が減少しています。



※前回調査では、「特にない」の選択肢はありませんでした。

【就学：その他の主な意見】

- ・ 子供が病気の日給料補償
- ・ 障害児を持つ親に対する理解や協力
- ・ 望むものはなにもない
- ・ 性差別のない給与支給、昇給体制
- ・ 収入が多くなれば解決することが多い

(12) 子育て全般について

問 あなたは子育てを楽しんでいることが多いですか。
【就学前：問 96】【就学：問 52】

就学前保護者では、「そう思う」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「どちらかというと思う」の割合が 44.4%となっています。

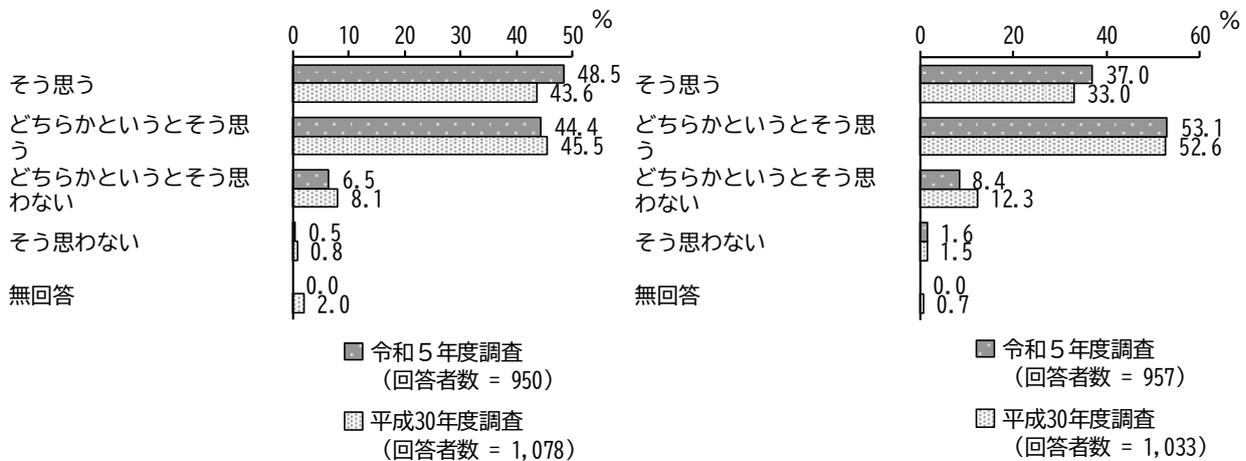
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学保護者では、「どちらかというと思う」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 37.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前】

【就学】



問 子育てが辛いと思うときはどんなときですか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 97】【就学：問 53】

就学前保護者では、「身体的・精神的な疲れがあるとき」の割合が 89.6%と最も高く、次いで「自分の体調が悪いとき」の割合が 85.1%、「時間の制約や自由な時間が阻害されるとき」の割合が 77.6%となっています。

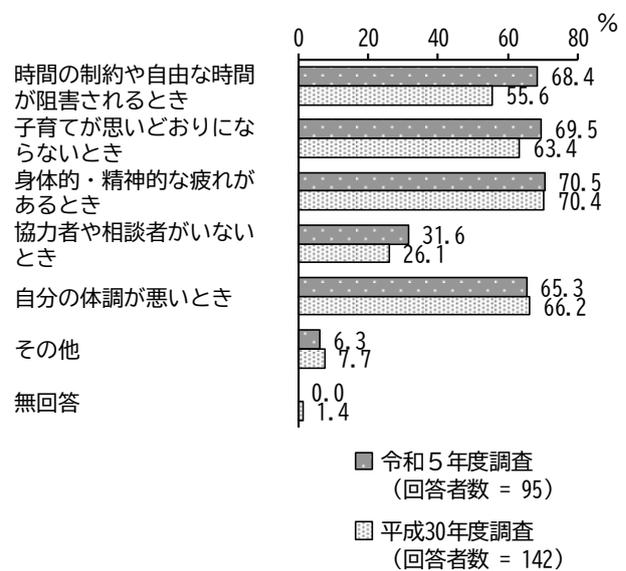
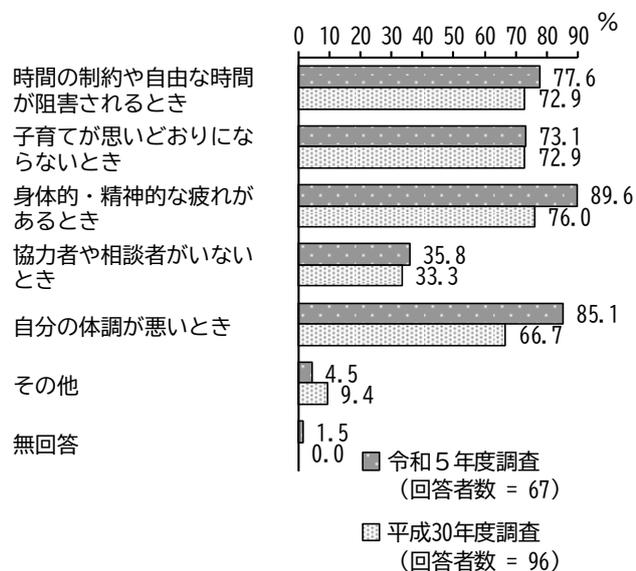
平成 30 年度調査と比較すると、「身体的・精神的な疲れがあるとき」「自分の体調が悪いとき」の割合が増加しています。

就学保護者では、「身体的・精神的な疲れがあるとき」の割合が 70.5%と最も高く、次いで「子育てが思いどおりにならないとき」の割合が 69.5%、「時間の制約や自由な時間が阻害されるとき」の割合が 68.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「時間の制約や自由な時間が阻害されるとき」「子育てが思いどおりにならないとき」「協力者や相談者がいないとき」の割合が増加しています。

【就学前】

【就学】



【就学前：その他の意見】

- ・一人になりたいとき
- ・自身との戦い
- ・児童発達支援のデイサービスに通っており、子どもの性格やこだわり等から楽しいことよりも大変だと思うことの方が多い。

【就学：その他の主な意見】

- ・2人で正社員で働き、2人で子育てをすればよかった
- ・子育てが落ち着き、再び母親が自立を試みるのは非常に厳しい
- ・子供の暴言や、約束を守らない事が続く時
- ・出産育児のために正社員を辞めてしまったことに後悔している
- ・子供が発達障害があり、学校も不登校中なので、先のことがとても不安

問 江南市は子育てしやすいまちだと思いますか。【就学前：問 98】【就学：問 54】

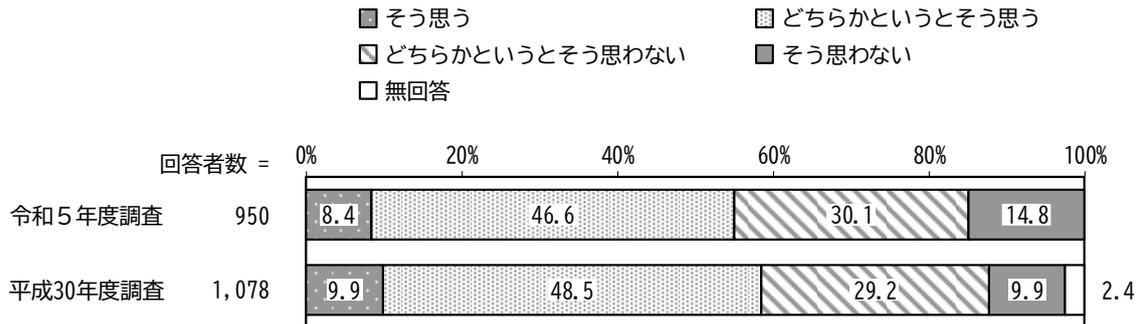
就学前保護者では、「どちらかというと思う」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「どちらかというと思わない」の割合が 30.1%、「そう思わない」の割合が 14.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

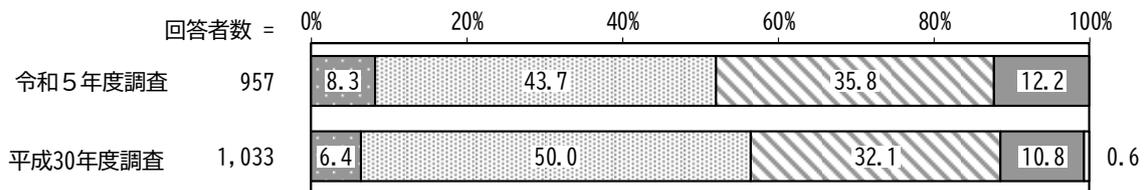
就学保護者では、「どちらかというと思う」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「どちらかというと思わない」の割合が 35.8%、「そう思わない」の割合が 12.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どちらかというと思う」の割合が減少しています。

【就学前】



【就学】



問 あなたの近所や地域の人とのつきあいほどの程度ですか。

【就学前：問 99】【就学：問 55】

就学前保護者では、「あいさつする程度」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「ときどき立ち話をする程度」の割合が 25.9%、「ほとんどつきあいはない」の割合が 12.5%となっています。

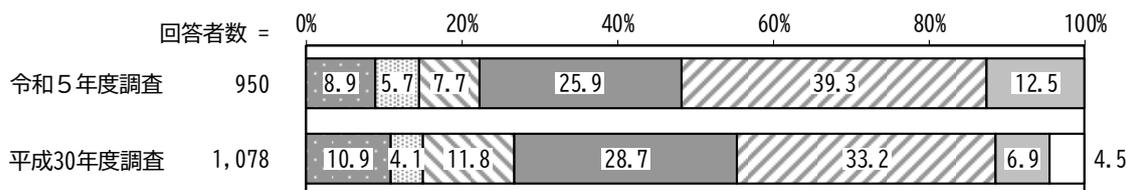
平成 30 年度調査と比較すると、「あいさつする程度」「ほとんどつきあいはない」の割合が増加しています。

就学保護者では、「あいさつする程度」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「ときどき立ち話をする程度」の割合が 28.8%、「困ったときに相談したり助けあったりする家庭がある」の割合が 16.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「あいさつする程度」の割合が増加しています。

【就学前】

- 困ったときに相談したり助けあったりする家庭がある
- 食事に行くなど、家族ぐるみでつきあっている家庭がある
- 互いの家に遊びに行く近所の人がいる
- ときどき立ち話をする程度
- あいさつする程度
- ほとんどつきあいはない
- 無回答



【就学】



問 子育てしやすいまちの要素として、地域のつながり（ネットワークや団体）は必要だと思いますか。【就学前：問 100】【就学児：問 56】

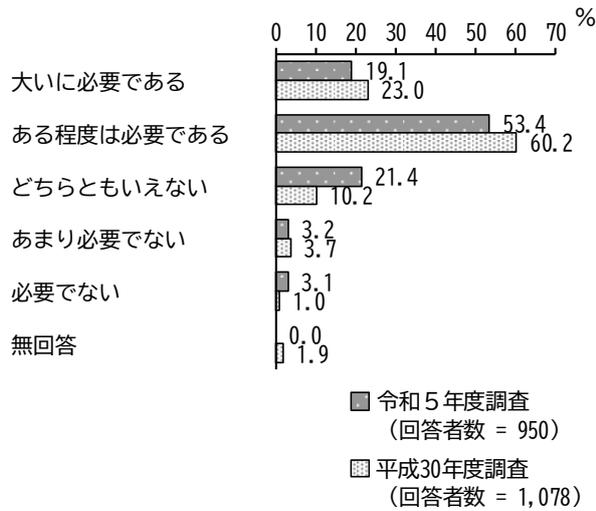
就学前保護者では、「ある程度は必要である」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 21.4%、「大いに必要である」の割合が 19.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。一方、「ある程度は必要である」の割合が減少しています。

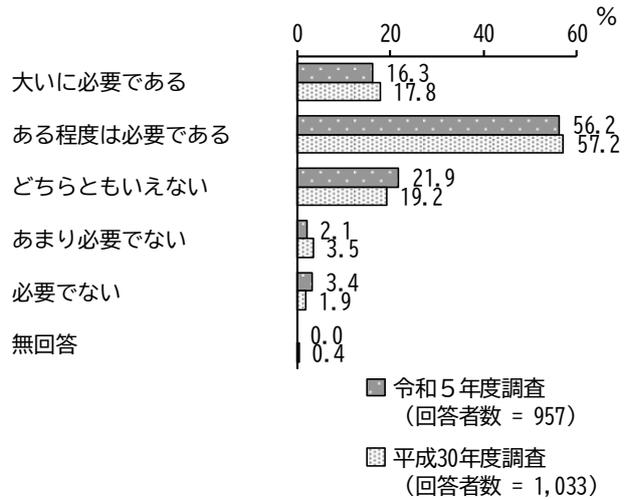
就学保護者では、「ある程度は必要である」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 21.9%、「大いに必要である」の割合が 16.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前】



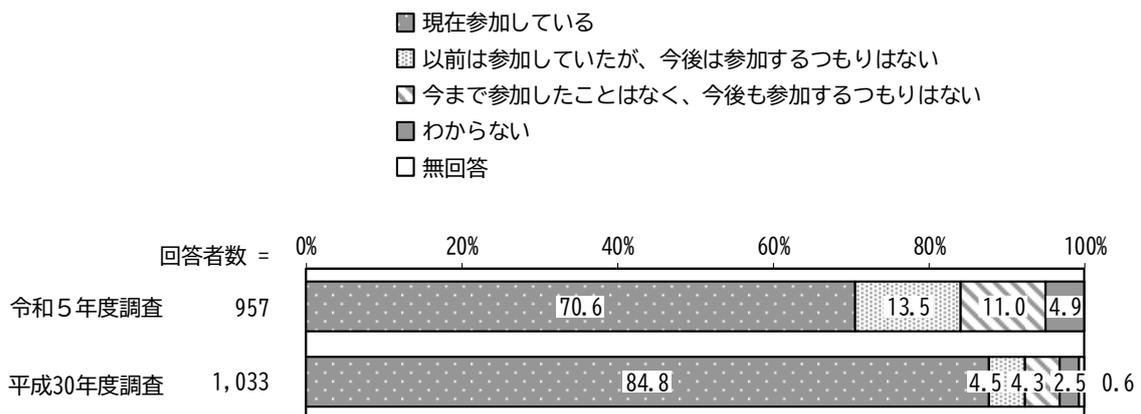
【就学】



問 地域の子ども会活動に参加していますか。【就学：問 57】

就学保護者では、「現在参加している」の割合が 70.6%と最も高く、次いで「以前は参加していたが、今後は参加するつもりはない」の割合が 13.5%、「今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」の割合が 11.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「以前は参加していたが、今後は参加するつもりはない」「今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」の割合が増加しています。一方、「現在参加している」の割合が減少しています。

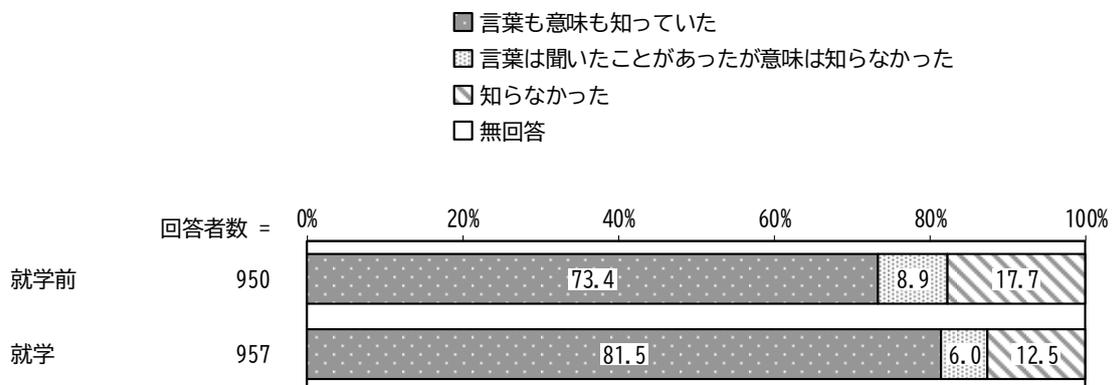


問 あなたは「ヤングケアラー」という言葉を知っていましたか。

※「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うことが想定される家事や家族の世話等を日常的に行う子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係に影響が出てしまうことがあります。【就学前：問 101】【就学：問 58】

就学前保護者では、「言葉も意味も知っていた」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 17.7%となっています。

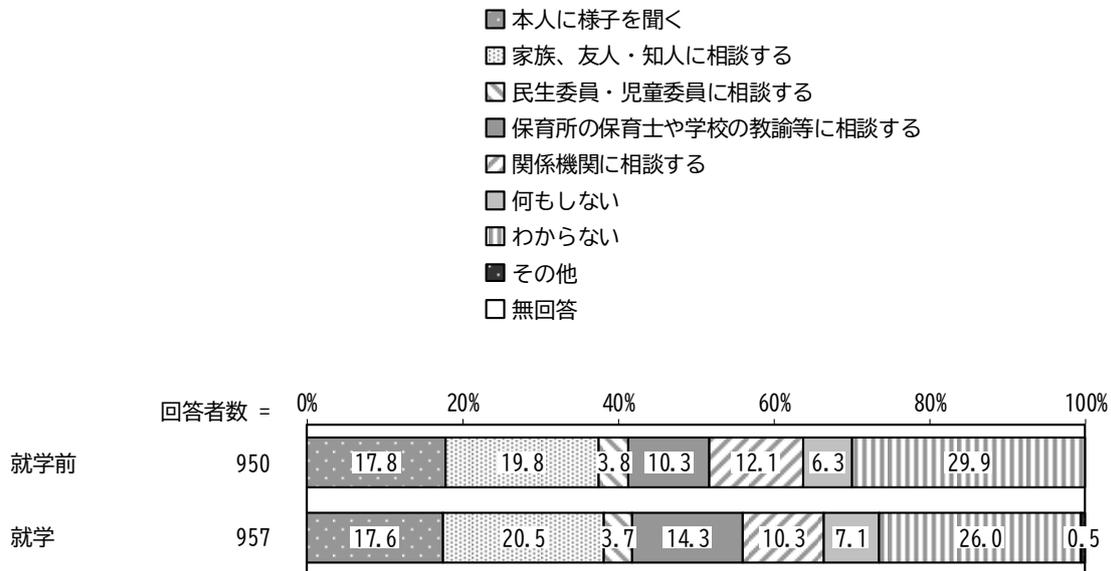
就学保護者では、「言葉も意味も知っていた」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が 12.5%となっています。



問 あなたの周りにヤングケアラーと思われる子どもがいた場合、どのように対応すると思いますか。【就学前：問 102】【就学：問 59】

就学前保護者では、「わからない」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「家族、友人・知人に相談する」の割合が 19.8%、「本人に様子を聞く」の割合が 17.8%となっています。

就学保護者では、「わからない」の割合が 26.0%と最も高く、次いで「家族、友人・知人に相談する」の割合が 20.5%、「本人に様子を聞く」の割合が 17.6%となっています。



【就学：その他の意見】

- ・気が付かない、だとしても仕方がないと思うしかない。自分がそうであり親からは外に出るなみっともないと命令されている。いじめと同じで先生に相談すると余計に家族からの風当たり兄弟格差が酷くなるのは目に見えている
- ・様子を見る
- ・助けが必要だと思うが個人の介入は難しいので公的なサポートがあるならどこに連絡したらいいのか教えて欲しい
- ・相手との距離感で対応が変わる
- ・家の近くで住んでいたり知っている子であれば気にかけるが近づき過ぎず離れ過ぎず様子を見守る。必要があれば学校などに報告する

問 お子さんの子育てに関して悩んでいること、気になることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。【就学前：問 103】【就学：問 60】

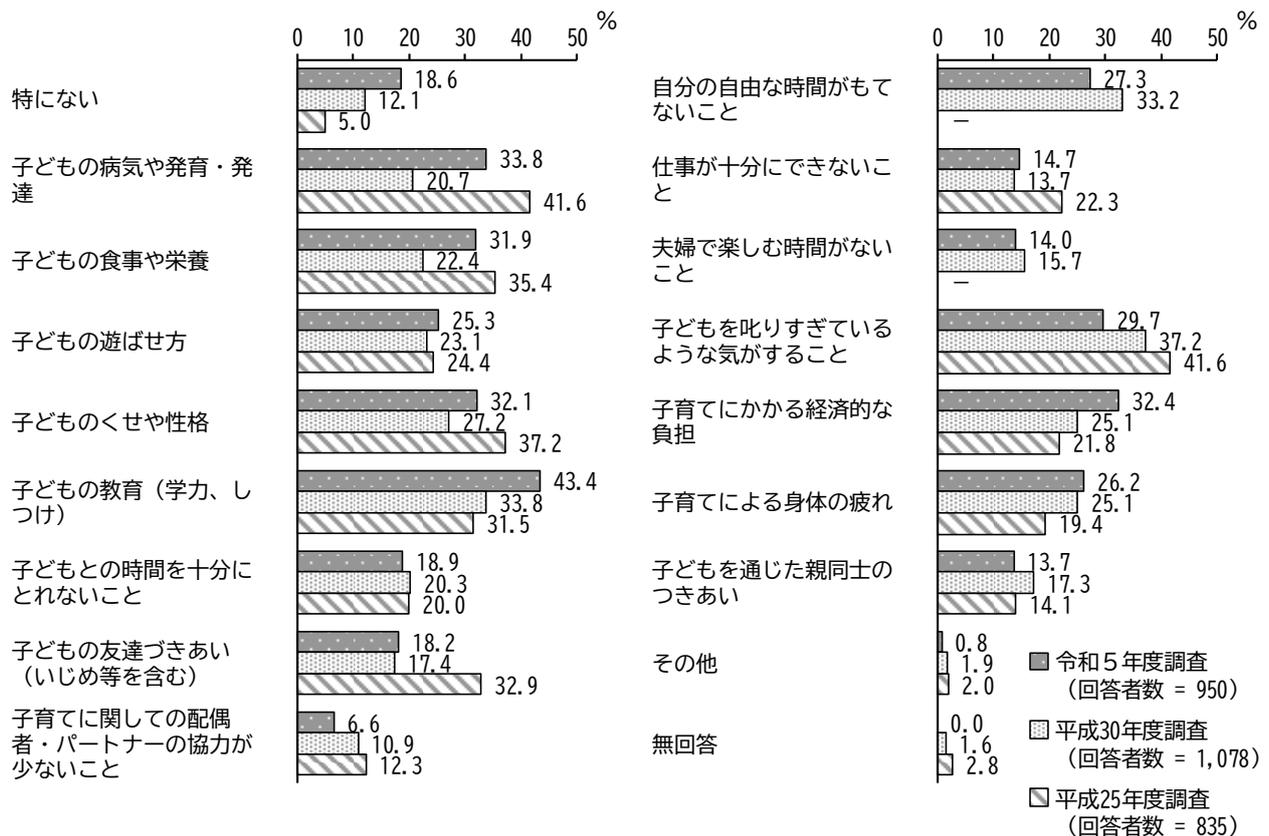
就学前保護者では、「子どもの教育（学力、しつけ）」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「子どもの病気や発育・発達」の割合が 33.8%、「子育てにかかる経済的な負担」の割合が 32.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「特にない」「子どもの病気や発育・発達」「子どもの食事や栄養」「子どもの教育（学力、しつけ）」「子育てにかかる経済的な負担」の割合が増加しています。一方、「自分の自由な時間をもてないこと」「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が減少しています。

就学保護者では、「子どもの教育（学力、しつけ）」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担」の割合が 39.3%、「子どものくせや性格」の割合が 29.5%となっています。

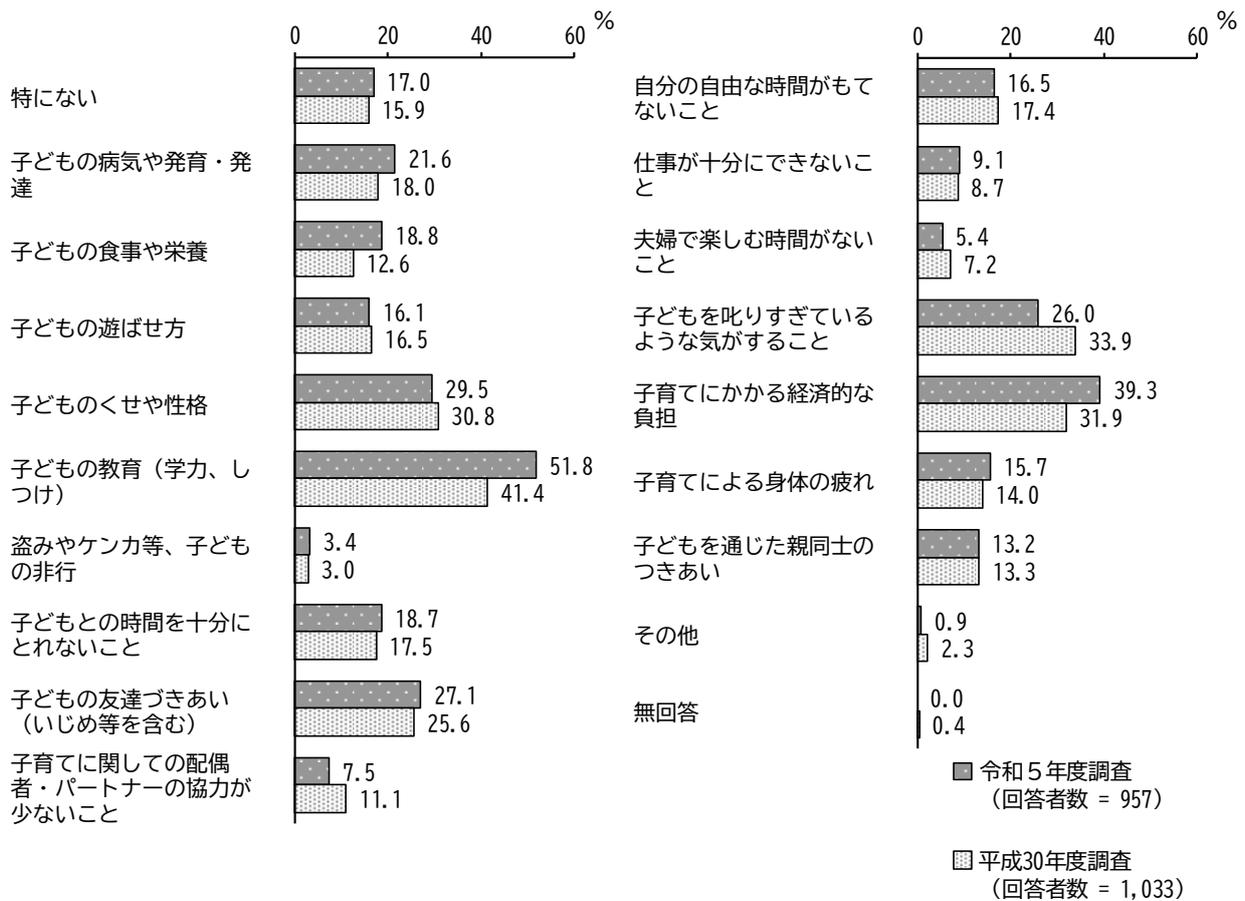
平成 30 年度調査と比較すると、「子どもの食事や栄養」「子どもの教育（学力、しつけ）」「子育てにかかる経済的な負担」の割合が増加しています。一方、「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が減少しています。

【就学前】



※前々回調査では、「自分の自由な時間をもてないこと」「夫婦で楽しむ時間がないこと」の選択肢はありませんでした。

【就学】



【就学前：その他の主な意見】

- ・ 保育園に入れなくて、仕事ができない
- ・ 子どもに当たってしまうことがある
- ・ 不安が大きくなる

- ・ 復帰の際、保育園に入れるか
- ・ 育児手当を切られた

【就学：その他の主な意見】

- ・ 子供のゲーム時間の制御がむずかしい
- ・ 不登校なので色々大変
- ・ 学校の支援体制や理解・福祉の受給者証の発行について

- ・ 自分が乳がんにかかった為に色々不安
- ・ 不登校が2人いること

問 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまるものを3つ選んでください。【就学前：問104】【就学：問61】

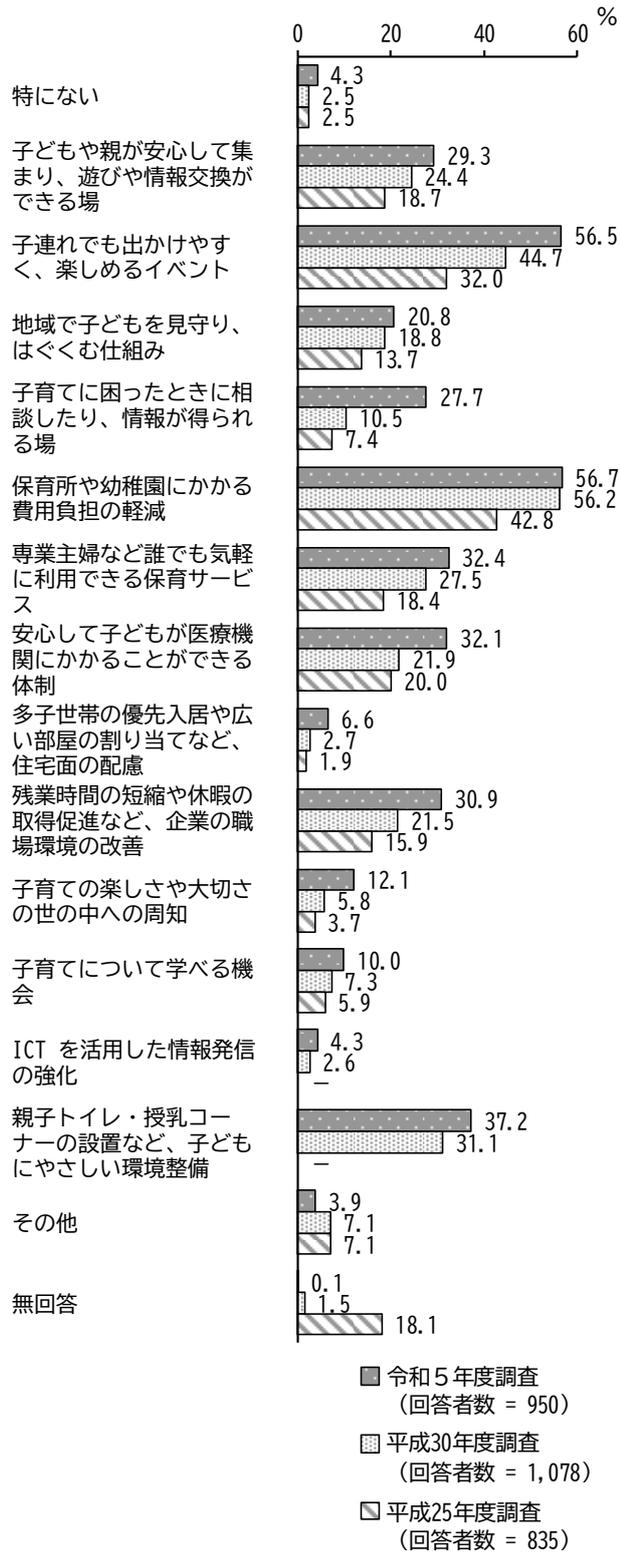
就学前保護者では、「保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減」の割合が56.7%と最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベント」の割合が56.5%、「親子トイレ・授乳コーナーの設置など、子どもにやさしい環境整備」の割合が37.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベント」「子育てに困ったときに相談したり、情報が得られる場」「安心して子どもが医療機関にかかることができる体制」「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業の職場環境の改善」「子育ての楽しさや大切さの世の中への周知」「親子トイレ・授乳コーナーの設置など、子どもにやさしい環境整備」の割合が増加しています。

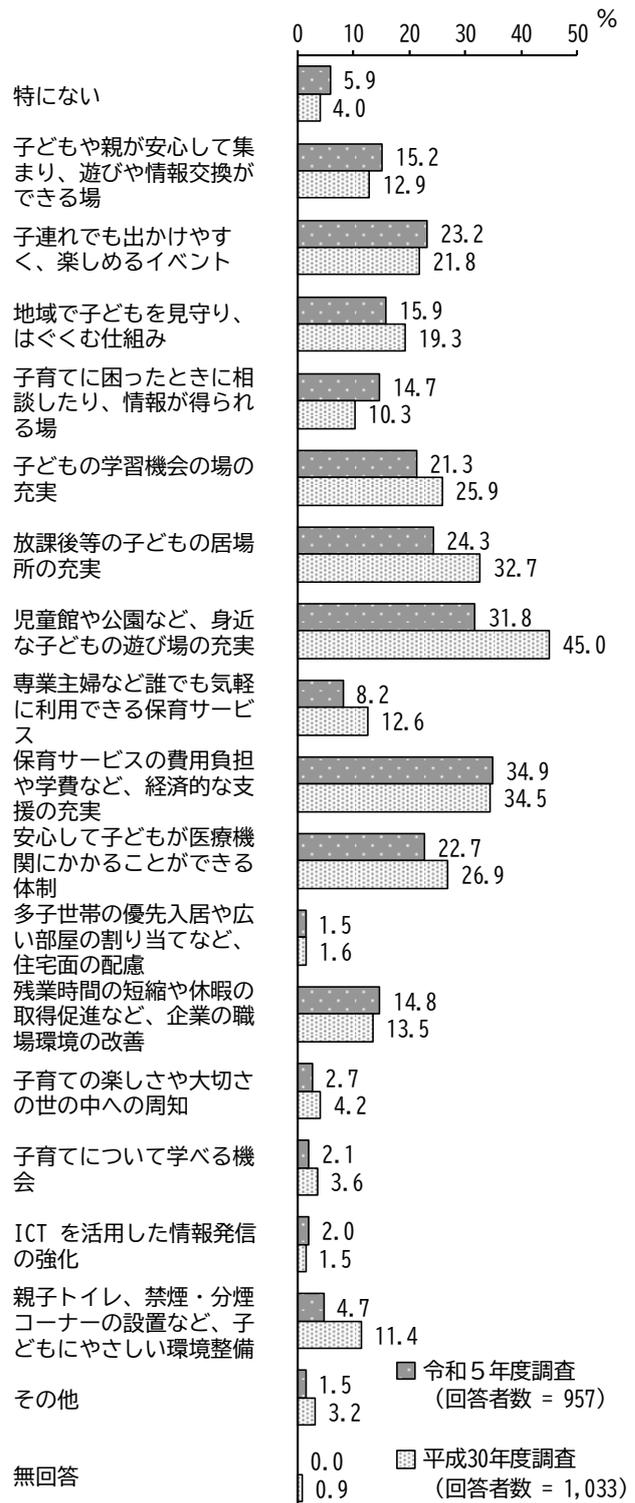
就学保護者では、「保育サービスの費用負担や学費など、経済的な支援の充実」の割合が34.9%と最も高く、次いで「児童館や公園など、身近な子どもの遊び場の充実」の割合が31.8%、「放課後等の子どもの居場所の充実」の割合が24.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「放課後等の子どもの居場所の充実」「児童館や公園など、身近な子どもの遊び場の充実」「親子トイレ、禁煙・分煙コーナーの設置など、子どもにやさしい環境整備」の割合が減少しています。

【就学前】



【就学】



※前々回調査では、「ICTを活用した情報発信の強化」「親子トイレ・授乳コーナーの設置など、子どもにやさしい環境整備」の選択肢はありませんでした。

【就学前：その他の主な意見】

- ・ 保育園の拡充(希望する保育園に、入りたい時に入れること)
- ・ 仕事をしていないときに子供を預けられる施設が必要
- ・ 悪天候の日にも遊べる室内施設の整備、予約のいない支援センター
- ・ なぜ税金を払ってるのに不燃ごみ当番をやらないといけないのか理解不能
- ・ 事前予約なく、理由問わず当日子どもを預かってもらえる場所がある

【就学：その他の主な意見】

- ・ 不登校の子供が無料で通える施設が欲しい
- ・ 江南市も民間の方を校長に入れてほしい
- ・ 子育て世代の食品、生活用品、光熱費の減税
- ・ 行政の他部とこども未来部の柔軟な情報共有や意見交換
- ・ 不登校の小学生が通えるフリースクール、学習の場を増やしてほしい

江南市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書

発行年月：令和6年5月

発行・編集：江南市健康こども部 こども未来課

〒483-8701 愛知県江南市赤童子町大堀 90

TEL：0587-54-1111（代表）

FAX：0587-56-5515